

オーディオ編



AVN887HD

HDDナビゲーション内蔵 HDD/DVD/MS/ワンセグ 7.0DUAL-AVシステム

AVN777HD

HDDナビゲーション内蔵 HDD/DVD/MS/ワンセグ 7.0WVGA-AVシステム

AVN757HDTV

HDDナビゲーション内蔵 HDD/DVD/MS 7.0WVGA-AVシステム
地上デジタルTVチューナバック

お買い上げいただき、ありがとうございます。
正しくご使用いただくために、この「取扱説明書」をよくお読みください。
また、お読みになった後も必要ときに
すぐご覧になれるよう大切に保管してください。

この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、お客様やほかの人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、以下の表示をしています。その表示と内容をよく理解してから本文をお読みください。

 警告	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

本機のために必ず守っていただきたいことや、知っておくと便利なことを下記の表示で記載しています。

 アドバイス	本機の故障や破損を防ぐために守っていただきたいこと 本機が故障したときにしていただきたいこと
 ワンポイント	知っておくと便利なこと 知っておいていただきたいこと

- 製品に添付されている各種説明書や保証書などは必ずお読みください。
これらの指示を守らなかったことによる不具合に対しては、当社は責任を負いかねます。
- 取扱説明書で使用されている画面と実際の画面は、データベースの作成時期・種類等によって異なることがあります。

本書はやさしく取り扱ってください。

無理に広げたり引っ張ったりするとページがバラバラになってしまう場合があります。
やさしい取り扱いをお願いします。

取扱説明書の構成

AVN887HD、AVN777HD、AVN757HDTVでは3冊の取扱説明書を同梱しています。
ご利用状況に応じて取扱説明書を使い分けてください。

取扱説明書クイックガイド編

本機の基本的な使い方やふだんよく使う機能のみを説明しています。

- 電源の入れ方・切り方
- ディスクの出し入れ
- ナビゲーション・オーディオの基本的な操作
- デュアルディスプレイの操作（AVN887HDのみ）
- マルチウィンドウの操作（AVN777HD、AVN757HDTVのみ）
- セキュリティの操作
- 個人情報の消去 など



取扱説明書ナビゲーション編

ナビゲーションの全ての機能を説明しています。

- ナビゲーションの全ての機能操作
 - ・ 地図の操作
 - ・ 目的地の検索
 - ・ ルートの探索
 - ・ 地点の登録 など
- データベースについて
- 地図データベースの更新方法 など



取扱説明書オーディオ編

オーディオの全ての機能を説明しています。

- オーディオの全ての機能操作
 - ・ ラジオ、TVの操作
 - ・ CD/DVDの操作
 - ・ MUSIC JUKEの操作
 - ・ DTVの操作 など
- 壁紙の切り替え
- 音質の調整 など



セクションタイトル

セクションタイトルを表示しています。

項目タイトル

項目ごとにタイトルがつけられています。

操作画面

操作する画面を表示しています。

操作タイトル

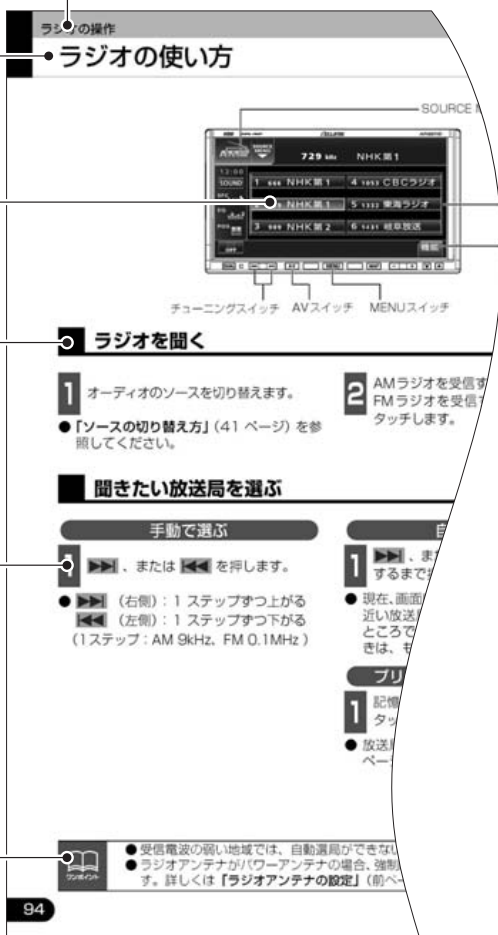
操作目的ごとにタイトルがつけられています。

操作手順

操作の内容です。
番号の順に操作してください。

ワンポイント

操作に関連することなどを記述しています。



セクション見出し

セクションの見出しを表示しています。

ラジオの使い方

するにはマニュアル（手動）とAUTO.P.（自動）の2つができます。

AUTO.P.（自動）で記憶する

1 機能 にタッチします。

2 AUTO.P. を「ピーツ」と音がするまでタッチします。

● AUTO.P. が点滅し、自動的に選局を始めます。「ピーツ」と音がすると自動選局が終了し一時的に記憶されます。

● もう一度 AUTO.P. にタッチすると、マニュアルで記憶した放送局に表示が切り替わります。

先に記憶させる機能のため、AUTO.P. を使用してもマニュアルで記憶した放送局が優先的に表示されます。また、AUTO.P. で記憶した放送局は呼び出すことができます。

AUTO.P. にタッチすると、プリセットメモリーはAUTO.P. 動作前の状態で記憶した放送局は消去されます。AUTO.P. からマニュアルへの切り替

AUTO.P. を「ピーツ」と音がするまでタッチする

AUTO.P.
(サーチ開始)

プリセットスイッチに放送局を自動的に記憶

タッチする

AUTO.P.
(サーチ完了)

記憶した放送局は消去されます

強い地域ではAUTO.P.での自動受信ができないことがあります。8からの受信でも、チューニングスイッチで記憶した放送局と AUTO.P.で記憶した放送局は一致しないことがあります。スイッチを同じ場所で繰り返し操作しても、受信電波の状態により、記憶局が異なることがあります。強い放送局を周波数の低い順に6局まで自動的に記憶します。強い放送局が6局未満のとき、残りのプリセットスイッチには何も記憶され

次ページに続く 95

次のページに続く

次のページに操作説明が続くことを表示しています。

スイッチ表示について

パネルスイッチを押すときは、○○○（AV・MENU など）でスイッチ名称を表示しています。画面のタッチスイッチにタッチするときは、○○○○でスイッチ名称を表示しています。

1つ前の画面にもどるときは、戻る にタッチするとタッチした画面で行った操作がキャンセルされます。（一部の機能では、キャンセルされないものがあります。）

タイトル目次

タイトル目次

はじめに	POS（ポジショニングセレクター）の調整	55
特長	ポジジョンを設定する	55
ご使用になる前に	FADER BALANCE（音質バランス）の調整	56
ディスクについて	音質補正の設定（ハーモナイザー）	57
“メモリスティック”について	LOUDNESSの設定	57
液晶パネルについて	サブウーファの設定	58
TVについて	位相を切り替える（Phase Control）	58
赤外線通信について	サブウーファの出力を調整する	58
基本操作	サラウンドシステムの設定	59
ソースの切り替え方	Dolby Pro Logic IIを設定する	59
ソースを切り替える	CENTER WIDTHを設定する	60
操作画面の表示	COMPRESSIONを調整する	60
各ソースの操作画面	CENTER LEVELを調整する	61
	REAR LEVELを調整する	61

本のタイトル項目を順番に並べたものです。

知りたい操作目次

知りたい操作目次

画面・音の調整について

<画面の調整に関して>

■オーディオは音質や放送局を見やすくしたい	
オーディオ操作画面などのコントラストや色合いなどを調整する方法について説明しています。	
「画質調整画面の表示」	P86
■画面を消したい	
ディスプレイに何も表示させなくする方法について説明しています。	
「画面を消すときは」	P87
■操作画面などのタッチスイッチを消したい	
タッチスイッチを消すに付く操作や、機能スイッチの表示切り替えについて説明しています。	
「タッチスイッチの設定」	P90
■設定に誤りがあるデータについて知りたい	

各機能ごとにタイトル項目を抜粋したものです。

操作でお困りのときは、知りたい操作目次から該当の操作を検索してお使いください。

タイトル目次

はじめに

特長	30
ご使用になる前に	33
ディスクについて	34
“メモリースティック” について	37
液晶パネルについて	38
TVについて	38
赤外線通信について	40

基本操作

ソースの切り替え方	41
ソースを切り替える	41
操作画面の表示	42
各ソースの操作画面	43
音の調整	45
主音量の調整	45
操作音の設定	45
ナビゲーション音声の 出力位置切り替え	46
音質の調整	47
音質調整画面の表示	47
SOUND調整画面を表示する	50
SETTING画面の表示	50
SFC（音場）の設定	51
SFC（音場）の調整、記憶	51
SFC（音場）レベルを リセットする	51
EQ（イコライザ）の調整	52
イコライザカーブを選択する	52
イコライザカーブの調整、記憶	53
イコライザの調整値の呼び出し	54
EQカーブをリセットする	54
イコライザを自動で調整する	54

POS（ポジショニングセクター） の調整	55
ポジションを設定する	55
FADER BALANCE（音量バランス） の調整	56
音質補正の設定 （ハーモナイザー）	57
LOUDNESSの設定	57
サブウーファの設定	58
位相を切り替える （Phase Control）	58
サブウーファの出力を調整する	58
サラウンドシステムの設定	59
Dolby Pro Logic IIを設定する	59
CENTER WIDTHを設定する	60
COMPRESSIONを調整する	60
CENTER LEVELを調整する	61
REAR LEVELを調整する	61
スピーカーの調整	62
スピーカーサイズを設定する	62
タイムアライメントの調整	64
手動で調整する	64
自動で調整する	65
出力レベルの調整	66
背景画の設定	67
Pic-CLIPの設定	67
壁紙を切り替える	67
お好みの画像データに書き換える	68
携帯電話に保存した画像データを 壁紙に設定する	70
使用できる画像データについて	72
画像データを保存する	75
画像データを消去する	77
オープニング画面の設定	78
オープニング画面を切り替える	78
お好みの画像データに書き換える	79
携帯電話に保存した画像データを オープニング画面に 設定する	81

使用できる画像データについて	83
画面の調整・設定	86
画質調整画面の表示	86
昼画表示と夜画表示を手動で 切り替えるには	87
画面を消すときは	87
画質の調整	88
画質の補正	89
タッチスイッチの設定	90
画面スイッチの表示 切り替えについて	90
機能スイッチの表示について	90
パネルスイッチ照明の設定	91
画面モード切り替え	92
ラジオアンテナの設定	93

ラジオの操作

ラジオの使い方	94
ラジオを聞く	94
聞きたい放送局を選ぶ	94
手動で選ぶ	94
自動で選ぶ	94
プリセットスイッチから選ぶ	94
放送局を記憶する	95
マニュアル（手動）で記憶する	95
AUTO.P（自動）で記憶する	95
AUTO.Pで記憶した放送局を 変更する	96
エリアスイッチについて	96
局名スイッチについて	96
ラジオを止める	96

CDプレーヤーの操作

CDプレーヤーの使い方	97
CDを聞く	97

聞きたい曲を選ぶ	98
早送り・早戻しする	98
聞きたい曲を探す	98
同じ曲を繰り返し聞く	98
曲の順番をランダムに聞く	98
携帯電話でアルバム 情報を見る	99
CDを止める	99

MP3/WMA プレーヤーの操作

MP3/WMA プレーヤーの 使い方	100
MP3/WMAを聞く	101
聞きたいフォルダを選ぶ	101
聞きたい音楽ファイルを選ぶ	101
フォルダ・ファイル選択 スイッチから選ぶ	101
選曲・頭出しスイッチから選ぶ	101
早送り・早戻しする	102
1つ上の階層を表示する	102
現在の階層を表示する	102
聞きたい音楽ファイルを探す	102
同じ音楽ファイルを 繰り返し聴く	102
順番をランダムに聞く	103
音楽ファイル情報などを 表示する	103
MP3/WMAを止める	103
MP3/WMAについて	104
再生可能なMP3ファイルの 規格について	104
再生可能なWMAファイルの 規格について	104
ID3タグ/WMAタグについて	104
使用できるメディアについて	105
使用できるディスクの フォーマットについて	105

ファイル名について	107
CD-R、CD-RWについて	107
MP3/WMAの再生について	107
MP3/WMAの演奏時間 表示について	107
MP3/WMAファイル、フォルダの リスト表示順番	107

MP3/WMAファイルの作り方、 楽しみ方 108

インターネット上のMP3/WMA 音楽配信サイトから 入手する場合	108
音楽CDからMP3/WMAファイルに 変換する場合	108
CD-R/RWに書き込む場合	108

“メモリースティック” プレーヤーの操作

“メモリースティック” プレーヤーの 使い方 109

“メモリースティック” を聞く	109
聞きたい曲を選ぶ	109
早送り・早戻しする	110
聞きたい曲を探す	110
同じ曲を繰り返し聴く	110
曲の順番をランダムに聞く	110
“メモリースティック” を フォーマットする	111
“メモリースティック” を 止める	112

CD/MDチェンジャーの操作

CDチェンジャーの使い方 113

CDを聞く	113
聞きたい曲を選ぶ	113
早送り・早戻しする	113
聞きたいCDを選ぶ	113
チェンジャー内の全CD から聞きたい 曲やCD を探す	114

聞きたい曲を探す	114
聞きたいCDを探す	114

聞きたい曲や同じCDを 繰り返し聞く 114

いま聞いている曲を繰り返し 再生する	114
いま聞いているCDを繰り返し 再生する	114

曲の順番をランダムに聞く 114

いま聞いているCDの中から ランダムに聞く	114
チェンジャー内全CDの中から ランダムに聞く	114

CDを止める 114

MDチェンジャーの使い方 115

MDを聞く	115
聞きたい曲を選ぶ	115
早送り・早戻しする	115
聞きたいMDを選ぶ	115
チェンジャー内の全MDから聞きたい 曲やMDを探す	116
聞きたい曲を探す	116
聞きたいMDを探す	116

聞きたい曲や同じMDを 繰り返し聞く 116

いま聞いている曲を繰り返し 再生する	116
いま聞いているMDを繰り返し 再生する	116

曲の順番をランダムに聞く 117

いま聞いているMDの中から ランダムに聞く	117
チェンジャー内全MDの中から ランダムに聞く	117

MDのタイトルや曲名などを 表示する 117

MDを止める 117

iPod プレーヤーの操作

iPod プレーヤーの使い方	118
iPod を接続する	118
iPod を取りはずす	118
iPod を聞く	120
早送り・早戻しする	120
聞きたい音楽ファイルを選ぶ	120
聞きたい音楽ファイルを リストから探す	121
再生中のリストを表示する	122
同じ音楽ファイルを 繰り返して聞く	122
音楽ファイルの順番を ランダムに聞く	122
今聞いているリストの中から ランダムに聞く	122
リストをランダムに聞く	122
接続可能な iPod について	123

MUSIC JUKEの操作

MUSIC JUKEをお使いに なる前に	124
MUSIC JUKEの概要	124
MUSIC JUKEの 構成について	124
プレイモード・プレイリストに ついて	125
データベースについて	126
Gracenote メディアデータベースに ついて	126
メディアクリックデータベース (MCDB) について	127
オートタイトリング機能に ついて	128
ジャケット写真について	129
データベース情報の表示に ついて	130

データベースの更新について 131

Gracenote メディアデータベースを 更新する	131
メディアクリックのデータベースを 更新する	132

タイトル情報の受信について 133

タイトル情報の受信について	133
タイトル情報の保存について	133
タイトル情報の表示について	133

タイトル情報の受信 134

タイトル情報の表示 134

CD タイトルを表示する	134
CD 情報インジケータの表示を 設定する	135
新譜情報を表示する	136
携帯電話で新譜情報を見る	137
新譜情報受信メッセージの表示を 設定する	138

タイトル情報の更新 139

CD タイトルを更新する	139
新譜情報を更新する	139

ハードディスクの容量確認 140

操作の流れについて 141

MUSIC JUKEへの録音 142

MUSIC JUKEへの 録音について 142

録音できるソースと 録音方式について	142
録音についての注意	142
デジタル録音（4倍速録音）に ついて	143
アナログ録音（等倍速録音）に ついて	143

録音方式の設定 144

デジタル録音モードを設定する	144
オートトラックマークを 設定する	145
録音ビットレートを設定する	145

MUSIC JUKEへの録音	146	トラック（曲）情報などを 表示する	157
CDを再生しながら 自動で録音する	147	携帯電話でアルバム情報を 見る	157
CDの中からお好みのトラック（曲）を 録音する	148	MUSIC JUKEを止める	157
CDプレーヤー以外のソースから 録音する	149	プレイリストの編集	158
MUSIC JUKEの使い方	150	マイセレクトへのプレイ リストの作成	158
MUSIC JUKEを聞く	150	プレイリスト名を入力する	158
表示・再生について	151	作成したプレイリストに トラックを追加する	160
再生中のプレイリストの中で 聞きたいトラック（曲） を選ぶ	151	プレイリストの名称入力	161
選曲・頭出しスイッチから選ぶ	151	カナ、英字、数・記号の入力	162
トラック切り替えスイッチから 選ぶ	151	プレイリスト名称の編集	163
プレイモード・プレイリストから 聞きたいトラック（曲） を選ぶ	152	ジャケット写真の表示を 設定する	164
“AGENT” から選ぶ	154	タイトル情報の再取得	164
早送り・早戻しする	155	プレイリストの並び替え	166
聞きたいトラック（曲）を 探す	155	お好みに合わせて並び替える	166
プレイリストの中から 聞きたい曲を探す	155	作成した順番に並び替える	166
プレイモードの中から聞きたい プレイリストを探す	155	プレイリストの削除	167
聞きたいトラック（曲）を 繰り返し聞く	155	トラックの編集	168
いま聞いている曲を 繰り返し再生する	155	トラック情報の編集	168
いま聞いているプレイリストを 繰り返し再生する	155	トラック編集画面の呼び出し	168
トラック（曲）の順番を ランダムに聞く	156	トラックタイトルを変更する	169
いま聞いているプレイリストの中から ランダムに再生する	156	アーティストを変更する	170
いま聞いているプレイモードの中から ランダムに再生する	156	ジャンルを変更する	170
		トラックの消去	171
		TVの操作	
		TVの使い方	173
		TVを見る	173
		見たいチャンネルを選ぶ	173
		手動で選ぶ	173
		自動で選ぶ	174

TVの操作

TVの使い方	173
TVを見る	173
見たいチャンネルを選ぶ	173
手動で選ぶ	173
自動で選ぶ	174

プリセットスイッチから選ぶ	174
チャンネルを記憶する	174
マニュアル（手動）で記憶する	174
AUTO.P（自動）で記憶する	174
AUTO.Pで記憶したチャンネルを 変更する	174
マルチチャンネルビューを 表示する	175
TV設定画面の切り替え	176
エリアスイッチについて	176
局名スイッチについて	177
音声多重放送を切り替える	177
TVを終わる	178

ワンセグ/DTVの操作

ワンセグの使い方	179
ワンセグを見る	179
見たいチャンネルを選ぶ	180
手動で選ぶ	180
自動で選ぶ	180
プリセットスイッチから選ぶ	180
チャンネルを記憶する	181
マニュアル（手動）で記憶する	181
AUTO.P（自動）で記憶する	181
AUTO.Pで記憶したチャンネルを 変更する	181
ワンセグ設定画面の切り替え	182
音声多重放送を切り替える	182
字幕を切り替える	183
緊急警報放送を 受信したときは	183
EPG（電子番組表）を見る	183
ワンセグを終わる	183
DTVをお使いになる前に	184
各部の名称について	185

B-CASカードについて	186
取り扱いについての注意	186
B-CASカードの破棄について	186
B-CASカードを差し込む	187
B-CASカードを取り出す	187
初回起動時の設定	187
DTVの使い方	188
DTV（地上デジタルTV放送） を見る	188
見たいチャンネルを選ぶ	189
手動で選ぶ	189
自動で選ぶ	189
プリセットスイッチから選ぶ	189
見たい番組を選ぶ	189
切換 から選ぶ	189
番組切替画面から選ぶ	190
チャンネルを記憶する	190
マニュアル（手動）で記憶する	190
AUTO.P（自動）で記憶する	191
AUTO.Pで記憶したチャンネルを 変更する	191
DTV設定画面の切り替え	192
エリアスイッチについて	192
局名スイッチについて	193
音声多重放送を切り替える	193
画面表示・音声の切り替え	194
映像を切り替える	194
音声を切り替える	194
字幕を切り替える	194
緊急警報放送を 受信したときは	195
放送局からの お知らせについて	195
DTV（地上デジタルTV放送）を 終わる	195

アンテナインジケータの表示を 切り替える	196
アンテナインジケータを消す	196
表示位置を切り替える	196
EPG（電子番組表）の 使い方	197
EPG（電子番組表）を見る	197
見たい番組を探す	197
手動で探す	197
自動で探す	197
番組の情報を見る	198
データ放送の使い方	199
データ放送を見る	199
データ放送を操作する	200
色ボタン・カーソルの 操作について	200
10キー（テンキー）の 操作について	200
ブックマーク機能について	201
ブックマークに登録する	202
ブックマークを呼び出す	202
ブックマークを編集する	203
カナ、英数字、数記号の入力	204
ブックマークを削除する	205
DTVの設定	206
初期設定画面に切り替える	206
機能設定をする	207
文字スーパーを設定する	207
居住地域を設定する	207
県域から設定する	207
郵便番号から設定する	208
イベントリレーを設定する	209
アンテナの設定をする	209
ワンセグ自動切換を設定する	210
受信したメールを見る	211
メールリストを見る	211

メールの内容を見る	212
B-CASカードの動作確認	212
B-CASカードの情報を見る	212
B-CASカードの 動作確認をする	213
個人情報を消去する	214
画面位置を調整する	214

DVD/VTRの操作

DVDプレーヤーをお使いに なる前に	215
DVDビデオの特長	215
マルチ音声機能について	215
マルチアングル機能について	215
字幕表示機能について	216
ディスクについて	216
再生できるディスクの 種類について	216
再生可能なディスクの地域番号 （リージョンコード）に ついて	216
ディスクに表示されている マークについて	217
ディスクの構成について	217
操作の流れについて	218
DVDプレーヤーの使い方	219
DVDを見る	219
映像を操作する	220
映像を再生する	220
早送り・早戻しする	220
パネルスイッチから 早送り・早戻しする	220
タッチスイッチから 早送り・早戻しする	220
いま見ているチャプターを 繰り返し再生する	220
映像を一時止める	221
映像を止める	221

ディスクメニューを操作する	221
画面を直接タッチして操作する	221
タッチスイッチから操作する	222
DVDを止める	222
見たい映像を探す	223
チャプターから探す	223
タイトル番号から探す	223
チャプター番号から探す	224
スイッチの表示を切り替える	225
タッチスイッチを消す	225
タッチスイッチの表示場所を 切り替える	225
画面表示・音声の切り替え	225
アングルを切り替える	225
字幕言語を切り替える	226
音声言語を切り替える	226
DVDプレーヤーの設定	227
音声言語を設定する	228
コードを入力する	228
字幕言語を設定する	228
コードを入力する	229
メニュー言語を設定する	229
コードを入力する	229
マルチアングルマークの表示を 設定する	229
視聴制限を設定する	230
映像出力を切り替える	231
言語コード一覧	232
VTRの使い方	233
VTRを見る	233
VTR設定画面の切り替え	233
VTRを終わる	233

ポータブルオーディオ機器接続時の操作

AUXの操作	234
--------------	-----

ポータブルオーディオを お使いになる前に	234
ポータブルオーディオを接続する (取りはずす)	235
ポータブルオーディオを聞く	235
ポータブルオーディオを 終わる	235

マルチウィンドウの操作

マルチウィンドウ機能	236
マルチウィンドウについて	236
マルチウィンドウ画面の表示	236
マルチウィンドウ画面の操作	238
画面サイズの調整	238
TV・ワンセグ・ DVD画面の操作	239
ルート情報画面の操作	240
オーディオ画面の操作	240
ソースを切り替える	240
電卓画面の操作	241

ご参考に

知っておいていただき たいこと	242
こんなメッセージが 表示されたときは	242
故障とお考えになる前に	248
お手入れについて	251
アンテナのお手入れについて	251
用語説明	252
Gracenoteメディアデータベースの ご利用について	256
FM de TITLEサービス放送局に ついて	257
索引	258

画面・音の調整について

<画面の調整に関して>

■オーディオ操作画面や映像画面を見やすくしたい

オーディオ操作画面などのコントラストや色合いなどを調整する方法について説明しています。

「画質調整画面の表示」..... P86

■画面を消したい

ディスプレイに何も表示させなくする方法について説明しています。

「画面を消すときは」..... P87

■操作画面などのタッチスイッチを消したい

タッチスイッチを表示させなくする操作や、機能スイッチの表示切り替えについて説明しています。

「タッチスイッチの設定」..... P90

■壁紙に使用できるデータについて知りたい

本機の壁紙に使用できるデータ（仕様）について説明しています。

「使用できる画像データについて」..... P72

■壁紙を切り替えたい

壁紙の切り替え方法について説明しています。

「壁紙を切り替える」..... P67

■パソコンや携帯電話で取り込んだ画像やデジタルカメラで撮った画像を壁紙にしたい

壁紙の書き換え（画像の書き換え）方法について説明しています。

「お好みの画像データに書き換える」..... P68

「携帯電話に保存した画像データを壁紙に設定する」..... P70

■パソコンで取り込んだ画像やデジタルカメラで撮った画像をHDDに保存したい

画像データの保存方法について説明しています。

「画像データを保存する」..... P75

■HDDから画像データを削除したい

画像データの消去方法について説明しています。

「画像データを消去する」..... P77

■画面をワイドモードにしたい

TVやDVD、VTRの画面表示サイズを切り替える方法について説明しています。

「画面モード切り替え」..... P92

<音の調整に関して>

■音量をかえたい

音量を調整する方法について説明しています。

「主音量の調整」..... P45

■スイッチを操作したときの操作音を消したい（鳴らしたい）

スイッチを押したときなどの操作音を設定する方法について説明しています。

「操作音の設定」..... P45

■音質をかえたい

- 演奏会場を擬似的に創り出したい

「SFC（音場）の設定」..... P51

- イコライザを調整したい

「EQ（イコライザ）の調整」..... P52

- 乗車位置に合わせて、音像定位を切り替えたい

「POS（ポジショニングセクター）の調整」..... P55

- 前後左右の音量のバランスを調整したい

「POS（ポジショニングセクター）の調整」..... P55

- MP3/WMAの音質を調整したい

「音質補正の設定（ハーモナイザー）」..... P57

- 小音量時などにメリハリのある音にしたい

「LOUDNESSの設定」..... P57

- サブウーファの設定を変更したい

「サブウーファの設定」..... P58

- DVDビデオをもっと迫力のあるサウンドで聞きたい

「サラウンドシステムの設定」..... P59

- 音の到達時間差やスピーカーの出力レベルを調整したい

「スピーカーの調整」..... P62

オーディオ関係

<ラジオの使い方について>

■ラジオを聞きたい

ラジオを受信する方法について説明しています。

「ラジオを聞く」..... P94

■放送局を探したい

放送局の手動選局や、自動受信について説明しています。

「聞きたい放送局を選ぶ」..... P94

■放送局を記憶させたい

選局した放送局をプリセットスイッチに記憶させる方法などについて説明しています。

「放送局を記憶する」..... P95

■今、いるエリアの放送局を知りたい

今いる場所の放送局や周波数を表示する方法について説明しています。

「エリアスイッチについて」..... P96

<CDプレーヤーの使い方について>

■CDを聞きたい

CDを再生する方法について説明しています。

「CDを聞く」..... P97

■聞きたい曲を選びたい

次の曲に切り替える方法について説明しています。

「聞きたい曲を選ぶ」..... P98

■聞きたい曲が何番目に入っているかわからない

全曲の始めの10秒間だけ再生する方法について説明しています。

「聞きたい曲を探す」..... P98

■いま聞いている曲を繰り返し再生したい

今聞いている曲を繰り返し再生する方法について説明しています。

「同じ曲を繰り返し聞く」..... P98

■いつもと違う順番で聞きたい

CDの中から任意に選曲し、再生する方法について説明しています。

「曲の順番をランダムに聞く」..... P98

■再生しているCDに関連するいろいろな情報を知りたい

携帯電話で読み取ることができる2次元バーコードを表示する方法について説明しています。

「携帯電話でアルバム情報を見る」..... P99

<MP3/WMAプレーヤーの使い方について>

■MP3/WMAを聞きたい

MP3/WMAを再生する方法について説明しています。

「MP3/WMAを聞く」..... P101

■聞きたいフォルダや音楽ファイルを選びたい

聞きたいフォルダや音楽ファイルを選択する方法について説明しています。

「聞きたいフォルダを選ぶ」..... P101

「聞きたい音楽ファイルを選ぶ」..... P101

■階層に戻りたい／今の階層がわからない

1つ上の階層を表示する方法や、再生中の階層を表示する方法について説明しています。

「1つ上の階層を表示する」..... P102

「現在の階層を表示する」..... P102

■聞きたい音楽ファイルを探したい

再生中のフォルダと同じ階層内の全ファイルの始めの10秒間だけ再生する方法について説明しています。

「聞きたい音楽ファイルを探す」..... P102

■同じ音楽ファイルを繰り返し再生したい

今聞いているファイルを繰り返し再生する方法について説明しています。

「同じ音楽ファイルを繰り返して聞く」..... P102

■普段と違う順番で聞きたい

再生中のフォルダを含め、その階層以下の全ファイルの中から任意に選曲し、再生する方法について説明しています。

「順番をランダムに聞く」..... P103

■ディスクに記録したファイル情報を表示したい

音楽ファイル情報を表示する方法について説明しています。

「音楽ファイル情報などを表示する」..... P103

■MP3/WMA について知りたい

本機で再生できるMP3/WMAのデータ（規格）について説明しています。

「MP3/WMA について」..... P104

■MP3/WMA ファイルの作り方を知りたい

MP3/WMA ファイルの一般的な作り方について説明しています。

「MP3/WMA ファイルの作り方、楽しみ方」..... P108

< DVD プレーヤーの使い方について >

■DVD ビデオを見たい

DVDを再生する方法について説明しています。

「DVDを見る」..... P219

■ディスクについて知りたい

ディスクのマークや再生できるディスクの種類などについて説明しています。

- ディスクやパッケージに表示しているマークの意味が知りたい

「ディスクに表示されているマークについて」..... P217

- 再生できるディスクを知りたい

「再生できるディスクの種類について」..... P216

- ディスクの構成を知りたい

「ディスクの構成について」..... P217

■ディスクに記録されているメニューを操作したい

DVDに記録されているディスクメニューを切り替える方法について説明しています。

「ディスクメニューを操作する」..... P221

■いま見ているチャプターを繰り返し再生したい

今見ているチャプターを繰り返し再生する方法について説明しています。

「いま見ているチャプターを繰り返し再生する」..... P220

■再生している映像を操作したい

映像を操作する方法について説明しています。

「映像を操作する」..... P220

■映像を選びたい・探したい

チャプターやタイトル番号、メニュー番号などを簡単に切り替える方法について説明しています。

「チャプターから探す」.....	P223
「タイトル番号から探す」.....	P223
「チャプター番号から探す」.....	P224

■タッチスイッチの表示を切り替えたい

タッチスイッチの表示場所を切り替える方法について説明しています。

「スイッチの表示を切り替える」.....	P225
----------------------	------

■字幕や音声、映像のアングルを切り替えたい

DVDに記録されている音声言語や字幕言語などを簡単に切り替える方法について説明しています。

「アングルを切り替える」.....	P225
「字幕言語を切り替える」.....	P226
「音声言語を切り替える」.....	P226

■プレーヤーの設定について知りたい

DVDプレーヤーの設定を切り替える方法について説明しています。

「音声言語を設定する」.....	P228
「字幕言語を設定する」.....	P228
「メニュー言語を設定する」.....	P229
「マルチアングルマークの表示を設定する」.....	P229
「視聴制限を設定する」.....	P230
「映像出力を切り替える」.....	P231

< “メモリースティック” プレーヤーの使い方について >

■ “メモリースティック” を聞きたい

“メモリースティック” を再生する方法について説明しています。

「“メモリースティック” を聞く」.....	P109
------------------------	------

■聞きたい曲を選びたい

次の曲に切り替える方法について説明しています。

「聞きたい曲を選ぶ」.....	P109
-----------------	------

■聞きたい曲を探したい

全曲の最初の10秒間だけ再生する方法について説明しています。

「聞きたい曲を探す」.....	P110
-----------------	------

■いま聞いている曲を繰り返し再生したい

今聞いている曲を繰り返し再生する方法について説明しています。

「同じ曲を繰り返し聴く」..... P110

■いつもと違う順番で聞きたい

“メモリースティック”の中から任意に選曲し、再生する方法について説明しています。

「曲の順番をランダムに聴く」..... P110

<CDチェンジャーの使い方について>

■CDを聞きたい

CDを再生する方法について説明しています。

「CDを聴く」..... P113

■聞きたい曲やCDを選びたい

次の曲に切り替える方法や、聞きたいCDに切り替える方法について説明しています。

「聞きたい曲を選ぶ」..... P113

「聞きたいCDを選ぶ」..... P113

■聞きたい曲が何番目、またはどのCDに入っているかわからない

再生中のCD内、全曲の始めの10秒間だけ再生する方法や、CDチェンジャー内の全CDの1曲目に録音されている曲を、始めの10秒間だけ再生する方法について説明しています。

「聞きたい曲を探す」..... P114

「聞きたいCDを探す」..... P114

■いま聞いている曲やCDを繰り返し再生したい

今聞いている曲を繰り返し再生する方法や、今聞いているCDを繰り返し再生する方法について説明しています。

「いま聞いている曲を繰り返し再生する」..... P114

「いま聞いているCDを繰り返し再生する」..... P114

■いつもと違う順番で聞きたい

再生中のCDの中から任意に選曲し、再生する方法や、CDチェンジャーの中から任意に選曲し、再生する方法について説明しています。

「いま聞いているCDの中からランダムに聴く」..... P114

「チェンジャー内全CDの中からランダムに聴く」..... P114

<MDチェンジャーの使い方について>

■MDを聞きたい

MDを再生する方法について説明しています。

「MDを聞く」..... P115

■聞きたい曲やMDを選びたい

次の曲に切り替える方法や、聞きたいMDに切り替える方法について説明しています。

「聞きたい曲を選ぶ」..... P115

「聞きたいMDを選ぶ」..... P115

■聞きたい曲が何番目、またはどのMDに入っているかわからない

再生中のMD内、全曲の始めの10秒間だけ再生する方法や、MDチェンジャー内の全MDの1曲目に録音されている曲を、始めの10秒間だけ再生する方法について説明しています。

「聞きたい曲を探す」..... P116

「聞きたいMDを探す」..... P116

■いま聞いている曲やMDを繰り返し再生したい

今聞いている曲を繰り返し再生する方法や、今聞いているMDを繰り返し再生する方法について説明しています。

「いま聞いている曲を繰り返し再生する」..... P116

「いま聞いているMDを繰り返し再生する」..... P116

■いつもと違う順番で聞きたい

再生中のMDの中から任意に選曲し、再生する方法や、MDチェンジャーの中から任意に選曲し、再生する方法について説明しています。

「いま聞いているMDの中からランダムに聞く」..... P117

「チェンジャー内全MDの中からランダムに聞く」..... P117

< iPod プレーヤーの使い方について >

■ iPod を聞きたい

iPodを再生する方法について説明しています。

「iPodを聞く」..... P120

■ 聞きたい曲を探したい

次の音楽ファイルに切り替える方法や、アーティスト名やジャンルなどの選曲モードからリストを表示して、聞きたい音楽ファイルを探す方法について説明しています。

「聞きたい音楽ファイルを選ぶ」..... P120

「聞きたい音楽ファイルをリストから探す」..... P121

■ いま聞いている曲を繰り返し再生したい

今聞いている音楽ファイルを繰り返し再生する方法について説明しています。

「同じ音楽ファイルを繰り返して聞く」..... P122

■ いつもと違う順番で聞きたい

再生中のリストの中から任意に選曲し、再生する方法や、iPodの中から任意にリストを選び、再生する方法について説明しています。

「今聞いているリストの中からランダムに聞く」..... P122

「リストをランダムに聞く」..... P122

■ 接続できる iPod について知りたい

本機に接続できる iPod について説明しています。

「接続可能な iPod について」..... P123

MUSIC JUKEについて

< MUSIC JUKEの使い方について >

■ MUSIC JUKEを聞きたい

MUSIC JUKEを再生する方法について説明しています。

「MUSIC JUKEを聞く」..... P150

■ MUSIC JUKEについて知りたい

MUSIC JUKEについての説明やMUSIC JUKEの構成について説明しています。

「MUSIC JUKEの概要」..... P124

「MUSIC JUKEの構成について」..... P124

■ 録音について知りたい

音楽や音声を録音するために知っておいていただきたいことについて説明しています。

「MUSIC JUKEへの録音について」..... P142

「録音についての注意」..... P142

● 録音できるソースについて知りたい

録音できるオーディオのソースについて説明しています。

「録音できるソースと録音方式について」..... P142

● 録音の設定を切り替えたい

録音モードや録音ビットレートの切り替えについて説明しています。

「録音方式の設定」..... P144

■ データベースについて知りたい

本機に収録されている音楽データ（Gracenote メディアデータベース/メディアクリックデータベース）について説明しています。

「データベースについて」..... P126

■ オートタイトリング機能について知りたい

録音された音楽にデータベースからタイトル情報を自動付与するしくみについて説明しています。

「オートタイトリング機能について」..... P128

■ タイトルデータベースを更新したい

Gracenote メディアデータベース/メディアクリックデータベースを更新する方法について説明しています。

「データベースの更新について」..... P131

■タイトル情報を受信したい

- FM多重放送を使って、CDタイトルや新譜情報（ジャケット写真）を受信する方法について説明しています。

「タイトル情報の受信について」..... P133

- 受信したCDタイトルの表示方法について説明しています。

「CDタイトルを表示する」..... P134

- CDタイトルを受信し、確認可能になったことをお知らせするインジケータの表示ON/OFFについて説明しています。

「CD情報インジケータの表示を設定する」..... P135

- 受信した新譜情報の表示方法や、携帯電話で読み取ることができる2次元バーコードの表示方法について説明しています。

「新譜情報を表示する」..... P136

- 新譜情報を受信し、確認可能になったことをお知らせするメッセージの表示ON/OFFについて説明しています。

「新譜情報受信メッセージの表示を設定する」..... P138

■ハードディスクの容量を表示したい

ハードディスクの使用状況を確認する方法について説明しています。

「ハードディスクの容量確認」..... P140

■MUSIC JUKEに録音したい

音楽CDや、その他のソースから録音する方法について説明しています。

- CDアルバムを自動で録音したい

「CDを再生しながら自動で録音する」..... P147

- CDを再生しながら好きな曲を録音したい

「CDの中からお好みのトラック（曲）を録音する」..... P148

- 他のオーディオソースから録音する

「CDプレーヤー以外のソースから録音する」..... P149

■プレイリストを編集したい

オリジナルプレイリストを作成する方法や、リスト名称を編集する方法などについて説明しています。

- 新しいプレイリストを作成したい
「マイセレクトへのプレイリストの作成」..... P158
- 新しくアーティストをリストに追加したい
「アーティストを変更する」..... P170
- 作成したプレイリストを編集したい
「プレイリスト名称の編集」..... P163
- プレイリストを削除したい
「プレイリストの削除」..... P167
- プレイリスト・トラックを並び替えたい
「プレイリストの並び替え」..... P166

■トラック（曲）を編集したい

オリジナルプレイリストにトラック（曲）を追加登録する方法や、トラック情報（曲情報）を修正する方法などについて説明しています。

- 作成したプレイリストにトラック（曲）を追加したい
「作成したプレイリストにトラックを追加する」..... P160
- 録音したトラック（曲）を編集したい
「トラック情報の編集」..... P168
- トラック（曲）を削除したい
「トラックの消去」..... P171
- 情報を更新したい
「タイトル情報の再取得」..... P164

■聞きたいトラック（曲）を選びたい

プレイモード/プレイリストの切り替えや、次のトラック（曲）に切り替える方法などについて説明しています。

- 「再生中のプレイリストの中で聞きたいトラック（曲）を選ぶ」..... P151
- 「プレイモード・プレイリストから聞きたいトラック（曲）を選ぶ」..... P152

■ドライブの気分に合わせて、自由に音楽を再生したい

その日の気分やドライブしている状況に合わせて、トラック（曲）を再生する方法について説明しています。

- 「“AGENT” から選ぶ」..... P154

■聞きたいトラック（曲）を探したい

再生中のプレイリスト内、全トラック（曲）の始めの10秒間だけ再生する方法や、再生中のプレイモード内、全プレイリストの1曲目に録音されている曲を、始めの10秒間だけ再生する方法について説明しています。

「プレイリストの中から聞きたい曲を探す」..... P155

「プレイモードの中から聞きたいプレイリストを探す」..... P155

■いま聞いているプレイリストやトラック（曲）を繰り返し再生したい

今聞いているトラック（曲）を繰り返し再生する方法や、今聞いているプレイリストを繰り返し再生する方法について説明しています。

「いま聞いている曲を繰り返し再生する」..... P155

「いま聞いているプレイリストを繰り返し再生する」..... P155

■いつもと違う順番で聞きたい

プレイリストの中から任意に選曲し、再生する方法や、録音されている全トラック（曲）の中から任意に選曲し、再生する方法について説明しています。

「いま聞いているプレイリストの中からランダムに再生する」..... P156

「いま聞いているプレイモードの中からランダムに再生する」..... P156

■再生中のプレイリストに関連するいろいろな情報を知りたい

携帯電話で読み取ることができる2次元バーコードを表示する方法について説明しています。

「携帯電話でアルバム情報を見る」..... P157

TVについて

<TVの使い方について>

■TVを見たい

TVを受信する方法について説明しています。

「TVを見る」..... P173

■放送局を探したい

チャンネルの手動選局や、自動受信について説明しています。

「見たいチャンネルを選ぶ」..... P173

■放送局を記憶させたい

選局したチャンネルをプリセットスイッチに記憶させる方法などについて説明しています。

「チャンネルを記憶する」..... P174

■TVの設定画面に表示を切り替えたい

TVの設定画面に切り替える方法について説明しています。

「TV設定画面の切り替え」..... P176

■今、いるエリアの放送局が知りたい

今いる場所の放送局やチャンネルを表示する方法について説明しています。

「エリアスイッチについて」..... P176

■今、聞いている音声を切り替えたい

主音声や副音声など、番組の音声を切り替える方法について説明しています。

「音声多重放送を切り替える」..... P177

■同時に複数の番組を表示したい

プリセットされているチャンネルを最大8画面に分割して表示する方法について説明しています。

「マルチチャンネルビューを表示する」..... P175

ワンセグ※について

※AVN887HD・AVN777HDのみ

<ワンセグの使い方について>

■ワンセグを見たい

ワンセグを受信する方法について説明しています。

「ワンセグを見る」..... P179

■放送局を探したい

チャンネルの手動選局や、自動受信について説明しています。

「見たいチャンネルを選ぶ」..... P180

■放送局を記憶させたい

選局したチャンネルをプリセットスイッチに記憶させる方法などについて説明しています。

「チャンネルを記憶する」..... P181

■今、聞いている音声を切り替えたい

主音声や副音声など、番組の音声を切り替える方法について説明しています。

「音声多重放送を切り替える」..... P182

■今、見ている字幕を切り替えたい

字幕を切り替える方法について説明しています。

「字幕を切り替える」..... P183

■EPG（電子番組表）を見たい

EPG（電子番組表）を表示する方法について説明しています。

「EPG（電子番組表）を見る」..... P183

DTV※について

※AVN757HDTVのみ

AVN887HD・AVN777HDは、別売の「地上デジタルTVチューナ」が必要になります。

<DTVの使い方について>

■DTVを見たい

DTVを受信する方法について説明しています。

「DTV（地上デジタルTV放送）を見る」..... P188

■放送局を探したい

チャンネルの手動選局や、自動受信について説明しています。

「見たいチャンネルを選ぶ」..... P189

■番組を切り替えたい

1つのチャンネルで複数の番組が放送されているとき、番組を切り替える方法について説明しています。

「見たい番組を選ぶ」..... P189

■放送局を記憶させたい

選局したチャンネルをプリセットスイッチに記憶させる方法などについて説明しています。

「チャンネルを記憶する」..... P190

■今、いるエリアの放送局が知りたい

今いる場所の放送局やチャンネルを表示する方法について説明しています。

「エリアスイッチについて」..... P192

■今、聞いている音声を切り替えたい

主音声や副音声など、番組の音声を切り替える方法について説明しています。

「音声多重放送を切り替える」..... P193

■映像・音声・字幕を切り替えたい

見ている番組が複数の映像・音声・字幕を提供しているときの切り替え方法について説明しています。

「画面表示・音声の切り替え」..... P194

■EPG（電子番組表）を見たい

EPG（電子番組表）を表示する方法や、EPGから見たい番組を探す方法について説明しています。

「EPG（電子番組表）の使い方」..... P197

■データ放送を見たい

データ放送を表示する方法や、操作方法について説明しています。

「データ放送の使い方」..... P199

■チューナの設定について知りたい

チューナの設定を切り替える方法について説明しています。

「機能設定をする」..... P207

「受信したメールを見る」..... P211

「B-CASカードの動作確認」..... P212

「個人情報を消去する」..... P214

「画面位置を調整する」..... P214

VTRに関して

■VTRを使いたい

別売のビデオ接続コードで市販のVTR機器を接続したときの操作方法について説明しています。

「VTRの使い方」..... P233

AUXに関して

■ポータブルオーディオなどの音声を本機で出力したい

市販のポータブルオーディオを本機のAUX端子に接続したときの操作方法について説明しています。

「AUXの操作」..... P234

その他

<便利な機能>

■ナビゲーション画面とオーディオ画面を同時に表示したい

ナビゲーション画面とオーディオ画面を2つに分割して同時に表示する方法について説明しています。

「マルチウィンドウについて」..... P236

<わからなくてお困りのとき>

■画面のメッセージがわからない

画面に表示されるメッセージの意味と、処置方法について説明しています。

「こんなメッセージが表示されたときは」..... P242

■故障かどうかわからない

本機が故障しているのかわからないときに、症状と簡単な処置方法について説明しています。

「故障とお考えになる前に」..... P248

特長

音楽の録音を可能にした MUSIC JUKE (ミュージック ジューク) (124ページ)

大容量の音楽ハードディスクを搭載し、各ソースから流れる音楽や音声を、簡単に録音できます。また、音楽CDは、通常の速さで再生しながら、4倍の速さで録音することが可能です。録音したデータは、種別別に検索できるほか、編集機能でプレイベートアルバムを作成することもできます。



理想の音響空間を創り出す音質 調整機能 (47ページ)

車が持つさまざまな音響空間や、お使いになるメディアの特性に合った音質を創り出すことができます。



多様なサラウンド方式に対応する 音質調整機能 (59 ページ)

Dolby Digital(5.1ch) やDTS (5.1ch)、Dolby Pro Logicに対応しており、車室内で映画館やコンサートホールのような迫力ある臨場感を楽しむことができます。



アルバム数枚分を収録した音楽 ディスクを再生するMP3/ WMAプレーヤー (100 ページ)

音楽データを約1/10サイズに圧縮できるMP3圧縮技術。本機はMP3データを収録したCD-R/RWの再生が可能です。また、MP3よりも高い圧縮率のWMAデータを再生することもできます。



パソコンなどからダウンロードした 音楽を再生する“メモリスティック” プレーヤー (109ページ)

高音質と高圧縮を両立させたオーディオ圧縮技術、ATRAC3に対応しています。パソコンや携帯電話などから“マジックゲートメモリスティック”にダウンロードした音楽データを再生することができます。



複数の番組を同時に表示する TV マルチチャンネルビュー機 能 (175ページ)

プリセットされている放送局の番組情報を順次表示します。放送中の番組を一度に確認することができます。



乱れのない安定したTV映像が 楽しめるワンセグチューナ (AVN887HD・AVN777HD のみ) (179 ページ)

地上デジタルTV放送ならではの、乱れの
ない安定した映像という特長はそのまま
に、放送するデータ量を少なくすることで
より広範囲なエリアで視聴できるワンセ
グ放送を受信することができます。



高画質・高音質な映像が楽しめる地 上デジタルTVチューナ (AVN757HDTVのみ) (184 ページ)

乱れのない映像、雑音の無いCD並みの高
音質で番組を楽しむことができます。

また、これまでアナログ放送で発生した
ゴースト現象 (画像が多重で映る現象) が
解消されました。



美しい映像と迫力あるサウンドが 楽しめるDVD プレーヤー (215 ページ)

高画質・高音質で記録されたDVD- Video
を再生します。(DVD は、映画1 本分に
相当する高画質映像と、CD を上回る高音
質なデジタルサウンドを記録することが
できるメディアです。)



DVDメニューを直接操作できるダ イレクトタッチ機能 (221 ページ)

DVDのディスクメニューに直接タッチし
て操作することができます。

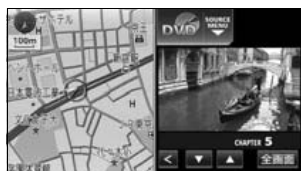


特長

ナビゲーションと各オーディオ画面などを同時表示するマルチウィンドウ機能

(AVN777HD・AVN757HDTVのみ)
(236 ページ)

ナビゲーションの画面とオーディオ、またはテレビの操作画面を左右分割して同時に表示します。また、オーディオ機能以外にルート情報や電卓を表示することができます。



携帯電話を使って簡単に情報を転送できる赤外線通信機能
(40 ページ)

携帯電話の赤外線通信機能を使って、マップコードや画像データを本機に送信することができます。また、携帯電話をリモコンとして使うこともできます。



再生中のアルバム情報を携帯電話で見ることができる2次元バーコード表示機能

(99 ページ)

携帯電話を使って2次元バーコードを読み取ると、再生中のアルバムに関連する携帯サイトへ接続することができます。



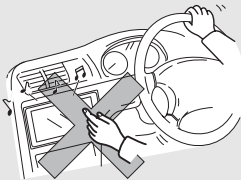
システムアップ

- **CD チェンジャー** (113ページ)
- **MD チェンジャー** (115 ページ)
複数のディスクをノンストップで再生するので、ロングドライブなどのとき便利です。また、チェンジャーの中から聞きたい曲を簡単に探し出し、再生することもできます。
- **ビデオ接続コード** (233ページ)
別売のビデオ接続コードを接続すると、本機で、ビデオカメラなどの映像をご覧になることができます。
- **地上デジタルTVチューナ** (AVN887HD・AVN777HD のみ)
(184 ページ)
別売の地上デジタルTVチューナを接続すると、本機で地上デジタルTV放送を受信することができます。
- **iPod 接続用ケーブル** (118 ページ)
別売のiPod接続用ケーブルを接続すると、本機でiPodの操作をすることができます。

ご使用になる前に

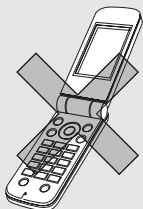


走行中のオーディオ操作は安全運転に支障がないように十分注意して行ってください。また、車外の音が十分聞こえる音量でお楽しみください。



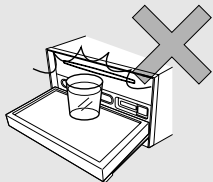
交通事故の原因となります。

走行中に携帯電話を使用することは法律で禁止されています。安全のため、走行中の操作は絶対に行わないでください。



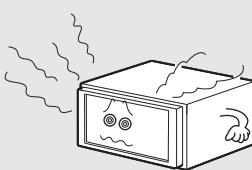
交通事故の原因となります。

モニターの上にコップや缶など異物を置かないでください。また、モニターを倒したままにしないでください。

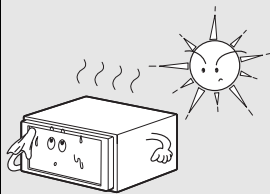


故障の原因となります。

故障したままの使用は絶対しないでください。煙、変な音、変なおいがした場合、すぐに電源をOFFにしてください。

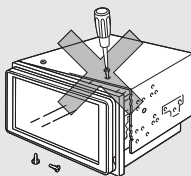


車内温度には注意してください。夏期は車内温度が高くなりますので、車内の温度を下げてからお使いください。



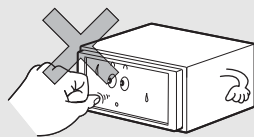
故障の原因となります。

分解、改造はしないでください。



本機内部は、精密な構造になっていますので、万一不具合が生じた場合にはお買い上げの販売店にご相談ください。

モニターに強い力を加えたりしないでください。

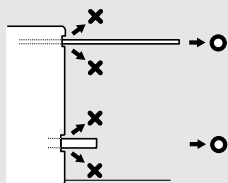


故障の原因となります。

モニター収納時指などを差し込まないように注意してください。



ケガをしたり、故障の原因となります。



本機からディスクまたは“メモリスティック”を取り出すときは水平方向に引き出してください。上側に強く引き出さないでください。また、下側にも強く押しながらか引き出さないでください。

ディスクに傷がつき、音とびをしたり、“メモリスティック”を破損するおそれがあります。

ご使用になる前に

ディスクについて



- 寒いときや雨降りのときは、車内のガラスが曇るように、本機内部にも露（水滴）が生ずることがあります。（結露現象）この場合、音がとんだり、再生が停止したりしますので、しばらくの間、換気または除湿してからご使用ください。
- プレーヤー内部を保護するため、異常が生じたときは自動的にプレーヤーの機能が止まります。画面に出たメッセージにしたがって操作しても動かないときは、故障の恐れがありますのでお買い上げの販売店にご相談ください。
- 悪路走行などで激しく振動した場合、音とびをすることがあります。

使用できるディスクについて

- 音楽用 CD・映像用 DVD は下記のマークのついたディスクが使用できます。また、DVD ビデオフォーマットに準じて記録された DVD ± R/RW ディスクも再生することができます。



- DualDiscには対応していません。機器の故障の原因、およびディスクの出し入れの際にディスクに傷がつく原因になることがあるため、使用しないでください。
- Dolby Digitalに対応しており下記のマークのついたディスクが使用できます。



ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。Dolby、ドルビー及びダブルD記号はドルビーラボラトリーズの商標です。

- DTS、DTS Digital Surround に対応しており右記のマークのついたディスクが使用できます。



Manufactured under license under U.S. Patent #'s: 5,451,942; 5,956,674; 5,974,380; 5,978,762; 6,487,535 & other U.S. and worldwide patents issued & pending. DTS and DTS Digital Surround are registered trademarks and the DTS logos and Symbol are trademarks of DTS, Inc. © 1996-2007 DTS, Inc. All Rights Reserved.

- CD-R（CD-Recordable）、CD-RW（CD-ReWritable）は、記録状態やディスクの特性、キズ、汚れ、長時間の車室内環境における劣化により再生できない場合があります。また、ファイナライズ処理されていないCD-R、CD-RWやUDFフォーマットで書き込みされたCD-R、CD-RWは再生できません。（MP3/WMAは除く）
- DVD ± R/RW（DVD ± Recordable/ReWritable）は、ビデオモードで書き込みされたディスクのみ使用できます。ビデオレコーディング（VR）モードで書き込みされたディスクには対応していません。
- DVD ± R/RWは、記録状態やディスクの特性、傷、汚れ、長時間の車室内環境における劣化により再生できない場合があります。またファイナライズ処理されていないDVD ± R/RWは再生できません。パソコンで記録したディスクは、アプリケーションの設定や環境により再生できない場合があります。
- CD-TEXT機能は市販のCD-TEXT対応CDのみ対応しています。CD-RやCD-RWでは文字が正常に表示されない場合があります。
- 記録部分に透明または半透明部分があるCD、C-thru Discは、正常に出し入れや再生ができなくなるおそれがありますので使用しないでください。



- スーパーオーディオCD (SACD) はハイブリッドディスクのCD層のみ再生できます。



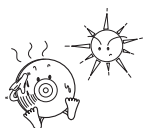
- CCCD (Copy Control CD) は正式なCD規格に準拠していないため再生できない場合があります。



- CD-EXTRAは音楽CDとして再生することができます。
- Mixed Mode CD のデータトラックの音声は再生されません。音楽トラックのみの再生となります。また、DTSが混在のMixed Mode CDは正常に再生されません。
- Video-CDは再生できません。
- 本機は8cm CDおよび8cm DVDを再生することができます。故障の原因となるため、アダプタ等は使用せず、そのまま差し込んでください。

ディスクの取扱いについて

- ディスクは直射日光を避け、必ずケースにに入れて保管してください。ディスクがそり、使用できなくなるおそれがあります。
- 記録面はもちろん、レーベル面にも紙テープを貼らないでください。故障の原因となります。
- ひびがはいったディスクやそりが大きいディスクは、使用しないでください。故障の原因となります。



- 記録面に触れないように持ってください。(虹色に光っている面) ディスクが汚れ、音とびをすることがあります。
- 汚れたディスクを使用するとディスクに傷がつき、音とびをするおそれがあります。ディスクが汚れたときは、市販のディスク・クリーナでディスクの内側中心から外側方向へ軽く拭きとってください。

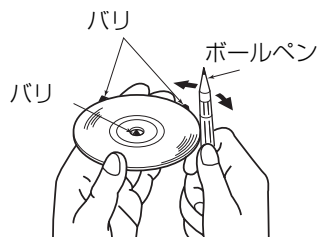


ご使用になる前に



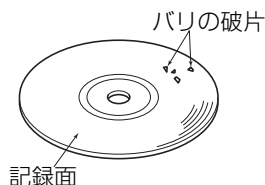
新しいディスクについて

- 新しいディスクをご使用になると、ディスクのセンターホールや外周部に“バリ”があることがあります。“バリ”がついているときは、ボールペンなどで取り除いてからご使用ください。“バリ”がついているディスクを使用すると、ディスクを正しく認識できないなど、正常に動作しない場合があります。



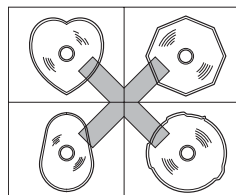
レンタルディスクについて

- ディスクにセロハンテープやレンタルディスクのラベルなどの糊がはみ出したり、剥がした痕があるものはお使いにならないでください。そのままプレーヤーにかけると、ディスクが取り出せなくなったり、故障する原因となる場合があります。



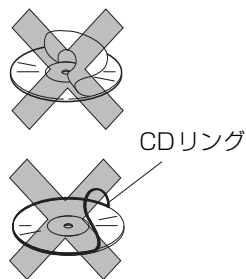
特殊形状のディスクについて

- ハート型や八角形など特殊形状のディスクは、演奏できません。機器の故障の原因となりますので、ご使用にならないでください。



ディスクのアクセサリについて

- 音質向上やディスク保護用として市販されているアクセサリ（スタビライザー、保護シールなど）、CD ラベルなどは使用しないでください。ディスクの厚さや外形寸法が変わるため、故障の原因となる場合があります。
- 音質向上や防振効果を高める CD の保護用として市販されているアクセサリ（CD リング・プロテクター）は使用しないでください。内部ではずれて再生できなったり取り出せなくなるため、故障の原因となる場合があります。



“メモリースティック” について



- 静電気や電氣的ノイズを受ける恐れのある場所に、“メモリースティック”を放置しないでください。データが破壊される恐れがあります。
- プレーヤー内部を保護するため、異常が生じたときは自動的にプレーヤーの機能が止まります。画面に出たメッセージにしたがって操作しても動かないときは、故障の恐れがありますのでお買い上げの販売店にご相談ください。
- “マジックゲートメモリースティック”の再生後およびHDDへデータ転送後は、すみやかに“メモリースティック”を取り出してください。
- “メモリースティック”再生中、フォーマット中、HDDにデータ転送中は抜かないでください。データが破損する恐れがあります。破損した場合、補償できませんのでご注意ください。

使用できる“メモリースティック”について

- 128MB までの容量の“メモリースティック”に対応しています。
- “メモリースティック Duo”を使用する場合は、“メモリースティック Duo”アダプターをご使用ください。
- “メモリースティック PRO”には対応していません。
- 下記のマークの付いた“マジックゲートメモリースティック”は使用できます。

MAGICGATE

- 下記のマークの付いた“メモリースティック”は本機に画像を取り込む場合のみ使用できます。



“MagicGate Memory Stick” (“マジックゲートメモリースティック”) **MAGICGATE**、

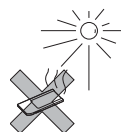
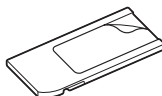
“Memory Stick” (“メモリースティック”)  はソニー株式会社の商標です。

上記のマークの付いた“メモリースティック”でも製造メーカーにより読み込めない場合があります。

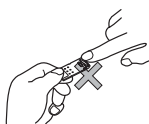
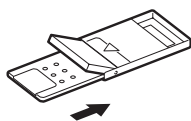
- “メモリースティック”のフォーマット（初期化）は、本機、または専用機器で行ってください。本機、または専用機器以外でフォーマットを行った場合、使用できません。

“メモリースティック”の取扱いについて

- いつもよい音を楽しむため、定期的にカートリッジの表面についたホコリやゴミなどを乾いた布で拭き取ってください。
- ラベルがはがれていたり、ネームテープ（ラベル）が貼ってある“メモリースティック”は使用しないでください。
- 直射日光や湿気の多いところをさけて保管してください。“メモリースティック”が使用できなくなる場合があります。



- 持ち運びや保管の際は、付属の収納ケースに入れてください。
- 端子部には、手や金属が触れないようにしてください。



ご使用になる前に

液晶パネルについて

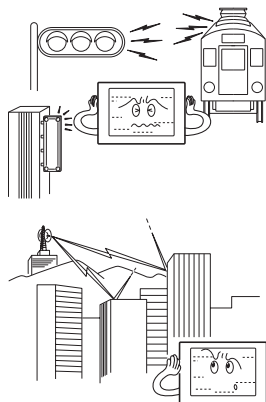


- 液晶パネルは斜め方向から見ると画面が白っぽく見えたり、黒っぽく見えたりすることがあります。
- 太陽の光などの外光が表示部にあたると画面が見えにくくなります。

TVについて



- バッテリー交換やヒューズ交換などでバッテリーとの接続が断たれたときは、セットしたチャンネルの記憶は全て消去されます。
- 車載器での地上アナログTV放送および地上デジタルTV放送の受信は受信場所によって、電波の強さがかわったり、障害物などの影響により最良な受信状態を維持することが困難な場合もあります。この関係の主な例を以下に説明します。
 - 電車の架線、高圧線、信号機、ネオンサインなどの近くで受信すると、画像が乱れたり雑音が入る場合や、画像が静止したり音声かとぎれる場合があります。
 - 電波の特性上、建物や山などが障害物となって受信状態が悪くなることがあります。
 - ラジオ放送やアマチュア無線の送信用アンテナの近くで受信すると、画像が乱れたり雑音が入る場合や、画像が静止したり音声かとぎれる場合があります。
 - トンネル内にはいると電波が微弱になり受信状態が悪くなります。
 - 放送局から遠ざかると電波が微弱になり受信状態が悪くなります。
 - 一部の地域において、TV、ラジオなどの送信アンテナ塔付近では、受信している周波数以外の電波の影響により、画像が乱れたり雑音が入る場合や、画像が静止したり音声かとぎれる場合があります。



地上アナログTV放送について

地上アナログTV放送は2011年7月に終了し、地上デジタルTV放送に移行します。2011年7月以降は、内蔵のワンセグチューナ※¹、または同梱の地上デジタルTVチューナ※²でTV放送をご覧ください。

※1 AVN887HD・AVN777HDのみ

※2 AVN757HDTVのみ

2011年 アナログテレビ
放送終了 総務省

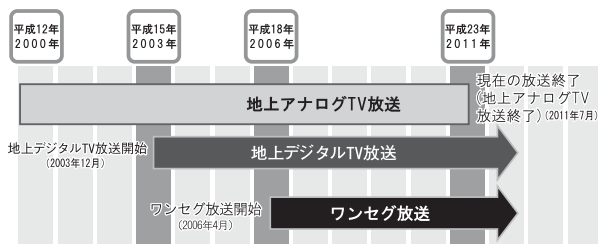


地上デジタルTV放送について

- 地上デジタルTV放送には、ワンセグ放送と12セグメント放送のサービスがありますが、AVN887HD、AVN777HDでは12セグメント放送の受信はできません。12セグメント放送を受信するには、別売の「地上デジタルTVチューナ」が必要になります。(AVN757HDTVは、12セグメント放送も受信できます。)

<地上デジタルTV放送とは>

- 地上デジタルTV放送は、1つのチャンネルを13個の「セグメント」と呼ばれる単位で分割して管理しており、そのうち12セグメントを12セグメント放送用として使用し、残りの1セグメントをワンセグ放送用として使用しています。
- 地上デジタルTV放送は、関東、中京、近畿の三大広域圏の一部で2003年12月から開始され、2006年12月には全国の都道府県庁所在地で放送が開始されました。今後も受信可能エリアは順次拡大されます。地上アナログTV放送は2011年7月に終了することが、国の方針として決定されています。
- ワンセグ放送は、テレビ放送事業者（放送局）などにより提供されるサービスです。



- サービスエリアと放送局
詳しい地上デジタルTV放送のサービスエリアは、社団法人 デジタル放送推進協会 (Dpa) ※のホームページ (<http://www.dpa.or.jp/>) をご覧ください。
※ 2007年4月に社団法人 地上デジタル放送推進協会から協会名が変更されました。

ご使用になる前に

赤外線通信について

本機は携帯電話の赤外線通信を用いた下記の機能に対応しています。動作確認済みの携帯電話は、下記E-iSERVを参照してください。

- **モクテキチネット**：パソコンや携帯電話からモクテキチネットへアクセスし、検索した目的地のマップコードを専用のアプリケーションソフトで送信することができます。詳しくは、「**取扱説明書ナビゲーション編**」-「**赤外線通信で地図を呼び出す**」を参照してください。
- **Pic-CLIP**：携帯電話に保存されている画像データを専用のアプリケーションソフトで送信し、背景画やオープニング画に設定することができます。詳しくは、「**Pic-CLIPの設定**」（67 ページ）、または「**オープニング画面の設定**」（78 ページ）を参照してください。
- **助手席リモコン**：専用のアプリケーションソフトを用いることにより、携帯電話を使ってリモコン操作ができます。

各機能で必要になる専用のアプリケーションソフトは、携帯電話でE-iSERVにアクセスし、ダウンロードしてください。詳しくは「**取扱説明書ナビゲーション編**」-「**E-iSERVについて**」を参照してください。

E-iSERV (ECLIPSE information SERVICE)

《パソコンからアクセスする場合》

下記URL（ECLIPSEホームページ）からE-iSERVへアクセスしてください。

<http://www.fujitsu-ten.co.jp/eclipse/>

《携帯電話からアクセスする場合》

下記URLもしくは2次元バーコードからE-iSERVへアクセスしてください。

<http://www.e-iserv.jp/dpmobile/disptop.do>



This product includes iAnywhere Solutions, Inc.'s XTNDAccess IrDA SDK, marked with the following iAnywhere copyright, or its derivative work, which use is governed by a license granted by iAnywhere.

Copyright [YEAR] iAnywhere Solutions, Inc. All Rights Reserved.



警告

走行中に携帯電話を使用することは法律で禁止されています。安全のため、走行中の操作は絶対に行わないでください。



ワンポイント

携帯電話の通信料金はお客様のご負担になります。

ソースの切り替え方

ソースを切り替える

■パネルスイッチから切り替える

1 **MENU** を押します。

- オーディオメニュー画面が表示されないときは、**AUDIO** にタッチします。
- MENU** を押すごとに、下図の順にメニュー画面を切り替えることができます。

ナビメニュー画面→オーディオメニュー画面
 ↑ 情報メニュー画面 ←



●オーディオメニュー画面

2 オーディオメニュー画面のオーディオソース切り替えスイッチにタッチします。

- タッチしたソースがスクリーン表示(オンスクリーン表示) されます。
- 切り替えたいソースが表示されないときは、**ページ切換** にタッチします。

—オーディオソース切り替えスイッチ

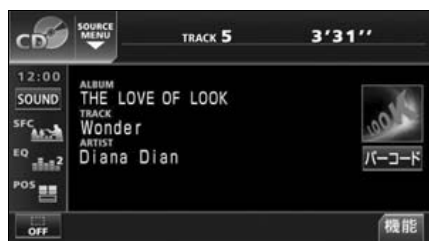


●オンスクリーン画面

ソースの切り替え方

操作画面の表示

- 1 **AV** を押します。



■ タッチスイッチから切り替える

- 1 オーディオ操作画面などで、図の位置のSOURCE MENU呼び出しスイッチにタッチします。

—SOURCE MENU 呼び出しスイッチ



- 2 SOURCE MENUのタッチスイッチにタッチします。

- タッチしたソースの操作画面が表示されます。
- ソースが11個以上あるときは、**次ページ** にタッチすると、11目以降のソースのタッチスイッチが表示されます。**前ページ** にタッチすると、もとの画面にもどります。
- **▲** にタッチすると、もとの画面にもどります。



各ソースの操作画面

各ソースの操作画面は、次のように表示されます。

●AM操作画面



●CDプレーヤー操作画面



●DVDプレーヤー操作画面



●MUSIC JUKE 操作画面



●ワンセグ操作画面※



※ AVN887HD・AVN777HDのみ

●FM操作画面



●MP3/WMAプレーヤー操作画面



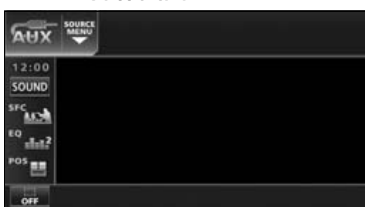
●"メモリスティック" プレーヤー操作画面



●TV 操作画面



●AUX操作画面



各ソースの操作画面

● iPod 操作画面（別売）



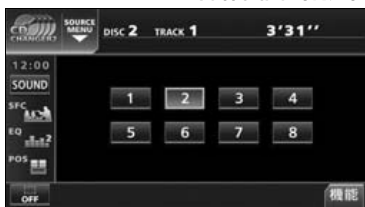
● MD チェンジャー 操作画面（別売）



● VTR 操作画面（別売）



● CD チェンジャー 操作画面（別売）



● DTV 操作画面（別売※）



※ AVN757HDTVは同梱されています。

本書では一部の操作説明を除き、オプション機器が接続されているAVN887HDの画面で説明しています。AVN777HDおよびAVN757HDTVは各ソースの操作画面やDVD映像画面が異なります。



各ソースの操作画面



DVD映像画面

音の調整

主音量の調整

1 音量調整スイッチを押します。

- 調整レベルは0～80です。

+ (右側)：音量UP (大きくなる)

- (左側)：音量DOWN (小さくなる)

- **🔊** を押す※と、音を一時的に消すことができます。もう一度押す※、または **+** を押すと解除されます。

※ 別売のフロントカメラを装着しているときは、**🔊** を“ピッ”と音がするまで押します。

- 音が消えている間は、音量表示が点滅します。



操作音の設定

パネルスイッチを押したときや、タッチスイッチにタッチしたときの操作音を設定することができます。

1 **MENU** を押します。

- 情報メニュー画面が表示されないときは、**INFO** にタッチします。

2 **設定** にタッチします。

- **設定** が表示されていないときは、**ページ切換** にタッチします。



3 操作音設定の **1**、**2**、**3**、**4**、**OFF** のいずれかにタッチします。

- **OFF** にタッチすると、操作音が解除(消音)になります。



4 **設定完了** にタッチします。



ワンポイント

- 安全運転に支障のないように適度な音量でお聞きください。
- ソースを切り替えたとき、音量に違いが生じることがあります。音量は、お使いになるソースに合わせて調整してください。
- ソースを DVD プレーヤー、または AUX に切り替えたときに音量を調整すると、DVD プレーヤー用、または AUX 用の音量レベルとして記憶させることができます。調整した音量レベルは、他のソースでは機能しません。
- 設定できる操作音は、“ピッ”という音のみです。“ピーツ”や“ピッピッ”という音は設定することができません。

音の調整

ナビゲーション音声の出力位置切り替え

ルート案内中の音声案内など、ナビ音声を出力するスピーカの位置を前席左側、または前席右側に切り替えることができます。

1 **MENU** を押します。

- 情報メニュー画面が表示されないときは、**INFO** にタッチします。

2 **設定** にタッチします。

- **設定** が表示されていないときは、**ページ切換** にタッチします。



3 **次ページ** にタッチします。



4 ナビ音声設定の **左側スピーカ**、または **右側スピーカ** にタッチします。



5 **はい** にタッチします。

6 **設定完了** にタッチします。



ルート案内中にナビゲーション音声の出力位置を切り替えると、現在のルート案内が終了するまで音声案内などが聞こえなくなります。(新しく目的地を設定すると、音声案内などを聞くことができます。)

音質の調整

音質調整画面の表示

車室内では再生するメディアやお聞きになる音楽の種類、スピーカーからの距離など、さまざまな要因で音本来の性質を大きく変えられてしまいます。

本機は、それらを調整することで最適な音質を設定することができます。

音質の調整には、SOUND調整画面から行うものと、SETTING画面から行うものがあります。

簡単にできる音場・音質調整

項目・タッチスイッチ	機能	画面	ページ
SFC	お聞きになる音楽のジャンルやソースに合わせて音場を調整することができます。	SOUND調整画面	51
POS	乗車位置や人数に合わせた音像定位の切り替えや、前後左右の音量バランスを調整することができます。	SOUND調整画面	55
LOUDNESS	小音量時の低・高音を強調することができます。	SETTING画面	57
HARMONIZER	圧縮された音楽データをできるだけ原音に戻して再生する音質補正レベルを設定することができます。	SETTING画面	57

手動で行うお好みに合わせた細かい調整

タッチスイッチ	機能	画面	ページ
EQ	お好みに合わせてイコライザを調整して、記憶することができます。	SOUND調整画面	52
SP SETTING	スピーカーサイズの設定やタイムアライメントを設定します。	SETTING画面	62
SP LEVEL	スピーカーの出力レベルを調整します。	SETTING画面	66

サブウーファ接続時の出力・位相調整

項目	機能	画面	ページ
PHASE CONTROL	サブウーファの位相を切り替えることができます。	SOUND調整画面	58
WOOFER LEVEL	サブウーファの出力を調整することができます。	SOUND調整画面	58

音質の調整

■サラウンドシステムの調整

項目	機 能	画 面	ページ
Dolby ProLogic II	Dolby Pro Logic IIの再生モードを切り替えることができます。	SETTING画面	59
COMPRESSION	ダイナミックレンジ（最大音と最小音の音量差）を調整することができます。	SETTING画面	60
CENTER WIDTH	Dolby Pro Logic IIの設定がMUSICおよびセンタースピーカーの設定がLARGE、またはSMALLに設定されている場合、センタースピーカーからの音声を左右のフロントスピーカーに振り分け、センターの音像定位を調整することができます。	SOUND調整画面	60
CENTER LEVEL	センタースピーカーから聞こえてくる会話やセリフなどの出力レベルを調整することができます。	SOUND調整画面	61
REAR LEVEL	リヤスピーカーから聞こえてくる効果音などの出力レベルを調整することができます。	SOUND調整画面	61

■測定用マイクを使った自動調整

項目	機 能
オートタイムアライメント	各スピーカーからリスニングポジションまでのタイムアライメントを自動的に測定/調整することができます。
オートイコライザ	車室内の周波数特性を自動的に測定し、そのデータに基づいて乱れの少ない滑らかな特性に近づくように自動調整を行います。オートイコライザを設定後、7バンドのパラメトリックイコライザの設定を行うことで、より効果的に好みの音響設定を行うことができます。

現在の周波数特性
(イメージ図)

➡

オートイコライザ設定

➡

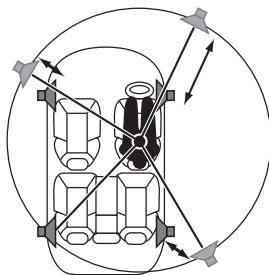
周波数特性をフラット化
(イメージ図)

➡

お好みの
EQ設定を行う

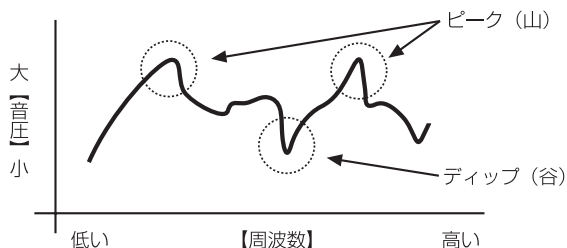
●タイムアライメント

車の場合、スピーカーの取り付け位置と乗車位置の関係は、左右のスピーカーまでの距離が違ことがほとんどです。このスピーカーまでの距離の違いにより音の到着時間にずれが生じます。その結果、音の定位がずれる（片寄り）・サウンドステージが広がらないなど、不自然な音になってしまいます。この音の到達時間を補正し、乗車位置に最適になるよう音を定位させ、サウンドステージの広がり感を実現する機能が『タイムアライメント』です。



●パラメトリックイコライザ

車室内はシートやガラスなど、さまざまな素材が使われており、それらが音を吸収したり反射したりするため、車室内の周波数特性はピーク（山）やディップ（谷）ができていたりします。



これらのピークやディップを補正し、周波数特性をフラットにするための機能が『イコライザ』です。しかし、通常のグラフィック・イコライザでは、中心周波数、Q（鋭度・帯域幅）が固定されているため、隣接する帯域まで変化してしまい、ピークやディップの特性の乱れを補正するには限界があります。そこで、中心周波数、Q（鋭度・帯域幅）、ゲインを任意に調整でき、スポット的に狙った帯域だけを微妙に調整することができる機能が『パラメトリック・イコライザ』です。

以下の手順にしたがって設定を行ってください。

1 設定するための準備を行います。

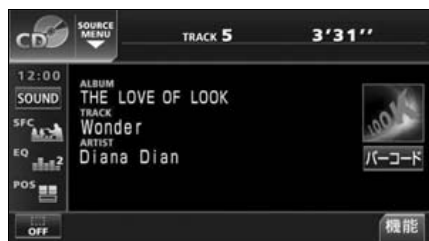
- 静かな場所にお車を停車します。
- ドア、窓、サンルーフなどを閉めます。
- エアコン、ヒーターなどを停止します。
- 車のエンジンを停止し、エンジンスイッチをACCの位置にします。
- 別売の測定用マイクをAUXコード（白色）へ取り付けます。

音質の調整

- 2 スピーカーサイズの設定を行います。(62 ページ参照)
- 3 オートタイムアライメントを測定/調整します。(65 ページ参照)
- 4 オートイコライザを測定/調整します。(54 ページ参照)
- 5 お好みに合わせてイコライザを調整します。(53 ページ参照)

SOUND調整画面を表示する

- 1 各オーディオ操作画面などで、**SOUND** にタッチします。
 - SOUND 調整画面が表示されます。
 - TV・ワンセグ・VTR・DTV 操作画面では **設定**、DVD 操作画面では **NEXT**、**設定** の順にタッチすると、**SOUND** が表示されます。



SETTING画面の表示

- 2 SOUND 調整画面で **SETTING** にタッチします。
 - SETTING 画面が表示されます。



警告

オートタイムアライメントおよびオートイコライザ測定中は、スピーカーから音量の大きい測定音が発生するため、走行中に設定を行わないでください。運転の妨げとなり交通事故の原因となる可能性があります。



注意

車のエンジンが停止した状態で測定するため、バッテリーの残量が少ないとバッテリー上がりを起こす可能性があります。十分にバッテリーが充電されていることを確認してください。



ワンポイント

上記設定手順 **3**、**4** の測定に要する時間は各5分～10分程度です。

SFC（音場）の設定

再生する音楽に残響音を加え、さまざまな環境の臨場感を擬似的に再現できます。

- 1 SOUND 調整画面で **SFC** にタッチします。



- 2 タッチスイッチにタッチすると、表のような音場モードになります。

- 設定完了後、**戻る** にタッチすると、設定は記憶され、直前の画面にもどります。



タッチスイッチ	音場モードの種類	タッチスイッチ	音場モードの種類
CONCERT	コンサートホール	STADIUM	野外スタジアム
LIVE	ライブハウス	CLUB	ディスコ、クラブ
CATHEDRAL	残響音の多い教会	OFF	SFC OFF

SFC（音場）の調整、記憶

あらかじめ設定されている各モードのSFC（音場）をお好みのレベルに調整、記憶することができます。

- 1 お好みの音場モードで、**▲**、**▼** にタッチします。

- 調整レベルは＋側、－側各5段階です。

- 2 調整した音場モードを“ピーツ”と音がするまでタッチします。



SFC（音場）レベルをリセットする

現在、記憶されているSFC（音場）レベルをメーカー調整値（初期値）にもどすことができます。

- 1 **OFF** を“ピーツ”と音がするまでタッチします。

- 音場レベルが初期値にリセットされます。



ワンポイント

- 次のとき、SFCは設定できません。
 ・ 5.1ch 等のマルチチャンネルソースDVD再生時
 ・ アナログで録音しているとき
 ・ Dolby Pro Logic IIが“MOVIE”、または“MUSIC”に設定されているとき（「Dolby Pro Logic II を設定する」59ページ参照）
- SFC（音場）レベルを調整中に、別のSFC（音場）モードに切り替えた場合、設定しても調整レベルは記憶されません。

音質の調整

EQ（イコライザ）の調整

イコライザカーブを選択する

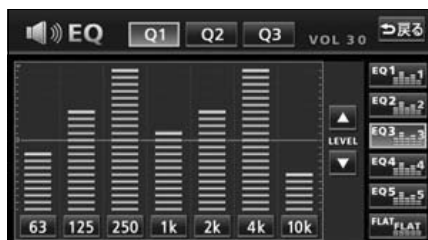
あらかじめ設定されているイコライザカーブを選択し、好みの音質に設定できます。

1 SOUND 調整画面で **EQ** にタッチします。

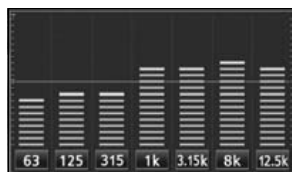


2 タッチスイッチにタッチすると、下記の音質モードになります。

● 設定完了後、**戻る** にタッチすると、設定は記憶され、直前の画面にもどります。

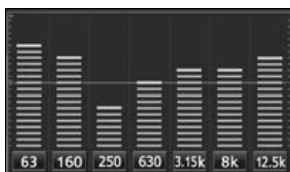


EQ1



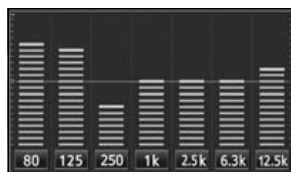
高域を強調したパターン

EQ2



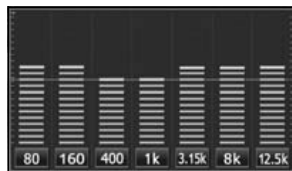
低域高域を強調したパターン

EQ3



低域を強調したパターン

EQ4



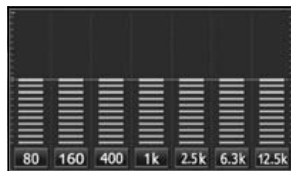
低域高域を少し強調したパターン

EQ5



ボーカル帯域を強調したパターン

FLAT



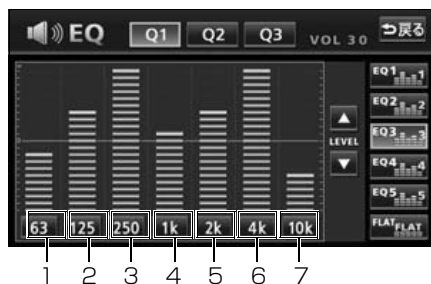
EQ補正なし

イコライザカーブの調整、記憶

あらかじめ設定されているイコライザカーブを調整し、記憶させることができます。本機は、7バンドのパラメトリックイコライザで、中心周波数や周波数レベル、Qカーブ（帯域幅）を調整することができます。

1 各バンドの周波数にタッチして、調整したい周波数（中心周波数）を選択します。

- タッチすることにより中心周波数が切り替わります。
- 各バンドと選択できる中心周波数については下記を参照してください。



バンド	中心周波数 (Hz)
1	63→80→100
2	125→160→200
3	250→315→400→500
4	630→800→1k→1.25k
5	1.6k→2k→2.5k→3.15k
6	4k→5k→6.3k→8k
7	10k→12.5k→16k

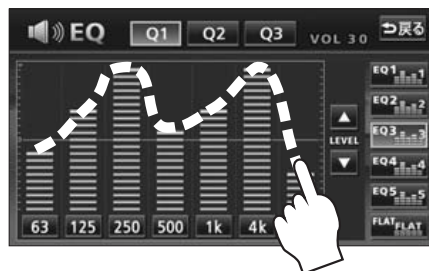
2 指で、調整したい周波数レベルの高さにタッチします。

- ▲、▼ にタッチして、微調整することができます。
- 周波数レベルは-10～+10の21段階です。

3 **Q1**、**Q2**、**Q3** のいずれかにタッチして、Qカーブパターンを選択します。

- 各バンドごとに Q カーブパターンを選択することができます。

スイッチ	Qカーブパターン
Q1	緩い（帯域幅：広い）
Q2	中間（帯域幅：中間）
Q3	鋭い（帯域幅：狭い）



4 各バンドごとに **1** ～ **3** の操作を繰り返します。

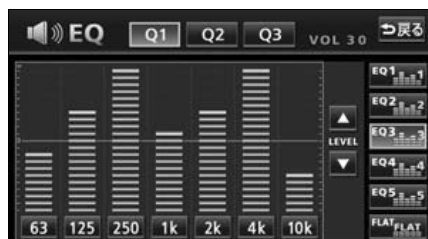


- 微調整時に ▲、▼ にタッチし続けると連続的に変化しますが、センター値で停止するので、再度 ▲、▼ にタッチしてください。
- **FLAT** にタッチすると、センター値にもどります。
- 外部入力機器（iPod、ポータブルオーディオ機器、VTR 機器など）を接続する場合、外部入力機器のEQ設定レベルを高くしていると音が割れることがあります。この場合は、EQ 設定レベルを低くしてください。

音質の調整

5 記憶させたいスイッチ **EQ1** ～ **EQ5** を“ピーツ”と音がするまでタッチします。

- イコライザの調整値が記憶されます。
- 設定完了後、**戻る** にタッチすると、設定は記憶され、直前の画面に戻ります。



イコライザの調整値の呼び出し

記憶したイコライザの調整値を呼び出しします。

1 記憶したスイッチ **EQ1** ～ **EQ5** にタッチします。

- イコライザの調整値が呼び出されます。

EQカーブをリセットする

現在、記憶されているイコライザの調整値を初期値にもどすことができます。

1 **FLAT** を“ピーツ”と音がするまでタッチします。

- 記憶した **EQ1** ～ **EQ5** の調整値が初期値にリセットされます。

イコライザを自動で調整する

本機に別売の測定用マイクを接続すると、車室内の周波数特性を測定し、そのデータに基づいて乱れの少ない滑らかな特性に近づくように自動で調整することができます。

1 別売の測定用マイクをAUX（RCA）端子のLchに接続します。

- マイクの本体は、実際の耳の位置に合わせて、ヘッドレスト等へ取り付けてください。（取り付ける際は、テープ・ひも等で固定してください。）

2 SETTING画面を表示します。

- 「音質調整画面の表示」（47 ページ）を参照してください。

3 AUTO EQの **MEASURE** にタッチします。

- 調整開始まで 10 秒間カウントダウンされます。その間に車外に出てください。
- 10 秒後、測定音をスピーカーから出力し、イコライザの自動調整を開始します。
- **キャンセル** にタッチすると、測定を中止します。
- 設定完了後、**戻る** にタッチすると、調整は記憶され、直前の画面にもどります。



POS（ポジショニングセレクター）の調整

乗車人数や乗車位置に合わせて音像定位を切り替えることができます。また、前後、左右の音量バランスを調整し、屈みにくいスピーカーからの音を強調することができます。

ポジションを設定する

- 1** SOUND調整画面で **POS** にタッチします。



- 2** ポジション（シート）にタッチします。

- 設定されたポジションに黄色の枠が表示されます。再びタッチすると設定は解除されます。表のような4つのポジションに設定できます。
- **OFF** にタッチすると、全ての設定は解除されます。
- 設定完了後、**戻る** にタッチすると、設定は記憶され、直前の画面にもどります。



表示	ポジション（位置）	表示	ポジション（位置）
	運転席を中心にした音場		前席を中心にした音場
	助手席を中心にした音場		後席を中心にした音場



POS（ポジショニングセレクター）は、FADER BALANCE（音量バランス）と同時に設定できません。

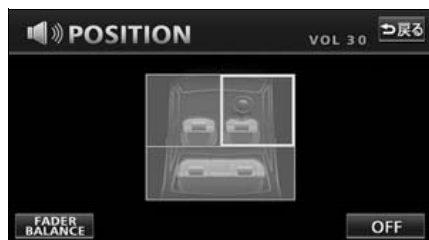
音質の調整

FADER BALANCE (音量バランス) の調整

- 1** SOUND調整画面で **POS** にタッチします。

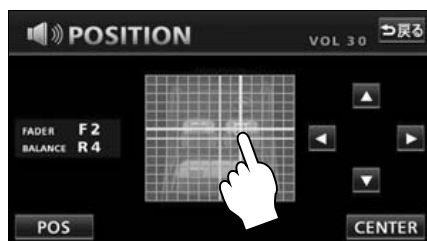


- 2** **FADER BALANCE** にタッチします。



- 3** お好みのバランスポイントにタッチします。

- 微調整するときは、▲、▼、◀、または ▶ にタッチします。
- 調整レベルはF (フロント) 側、R (リヤ) 側、L (左) 側、R (右) 側各 15段階です。
- 調整完了後、**戻る** にタッチすると、調整は記憶され、直前の画面にもどります。
- **CENTER** にタッチすると、音量バランスの設定がリセットされます。(設定値が 0 になります。)



ワンポイント

- FADER BALANCE (音量バランス) は、POS (ポジショニングセクター) と同時に設定できません。
- 微調整時に ▲、▼、◀、または ▶ にタッチし続けると連続的に変化しますが、センター値で停止するので、再度 ▲、▼、◀、または ▶ にタッチしてください。

音質補正の設定（ハーモナイザー）

圧縮時に失われた音の響きや奥行き感、音色などの倍音を自動生成する音質補強レベルが設定できます。クリアなサウンドを楽しむことができます。

1 SETTING画面を表示します。

- 「音質調整画面の表示」（47 ページ）を参照してください。

2 HARMONIZERの **LOW**、**HI**、または **OFF** にタッチします。

- **LOW**：補正効果が小さい
- **HI**：補正効果が大きい
- **OFF**：補正なし
- 設定完了後、**戻る** にタッチすると、設定は記憶され、直前の画面にもどります。



LOUDNESSの設定

オーディオを小音量で聞いているときなどの、低・高音の不足感を補正して、メリハリのある音にすることができます。

1 SETTING画面を表示します。

- 「音質調整画面の表示」（47 ページ）を参照してください。

2 LOUDNESSの **ON**、または **OFF** にタッチします。

- 設定完了後、**戻る** にタッチすると、設定は記憶され、直前の画面にもどります。



ハーモナイザー機能は、MP3/WMA 音楽ディスクを再生しているときおよびソースがiPodのときに効果があります。

音質の調整

サブウーファの設定

サブウーファを接続したときの位相切り替え（出力タイミングの切り替え）や出力調整を設定します。

位相を切り替える（Phase Control）

サブウーファから出力される音の中には、フロント/リヤスピーカーの音と同じ周波数帯域のものが、さまざまな車内条件により、これらの音が互いに打ち消しあってしまうことがあります。この現象を防ぐものがサブウーファの位相切り替えです。車内条件に合わせて位相を設定することができます。

- 1 SOUND 調整画面で、PHASE CONTROLの **NORMAL**、または **REVERSE** にタッチします。

- **NORMAL**：各スピーカーとサブウーファの出力タイミングを同じにする

REVERSE：各スピーカーとサブウーファの出力タイミングをずらす

- 設定完了後、**戻る** にタッチすると、設定は記憶され、直前の画面にもどります。



サブウーファの出力を調整する

サブウーファの出力レベルを調整することができます。

- 1 SOUND 調整画面で、WOOFER LEVELの **▲**・**▼** にタッチします。

- 出力レベルは21段階（-10～+10）の設定ができます。



- 2 **戻る** にタッチします。



スピーカーサイズの設定（62 ページ）で、WOOFERが“NO”に設定されているときは、操作できません。

サラウンドシステムの設定

本機は、Dolby Digital (5.1ch)、DTS (5.1ch)、LPCM、Dolby Pro Logic IIに対応しており、限られた空間でも、臨場感にあふれるサウンドを楽しむことができます。

ch (チャンネル)・・・同時に再生することができる音源の数

Dolby Pro Logic IIを設定する

Dolby Pro Logic IIは、ステレオ (2ch)で録音されている音声を5.1chに拡張して、豊かな臨場感で再生することができます。また、再生するメディアに合わせてモードを選択することができます。

1 SETTING画面を表示します。

- 「音質調整画面の表示」(47 ページ) を参照してください。

2 Dolby ProLogic IIのモードにタッチします。

- 設定完了後、**戻る** にタッチすると、設定は記憶され、直前の画面に戻ります。



タッチスイッチ	効果
MOVIE	ステレオ (2ch) で録音されたDVDやVTRを再生するときに選択すると、効果的です。
MUSIC	音楽CDを再生するときに選択すると、効果的です。
OFF 4ch	Dolby Pro Logic IIの効果をOFFにします。ステレオ (2ch) の音声を4スピーカー (4ch) で再生します。
OFF 2ch	Dolby Pro Logic IIの効果をOFFにします。ステレオ (2ch) で再生します。



ワンポイント

次のとき、Dolby Pro Logic IIの MOVIE / MUSIC を設定できません。MOVIE / MUSICに設定していても自動的に"OFF 4ch"の音声出力になります。

- ・ AM、FM、TVモード時
- ・ DTS CD、DTS DVD再生時
- ・ 5.1ch等のマルチチャンネルソースDVD再生時

音質の調整

CENTER WIDTHを設定する

Dolby Pro Logic IIの設定がMUSICおよびセンタースピーカーの設定がLARGE、またはSMALLに設定されている場合、センタースピーカーからの音声を左右のフロントスピーカーに振り分け、センターの音像定位を調整することができます。

1 SOUND調整画面で、CENTER WIDTHの ▲、▼ にタッチします。

● 調整レベルは0～7の8段階です。

▲: フロントスピーカーに振り分けるレベルを大きくします。(レベルが最大値(7)になると、センターの音声は左右のフロントスピーカーに振り分けられます。)

▼: フロントスピーカーに振り分けるレベルを小さくします。(レベルが最小値(0)になると、センターの音声はセンタースピーカーのみに出力されます。)

● 調整完了後、**戻る** にタッチすると、設定は記憶され、直前の画面に戻ります。



COMPRESSIONを調整する

Dolby Digital(5.1ch)対応のディスクを再生する場合に、音域の幅(最大値と最小値の差)を調整することができます。COMPRESSIONレベルが大きくなると、音域の幅が狭くなり、効果音などが大きい場面でも会話やセリフなどが聞きとりやすくなります。

1 SETTING画面を表示します。

● 「音質調整画面の表示」(47 ページ)を参照してください。

2 COMPRESSIONの ▲・▼ にタッチします。

● ▼ にタッチし続けると“OFF”に、▲ にタッチし続けると“FULL”になります。調整レベルと機能については下記を参照してください。調整レベルの表示が切り替わるのに、約2秒ほどかかります。

● 調整完了後、**戻る** にタッチすると、調整は記憶され、直前の画面にもどります。



調整レベル	機能
OFF	COMPRESSIONの効果をOFFにします。
1～7	COMPRESSIONの効果をお好みに合わせて調整することができます。
FULL	COMPRESSIONの効果を最大にします。

CENTER LEVELを調整する

センタースピーカーから聞こえる音の出力レベルを調整して、会話やセリフなどを聞きとりやすくすることができます。

- 1 SOUND調整画面で、CENTER LEVELの▲、または▼にタッチします。
- 調整レベルは+側、-側各 10 段階です。
+側：出力レベルが強くなる
-側：出力レベルが弱くなる
- 調整完了後、戻る にタッチすると、調整は記憶され、直前の画面にもどります。



REAR LEVELを調整する

リアスピーカーから聞こえる音の出力レベルを調整することができます。

- 1 SOUND調整画面で、REAR LEVELの▲、または▼にタッチします。
- 調整レベルは+側、-側各 10 段階です。
+側：出力レベルが強くなる
-側：出力レベルが弱くなる
- 調整完了後、戻る にタッチすると、調整は記憶され、直前の画面にもどります。



ワンポイント

スピーカーサイズの設定（次ページ）で CENTER (REAR) が “NONE” に設定されているときは、CENTER LEVEL (REAR LEVEL) を調整できません。

音質の調整

スピーカーの調整

各スピーカーからお聞きになる位置までの距離調整（タイムアライメント）や各スピーカーの出力調整により、全体的な音のバランスを調整し、理想的な音像定位を創り出すことができます。

スピーカーサイズを設定する

お車のスピーカーサイズを設定することができます。

1 SETTING画面を表示します。

- 「音質調整画面の表示」（47 ページ）を参照してください。



2 SP SETTING にタッチします。

- スピーカー設定画面が表示されます。



3 スピーカーサイズおよび WOOFER（ウーファ）の有無を選択します。

- 各タッチスイッチはタッチすることにより下記のように切り替わります。
- 各スピーカーの設定と機能については、次ページを参照してください。



●スピーカー設定画面

タッチスイッチ	スピーカーサイズの切り替わり方
FRONT	LARGE ↔ SMALL
CENTER	LARGE → SMALL
REAR	↑ NONE ←
WOOFER	YES ↔ NO

各スピーカーの設定と機能

スピーカーの種類	接続	サイズ	機能
FRONT (フロントスピーカー)	—	SMALL	お車のスピーカーが100Hz以下の低域を出力できない場合は“SMALL”に設定してください。 (100Hz以下の低域は出力されません。)
		LARGE	お車のスピーカーが100Hz以下の低域を出力できる場合は“LARGE”に設定してください。
CENTER (センタースピーカー)	無	NONE	センタースピーカーからの出力は、フロント左右のスピーカーに振り分けられ出力されます。 センタースピーカーから出力されません。
	有	SMALL	お車のスピーカーが100Hz以下の低域を出力できない場合は“SMALL”に設定してください。 (100Hz以下の低域は出力されません。)
		LARGE	お車のスピーカーが100Hz以下の低域を出力できる場合は“LARGE”に設定してください。
REAR (リヤスピーカー)	無	NONE	リヤスピーカーからの出力は、フロント左右のスピーカーに振り分けられ出力されます。 リヤスピーカーから出力されません。
	有	SMALL	お車のスピーカーが100Hz以下の低域を出力できない場合は“SMALL”に設定してください。 (100Hz以下の低域は出力されません。)
		LARGE	お車のスピーカーが100Hz以下の低域を出力できる場合は“LARGE”に設定してください。
WOOFER (ウーファ)	有	YES	ウーファスピーカーから出力されます。
	無	NO	ウーファスピーカーから出力されません。



ワンポイント

- スピーカーサイズおよび WOOFER (ウーファ) の接続は必ず設定してください。お車のスピーカーに合わせて設定していないと、音声出力されない場合があります。
- フロントスピーカーの接続を無しにすることはできません。
- モノラル方式のDVDビデオはセンタースピーカーからのみ音声出力されます。センタースピーカーを接続している場合は、CENTERを“NONE”に設定してください。センタースピーカーからの音声をフロント左右のスピーカーに振り分けて出力します。
- “NONE”、または“NO”に設定したときは、スピーカーのタイムアライメントおよび出力レベルの調整ができません。

音質の調整

タイムアライメントの調整

それぞれのスピーカーごとに遅延時間を調整することで、リスニングポジションによる音の定位のズレを補正することができます。また、別売の測定用マイクを使用して、自動で調整することができます。

手動で調整する

1 SETTING画面を表示します。

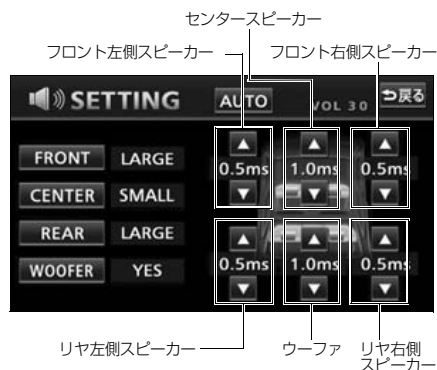
- 「音質調整画面の表示」(47 ページ) を参照してください。

2 **SP SETTING** にタッチします。

- スピーカー設定画面が表示されます。

3 ▲・▼ にタッチして、遅延時間を設定します。

- 設定範囲は0～10.0msです。遅延時間を大きくすると、スピーカーから出る音が遅れて耳に届くようになります。
- 調整完了後、**戻る** にタッチすると、調整は記憶され、直前の画面にもどります。



ワンポイント

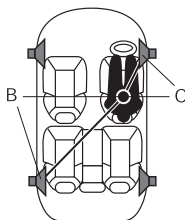
- 遅延時間の算出方法は次のようになります。

$$A = (B - C) / 34$$

A: 遅延時間 (ms)

B: リスニングポジションから一番遠いスピーカーまでの距離 (cm)

C: リスニングポジションから調整する各スピーカーまでの距離 (cm)



(例) リスニングポジション：運転席(右)

B: 200(cm)

C: 50(cm)

$$\text{遅延時間} = 200(\text{cm}) - 50(\text{cm}) \div 34 \div 4.4(\text{ms})$$

- スピーカーが接続されていない場合や、スピーカーサイズの設定で“CENTER”、“REAR”、“WOOFER”を“NONE”または“NO”に設定した場合に、お聞きになる位置までの距離を調整しても機能しません。

自動で調整する

1 別売の測定用マイクをAUX (RCA) 端子のLchに接続します。

- マイクの本体は、実際の耳の位置に合わせて、ヘッドレスト等へ取り付けてください。(取り付ける際は、テープ・ひも等で固定してください。)

2 スピーカー設定画面で **AUTO** にタッチします。

- 調整開始まで 10 秒間カウントダウンされます。その間に車外に出てください。
- 10 秒後、測定音をスピーカーから出力し、タイムアライメントの自動調整を開始します。
- **キャンセル** にタッチすると、測定を中止します。
- 設定完了後、**戻る** にタッチすると、調整は記憶され、直前の画面にもどります。



サブウーファは、タイムアライメントの自動調整をすることができません。

音質の調整

出力レベルの調整

1 SETTING画面を表示します。

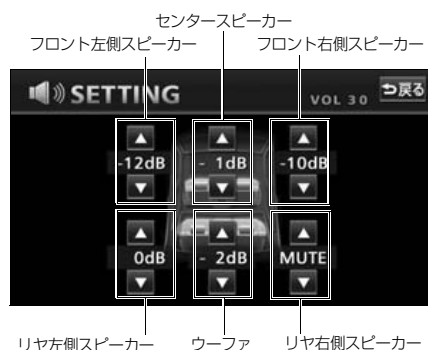
- 「音質調整画面の表示」(47 ページ) を参照してください。

2 **SP LEVEL** にタッチします。

- スピーカーレベル設定画面が表示されます。
- 各スピーカーからレベル調整用のノイズが周期的に出力されます。その音が一定に聞こえることを目安に調整してください。

3 ▲・▼ にタッチして、各スピーカーの出力レベルを設定します。

- 設定範囲は、- 30 ~ 0dB です。レベル数値が小さくなると、スピーカーから出力される音量が小さくなります。
- MUTE に設定すると、スピーカーから出力されません。
- 調整完了後、戻る にタッチすると、調整は記憶され、直前の画面にもどります



- スピーカーが接続されていない場合や、スピーカーサイズの設定で“CENTER”、“REAR”、“WOOFER”を“NONE”または“NO”に設定した場合に、各スピーカーの出力レベルを調整しても機能しません。
- POS（ポジショニングセレクター）の設定で、シートが選択されていると、ウーファ以外の各スピーカー出力レベルは調整できません。POS（ポジショニングセレクター）を“OFF”に切り替えてから設定してください。（「POS（ポジショニングセレクター）の調整」55 ページ参照）

背景画の設定

オーディオ操作画面や情報画面、オープニング画面の背景画をお好みの壁紙に切り替えることができます。

Pic-CLIPの設定

ナビゲーションの情報画面、オーディオの操作画面などの背景をお好みに合わせて切り替え、表示することができます。また、あらかじめHDDに取り込んだ画像データやCD-R/RW、“マジックゲートメモリスティック”、“メモリスティック”、携帯電話に保存した画像データを背景画として表示することができます。

壁紙を切り替える

1 **MENU** を押します。

- 情報メニュー画面が表示されないときは、**INFO** にタッチします。

2 **設定** にタッチします。

- **設定** が表示されていないときは、**ページ切換** にタッチします。



3 Pic-CLIPの **変更する** にタッチします。



4 **1** ～ **5**、**カスタム** のいずれかにタッチします。

- 選択した画像を表示します。
- **カスタム** にタッチすると書き換えた画像が設定されます。(画像データを書き換えていない場合、**カスタム** はタッチできません。)
- 画像の書き換えは次ページを参照してください。



5 **完了** にタッチします。

背景画の設定

お好みの画像データに書き換える

HDDやCD-R/RW、“マジックゲートメモリースティック”、“メモリースティック”に記録した画像データを壁紙として表示することができます。

1 記録したCD-R/RW、または“マジックゲートメモリースティック”、“メモリースティック”を本機に差し込みます。

- 画像データの読み込みは約30秒ほどかかります。画像データの読み込み中は本機およびエンジンスイッチの操作をしないでください。

2 **MENU** を押します。

- 情報メニュー画面が表示されないときは、**INFO** にタッチします。

3 **設定** にタッチします。

- **設定** が表示されていないときは、**ページ切換** にタッチします。

4 Pic-CLIPの **変更する** にタッチします。

5 **カスタムの変更** にタッチします。



6 **MEMORY STICK**、**CD**、または**HDD** にタッチします。



ワンポイント

- 画像データ以外のデータが同じディスクに混在すると、画像データを読み込むことはできません。
- HDD（ハードディスク）から書き換える場合は、あらかじめHDDに画像データを保存してください。（「**画像データを保存する**」75ページ参照）
- MUSIC JUKEに音楽や音声を録音している場合は、録音を止めてから画像データを書き換えてください。（「**MUSIC JUKEへの録音**」（146ページ参照））
- 複数のデータがある場合は、**▲**、**▼** にタッチすると、データを切り替えて表示することができます。

7 壁紙に設定するデータにタッチします。

- **プレビュー** にタッチすると、選択した画像を表示することができます。
- **戻る** にタッチすると 直前の画面にもどります。



- プレビュー画面

8 **決定** にタッチします。

- Pic-CLIP画面を表示します。

9 **カスタム** にタッチします。

- 設定した壁紙が表示されます。



10 **完了** にタッチします。

背景画の設定

携帯電話に保存した画像データを壁紙に設定する

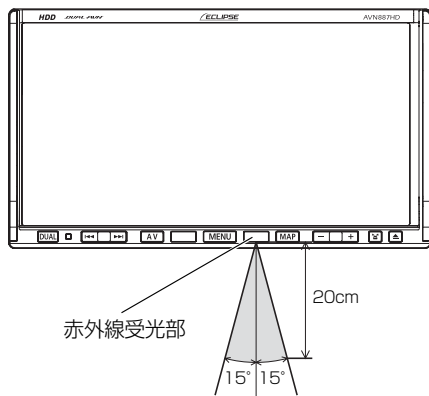
携帯電話に保存されている画像データを赤外線通信機能を使って送信し、壁紙として表示することができます。

- 赤外線通信を行うには、携帯電話と本機をそれぞれ操作する必要があります。また、携帯電話から画像データを送信するには、専用のアプリケーションソフトが必要です。詳しくは40ページを参照してください。

■携帯電話の操作

1 専用のアプリケーションソフトから画像データを送信します。

- 携帯電話と本機の間に遮断物があるとデータ受信ができません。通信距離は20cm以内、30°以内でご利用ください。また、データの受信が完了するまでは赤外線受光部に携帯電話を向けたままにして動かさないでください。
- 携帯電話の操作については携帯電話の取扱説明書をご覧ください。



■本機の操作

1 **MENU** を押します。

- 情報メニュー画面が表示されないときは、**INFO** にタッチします。

2 **設定** にタッチします。

- **設定** が表示されていないときは、**ページ切換** にタッチします。



3 Pic-CLIPの **変更する** にタッチします。



4 カスタムの変更 にタッチします。



5 赤外線通信（ケータイリンク）にタッチします。

- データを受信し、壁紙に登録されます。



警告

走行中に携帯電話を使用することは法律で禁止されています。安全のため、走行中の操作は絶対に行わないでください。



ワンポイント

- IrDAバージョン1.2に対応しています。
- 直射日光が当たる場所や蛍光灯の真下、他の赤外線装置の近くでは正常に受信できない場合があります。
- 赤外線受光部が汚れていると通信しにくくなります。汚れている時は傷つかないように柔らかい布でふき取って下さい。
- データ受信中は電源を切らないでください。

背景画の設定

使用できる画像データについて

壁紙に使用できるデータは、下記の条件で書き込まれたものになります。

■パソコンなどからCD-R/RWに書き込む場合

	CD-R/RW
ディスクフォーマット	ISO9660規格 (MODE1)
画像容量	1.5MB以下 (1 ファイル当たり)
推奨画像サイズ	約401万画素以下
ファイル拡張子	.jpg (JPEG2000は非対応)
書き込み方式	シングルセッションのみ
表示ファイル数 (枚数)	100まで
ファイル名文字数	半角28文字・全角14文字まで (+.jpg) ※1
表示文字数	半角28文字・全角14文字まで (+.jpg) ※1/※2
取り込み対象となる画像ファイル	ルートディレクトリのみ (最上階層のみ)

※1 半角数字、半角英字、(大文字)、記号“_” (アンダースコア)、記号、漢字 (表示できない文字有り) のみです。

※2 拡張子.jpgは表示されません。

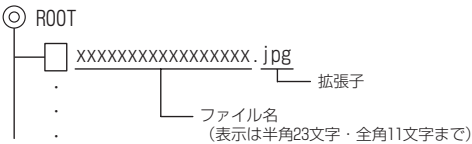
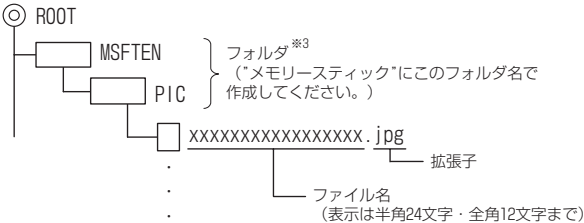
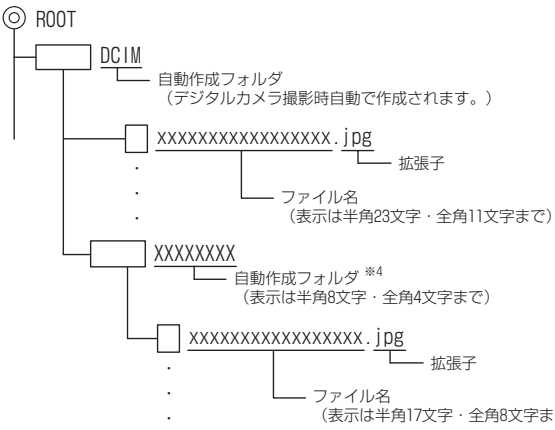
■パソコンやデジタルカメラから“メモリースティック”に書き込む場合

パソコンやデジタルカメラから“メモリースティック”に書き込む際、あらかじめ、専用機器、または本機でお使いになる“メモリースティック”をフォーマットすることをお勧めします。本機での“メモリースティック”については「“メモリースティック”をフォーマットする」(111 ページ)を参照してください。

	“メモリースティック”
ディスクフォーマット	—
画像容量	2MB以下 (1 ファイル当たり)
推奨画像サイズ	約401万画素以下
ファイル拡張子	.jpg (JPEG2000は非対応)
書き込み方式	—
表示ファイル数 (枚数)	100まで※1
表示文字数	半角28文字・全角14文字まで※2

※1 “メモリースティック”にデジタルカメラの画像データとパソコンから書き込まれた画像データが存在する場合、あわせて100になります。

※2 半角数字、半角英字、(大文字)、記号“_” (アンダースコア)、記号、漢字 (表示できない文字有り) のみです。

	“メモリースティック”
取り込み可能なファイル構成 および文字数	<パソコンで画像ファイルを書き込む場合> ●Rootに直接ファイルを保存する  ●フォルダを作成しファイルを保存する 
	<デジタルカメラで画像ファイルを書き込む場合> 

※3 フォルダを作成してその中にファイルを保存する際は、「MSFTEN」、「PIC」フォルダを作成し、PICフォルダの中にデータを保存してください。

※4 撮影するデジタルカメラによりフォルダ名は異なります。

背景画の設定

	“メモリースティック”
画面表示順位および表示内容	ファイル構成例
	◎ ROOT AAA.jpg・・・⑥ DCIM 111.jpg・・・⑤ zzzzzzzz 222.jpg・・・③ 333.jpg・・・④ MSFTEN PIC BBB.jpg・・・① CCC.jpg・・・② デジタルカメラ撮影時、自動で作成されるフォルダおよびファイル 上記ファイル構成例の場合、表示順位および表示内容は次のようになります ① BBB.jpg 表示内容: PIC/BBB ② CCC.jpg 表示内容: PIC/CCC ③ 222.jpg 表示内容: D/zzzzzzzz/222 ④ 333.jpg 表示内容: D/zzzzzzzz/333 ⑤ 111.jpg 表示内容: DCIM/111 ⑥ AAA.jpg 表示内容: ROOT/AAA ※：拡張子.jpgは表示されません。

■携帯電話から送信する場合

	携 帯 電 話
画像容量	100KB以下（1 ファイル当たり）
ファイル拡張子	.jpg（JPEG2000は非対応）
表示文字数	送信日時により自動付与



ワンポイント

- 画像サイズが横800×縦480dotより大きい場合、元の画像を規定サイズに縮小し、表示します。画像のない部分は黒帯になります。
- 画像サイズが横800×縦480dotより小さい場合、元の画像を規定サイズに拡大し、表示します。画像のない部分は黒帯を表示します。

画像データを保存する

CD-R/RWや“マジックゲートメモリースティック”、“メモリースティック”に記録した画像データを本機のHDDに最大100ファイル（100枚）まで保存することができます。

1 **MENU** を押します。

- 情報メニュー画面が表示されないときは、**INFO** にタッチします。

2 **データ管理** にタッチします。

- **データ管理** が表示されていないときは、**ページ切換** にタッチします。



3 画像データの **HDDへ保存** にタッチします。

- データ保存画面が表示されます。



4 **MEMORY STICK**、または **CD** にタッチします。

- タッチしたメディアに保存されている画像データを表示します。



ワンポイント

- CD-R/RWからHDDに保存する場合は、記録したCD-R/RWをディスク差し込み口に差し込んでください。画像データ以外のデータが同じディスクに混在すると、画像データを読み込むことはできません。
- “メモリースティック”からHDDに保存する場合は、記録した“メモリースティック”を“メモリースティック”差し込み口に差し込んでください。音楽と画像データが混在する“メモリースティック”で、“メモリースティック”の音楽を再生中に画像データを保存する場合、音楽の再生が一時停止します。保存が完了してから音楽を再生してください。
- MUSIC JUKEに音楽や音声を録音している場合は、録音を止めてから画像データを保存してください。【MUSIC JUKEへの録音】（146 ページ参照）

背景画の設定

- 5** 保存したい画像データにタッチします。



- 6** **保存** にタッチします。

- **全保存** にタッチすると“マジックゲートメモリースティック”、または“メモリースティック”、CD-R/RWに記録されている全ての画像データを保存します。
- 保存後、**戻る** にタッチすると、直前の画面にもどります。



- すでに同じ名称のデータが存在すると、次の画面が表示されます。



- **上書き** にタッチすると、新しいデータに書き換えます。
- **自動付与** にタッチすると、データ名の前に番号を付けて保存します。
(例) “AA1.jpg” がすでに存在する場合、新しく保存する同じ名称の “AA1.jpg” には “01_AA1.jpg” と番号が自動で付けられ、保存されます。
- **キャンセル** にタッチすると、保存を中止します。
- **全保存** タッチ後に **キャンセル** にタッチすると、保存中の画像データ保存を中止し、次の画像データの保存を開始します。
- HDDの容量が足りない場合、次の画面が表示されます。



- **空きを作る** にタッチすると、すでに保存されているデータを一部消去します。
(「画像データを消去する」次ページ参照)
- **キャンセル** にタッチすると、保存を中止します。

画像データを消去する

画像データを本機のHDDから消去します。

1 **MENU** を押します。

- 情報メニュー画面が表示されないときは、**INFO** にタッチします。

2 **データ管理** にタッチします。

- **データ管理** が表示されていないときは、**ページ切換** にタッチします。



3 画像データの **HDDから消去** にタッチします。

- データ消去画面が表示されます。



4 消去したい画像データにタッチします。



5 **消去** にタッチします。

- **全消去** にタッチするとHDDに保存されている全ての画像データを消去します。

6 **YES** にタッチします。

背景画の設定

オープニング画面の設定

本機のオープニング画面（電源を入れたときに表示される画面）をお気に入りの画像に切り替えることができます。また、あらかじめHDDに取り込んだ画像データやCD-R/RW、“マジックゲートメモリースティック”、“メモリースティック”、携帯電話に保存した画像データをオープニング画面として表示することができます。

オープニング画面を切り替える

1 **MENU** を押します。

- 情報メニュー画面が表示されないときは、**INFO** にタッチします。

2 **設定** にタッチします。

- **設定** が表示されていないときは、**ページ切換** にタッチします。



3 オープニング画像の **変更する** にタッチします。



4 **1**、**2**、**3**、**カスタム** のいずれかにタッチします。

- 選択した画像を表示します。
- **カスタム** にタッチすると書き換えた画像が設定されます。（画像データを書き換えていない場合、**カスタム** はタッチできません。
- 画像の書き換えは次ページを参照してください。



5 **完了** にタッチします。

お好みの画像データに書き換える

HDDやCD-R/RW、“マジックゲートメモリースティック”、“メモリースティック”に記録した画像データをオープニング画面として表示することができます。

1 記録したCD-R/RW、または“マジックゲートメモリースティック”、“メモリースティック”を本機に差し込みます。

- 画像データの読み込みは約30秒ほどかかります。画像データの読み込み中は本機およびエンジンスイッチの操作をしないでください。

2 **MENU** を押します。

- 情報メニュー画面が表示されないときは、**INFO** にタッチします。

3 **設定** にタッチします。

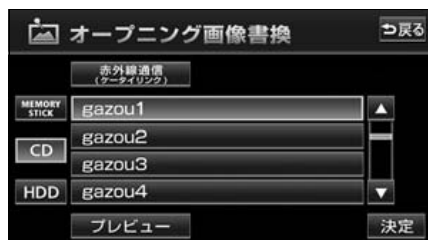
- **設定** が表示されていないときは、**ページ切換** にタッチします。

4 オープニング画像の **変更する** にタッチします。

5 **カスタムの変更** にタッチします。

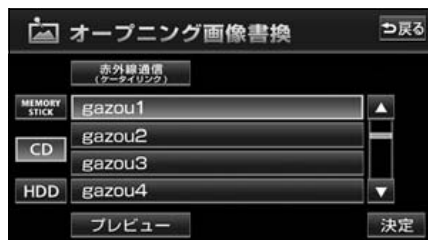


6 **MEMORY STICK**、**CD**、または**HDD** にタッチします。



7 オープニング画面に設定するデータにタッチします。

- **プレビュー** にタッチすると、選択した画像を表示することができます。
- **戻る** にタッチすると直前の画面にもどります。



●プレビュー画面

背景画の設定

8 **決定** にタッチします。

- オープニング画像選択画面を表示します。

9 **カスタム** にタッチします。

- 設定したオープニング画面が表示されます。



10 **完了** にタッチします。



- 画像データ以外のデータが同じディスクに混在すると、画像データを読み込むことはできません。
- HDD（ハードディスク）から書き換える場合は、あらかじめ HDD に画像データを保存してください。（「**画像データを保存する**」75 ページ参照）
- MUSIC JUKE に音楽や音声を録音している場合は、録音を止めてから画像データを書き換えてください。（「**MUSIC JUKE への録音**」146 ページ参照）
- 複数のデータがある場合は、▲、▼ にタッチすると、データを切り替えて表示することができます。

携帯電話に保存した画像データをオープニング画面に設定する

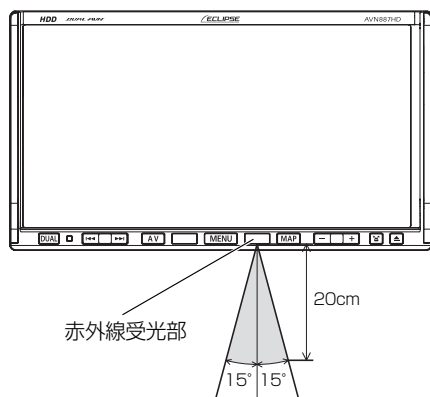
携帯電話に保存されている画像データを赤外線通信機能を使って送信し、オープニング画面として表示することができます。

- 赤外線通信を行うには、携帯電話と本機をそれぞれ操作する必要があります。また、携帯電話から画像データを送信するには、専用のアプリケーションソフトが必要です。詳しくは40ページを参照してください。

■携帯電話の操作

1 専用のアプリケーションソフトから画像データを送信します。

- 携帯電話と本機の間に遮断物があるとデータ受信ができません。通信距離は20cm以内、30°以内でご利用ください。また、データの受信が完了するまでは赤外線受光部に携帯電話を向けたままにして動かさないでください。
- 携帯電話の操作については携帯電話の取扱説明書をご覧ください。



■本機の操作

1 **MENU** を押します。

- 情報メニュー画面が表示されないときは、**INFO** にタッチします。

2 **設定** にタッチします。

- **設定** が表示されていないときは、**ページ切換** にタッチします。



3 オープニング画像の **変更する** にタッチします。



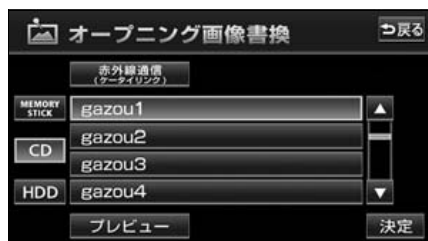
背景画の設定

4 カスタムの変更 にタッチします。



5 赤外線通信（ケータイリンク）にタッチします。

- データを受信し、オープニング画面に登録されます。



警告

走行中に携帯電話を使用することは法律で禁止されています。安全のため、走行中の操作は絶対に行わないでください。



ワンポイント

- IrDAバージョン1.2に対応しています。
- 直射日光が当たる場所や蛍光灯の真下、他の赤外線装置の近くでは正常に受信できない場合があります。
- 赤外線受光部が汚れていると通信しにくくなります。汚れている時は傷つかないように柔らかい布でふき取って下さい。
- データ受信中は電源を切らないでください。

使用できる画像データについて

オープニング画面に使用できるデータは、下記の条件で書き込まれたものになります。

■パソコンなどからCD-R/RWに書き込む場合

	CD-R/RW
ディスクフォーマット	ISO9660規格 (MODE1)
画像容量	1.5MB以下 (1 ファイル当たり)
ファイル拡張子	.jpg (JPEG2000は非対応)
書き込み方式	シングルセッションのみ
表示ファイル数 (枚数)	100まで
ファイル名文字数	半角28文字・全角14文字まで (+.jpg) ※1
表示文字数	半角28文字・全角14文字まで (+.jpg) ※1/※2
取り込み対象となる画像ファイル	ルートディレクトリのみ (最上階層のみ)

※1 半角数字、半角英字、(大文字)、記号“_” (アンダースコア)、記号、漢字 (表示できない文字有り) のみです。

※2 拡張子.jpgは表示されません。

■パソコンやデジタルカメラから“メモリースティック”に書き込む場合

パソコンやデジタルカメラから“メモリースティック”に書き込む際、あらかじめ、専用機器、または本機でお使いになる“メモリースティック”をフォーマットすることをお勧めします。本機での“メモリースティック”については「“メモリースティック”をフォーマットする」(111 ページ)を参照してください。

	“メモリースティック”
ディスクフォーマット	—
画像容量	2MB以下 (1 ファイル当たり)
ファイル拡張子	.jpg (JPEG2000は非対応)
書き込み方式	—
表示ファイル数 (枚数)	100まで※1
表示文字数	半角28文字・全角14文字まで※2

※1 “メモリースティック”にデジタルカメラの画像データとパソコンから書き込まれた画像データが存在する場合、あわせて100になります。

※2 半角数字、半角英字、(大文字)、記号“_” (アンダースコア)、記号、漢字 (表示できない文字有り) のみです。

背景画の設定

	“メモリースティック”
取り込み可能なファイル構成 および文字数	<パソコンで画像ファイルを書き込む場合> ●Rootに直接ファイルを保存する ◎ ROOT XXXXXXXXXXXXXXXXX.jpg 拡張子 ファイル名 (表示は半角23文字・全角11文字まで) ●フォルダを作成しファイルを保存する ◎ ROOT MSFTEN PIC フォルダ ※3 ("メモリースティック"にこのフォルダ名で作成してください。) XXXXXXXXXXXXXXXXX.jpg 拡張子 ファイル名 (表示は半角24文字・全角12文字まで) <デジタルカメラで画像ファイルを書き込む場合> ◎ ROOT DCIM XXXXXXXX 自動作成フォルダ (デジタルカメラ撮影時自動で作成されます。) 自動作成フォルダ ※4 (表示は半角8文字・全角4文字まで) XXXXXXXXXXXXXXXXX.jpg 拡張子 ファイル名 (表示は半角17文字・全角8文字まで)

※ 3 フォルダを作成してその中にファイルを保存する際は、「MSFTEN」、「PIC」フォルダを作成し、PICフォルダの中にデータを保存してください。

※ 4 撮影するデジタルカメラによりフォルダ名は異なります。

	“メモリースティック”
画面表示順位および表示内容	ファイル構成例 <pre> graph TD ROOT((ROOT)) --- AAA[AAA.jpg...⑥] ROOT --- DCIM[DCIM] ROOT --- MSFTEN[MSFTEN] ROOT --- PIC[PIC] DCIM --- 111[111.jpg...⑤] DCIM --- ZZZZZZZ[ZZZZZZZ] ZZZZZZZ --- 222[222.jpg...③] ZZZZZZZ --- 333[333.jpg...④] PIC --- BBB[BBB.jpg...①] PIC --- CCC[CCC.jpg...②] </pre> デジタルカメラ撮影時、自動で作成されるフォルダおよびファイル
	上記ファイル構成例の場合、表示順位および表示内容は次のようになります ① BBB.jpg 表示内容: PIC/BBB ② CCC.jpg 表示内容: PIC/CCC ③ 222.jpg 表示内容: D/zzzzzzzz/222 ④ 333.jpg 表示内容: D/zzzzzzzz/333 ⑤ 111.jpg 表示内容: DCIM/111 ⑥ AAA.jpg 表示内容: ROOT/AAA ※: 拡張子 .jpg は表示されません。

■携帯電話から送信する場合

	携 帯 電 話
画像容量	100KB以下（1 ファイル当たり）
ファイル拡張子	.jpg（JPEG2000は非対応）
表示文字数	送信日時により自動付与



- 画像サイズが横800×縦480dotより大きい場合、元の画像を規定サイズに縮小し、表示します。画像のない部分は黒帯になります。
- 画像サイズが横800×縦480dotより小さい場合、元の画像を規定サイズに拡大し、表示します。画像のない部分は黒帯を表示します。
- 画像データの取り込みは1画面のみになります。

画面の調整・設定

オーディオ操作画面や、映像画面の画質を調整したり、操作スイッチ（タッチスイッチ）を表示させなくすることができます。

画質調整画面の表示

オーディオ操作画面や映像画面のコントラストや明るさ、色などを調整することができます。画面を見やすくするため、ライト（車幅灯、尾灯、番号灯）の消灯・点灯により昼画／夜画に表示が切り替わります。

また、一部の輸入車では、ライトの点灯、消灯を本機が検知できません。この場合は、昼画表示・夜画表示を手動で切り替えることができます。

（初期状態）●ライト消灯時・・・＜昼画表示＞

●ライト点灯時・・・＜夜画表示＞

＜オーディオ操作画面＞



●昼画表示＜ライト消灯時＞



●夜画表示＜ライト点灯時＞

＜映像画面＞



●昼画表示＜ライト消灯時＞



●夜画表示＜ライト点灯時＞



本機の電源を入れると、パネルスイッチは常時点灯します。

- 1** オーディオ操作画面、または映像画面で **MENU** を“ピッ”と音がするまで押します。＊
 ＊ AVN777HDおよびAVN757HDTVは、**画質** を押します。

- 2** 調整が完了したら、**調整完了** にタッチします。

- 約20秒以上操作しなかったときも自動で完了し、表示していた画面にもどります。



●オーディオ操作画面時



●映像画面時

昼画表示と夜画表示を手動で切り替えるには

- 1** 昼画表示のときは **夜画面** に、夜画表示のときは **昼画面** にタッチします。

- タッチすることにより昼画表示と夜画表示が切り替わります。



●オーディオ操作画面時



●映像画面時

画面を消すときは

- 1** **画面消** にタッチします。

- 再度、画面を表示させるには、**MAP** を押します。

画面の調整・設定

画質の調整

昼画・夜画それぞれ独立して調整することができます。



●オーディオ操作画面時



●映像画面時

■ 色合い（映像画面時のみ）

- 1 緑色を強くするときは **緑**、赤色を強くするときは **赤** にタッチします。

● 操作画面、設定画面を表示している間は調整することができません。

■ コントラスト

- 1 強くするときは **強**、弱くするときは **弱** にタッチします。

■ 色の濃さ（映像画面時のみ）

- 1 濃くするときは **濃**、淡くするときは **淡** にタッチします。

● 操作画面、設定画面を表示している間は調整することができません。

■ 明るさ

- 1 明るくするときは **明**、暗くするときは **暗** にタッチします。

● 初期設定は最大値（一番明るい状態）になっています。



オーディオソースがDTVの時は「色合い」、「色の濃さ」を調整することができません。

画質の補正

画質全体を同時に補正することができます。

※ AVN777HD・AVN757HDTVのみご使用になれます。



●オーディオ操作画面時



●映像画面時

1 画質補正 にタッチします。

- タッチスイッチにタッチするごとに、下図の順に補正レベルを切り替えることができます。

off → Low → Mid → Hi

↑

画面の調整・設定

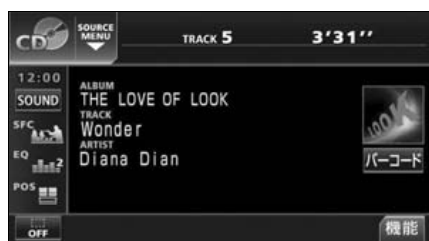
タッチスイッチの設定

画面スイッチの表示切り替えについて

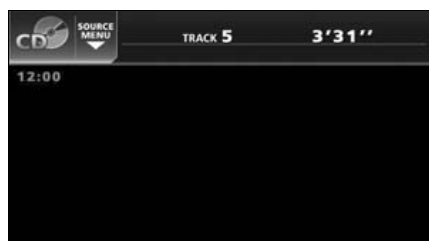
オーディオ操作画面や、設定画面でタッチスイッチを表示させないようにすることができます。

- 1 オーディオ操作画面や、設定画面で、 にタッチします。

- タッチスイッチが表示されていないときは、タッチスイッチによる操作をすることができません。操作をするときは、タッチスイッチを表示させてください。



- タッチスイッチを表示させるときは、画面にタッチします。

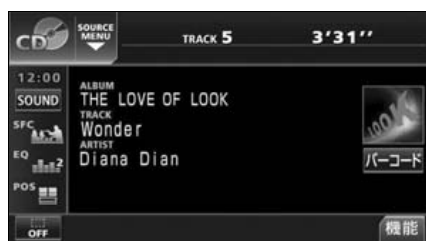


機能スイッチの表示について

オーディオ操作画面やTV・DTV・ワンセグ設定画面では、普段あまり使用されないタッチスイッチは画面に表示されません。下記の操作で表示させます。

- 1 **機能** にタッチします。

- 機能スイッチが表示されます。
- 機能スイッチは、各オーディオによって違います。



-  にタッチする、または機能スイッチの枠以外の画面にタッチすると機能スイッチが消えます。
- 機能スイッチを表示させているときは、機能スイッチ以外のタッチスイッチによる操作をすることができません。機能スイッチを消してから操作してください。



パネルスイッチ照明の設定

パネルスイッチ照明の色（青、または赤）を切り替えることができます。

1 **MENU** を押します。

- 情報メニュー画面が表示されないときは、**INFO** にタッチします。

2 **設定** にタッチします。

- **設定** が表示されていないときは、**ページ切換** にタッチします。



3 **次ページ** にタッチします。



4 イルミネーション切換の **BLUE**、または **RED** にタッチします。



5 **設定完了** にタッチします。

画面の調整・設定

画面モード切り替え

1 DVD・TV・VTR設定画面で、**ワイドモード** にタッチします。

- ワイドモード切り替え画面になります。
- **ワイドモード** は、下記の操作で表示させることができます。

DVD：操作画面で、**NEXT** → **設定** の順にタッチ

TV：操作画面で、**設定**、**機能** の順にタッチ

VTR：操作画面で、**設定** にタッチ

2 **標準**、**ワイド1**、**ワイド2**、または **ワイド3** にタッチします。

- ワイドモードを選択します。



●ワイドモード切り替え画面



■標準画モード

たて3：よこ4の割合の画面（普通のTV画面の大きさ）で両端が黒く表示されます。



■ワイド1画モード

たて3：よこ4の割合の画面（普通のTV画面の大きさ）を左右方向に均等に拡大して表示します。



■ワイド2画モード

たて3：よこ4の割合の画面（普通のTV画面の大きさ）を左右方向に非均等に拡大して表示します。



■ワイド3画モード

たて3：よこ4の割合の画面（普通のTV画面の大きさ）を上下左右方向に均等に拡大して表示されます。

- ワイド画面放送を受信するときは、このモードに切り替えてください。



注意

お客様が個人的にワイド画面で視聴する限りにおいては問題ありませんが、営利目的、または公衆に視聴させることを目的として画面の圧縮・引き伸ばしなどを行うと、著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害する恐れがありますので、ご注意ください。

ラジオアンテナの設定

お車のラジオアンテナがパワーアンテナの場合、ラジオ受信時以外にもラジオアンテナが上がったままになります。このときは、本機から強制的にラジオアンテナを下げるができます。

1 **MENU** を押します。

- 情報メニュー画面が表示されないときは、**INFO** にタッチします。

2 **設定** にタッチします。

- **設定** が表示されていないときは、**ページ切換** にタッチします。



3 **次ページ** にタッチします。



4 ラジオアンテナの **下げる** にタッチします。



5 **表示消去** にタッチします。

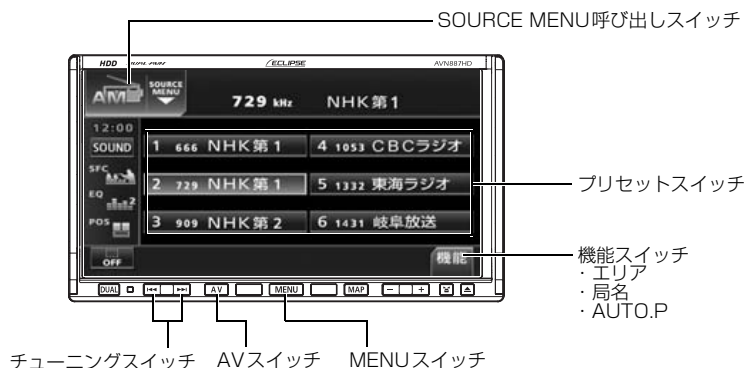
6 **設定完了** にタッチします。



注意

ラジオアンテナを下げたまま、エンジンスイッチをOFF (LOCK) にした場合、次にエンジンスイッチをACC、またはONにしてもラジオアンテナは、下がったままになります。ラジオアンテナを上げるときは、設定画面で、**上げる** にタッチしてください。

ラジオの使い方



ラジオを聞く

1 オーディオのソースを切り替えます。

- 「ソースの切り替え方」(41 ページ) を参照してください。

2 AMラジオを受信するときは **AM** に、FMラジオを受信するときは **FM** にタッチします。

聞きたい放送局を選ぶ

手動で選ぶ

1 、または を押します。

- (右側): 1 ステップずつ上がる
 (左側): 1 ステップずつ下がる
 (1 ステップ: AM 9kHz、FM 0.1MHz)

自動で選ぶ

1 、または を“ピツ”と音がするまで押します。

- 現在、画面に表示されている周波数に一番近い放送局を、自動的に選局して受信したところで止まります。途中で解除したいときは、もう一度押すと解除します。

プリセットスイッチから選ぶ

1 記憶されているプリセットスイッチにタッチします。

- 放送局の記憶は「**放送局を記憶する**」(次ページ)を参照してください。



- 受信電波の弱い地域では、自動選局ができないことがあります。
- ラジオアンテナがパワーアンテナの場合、強制的にアンテナを下げる事ができます。詳しくは「**ラジオアンテナの設定**」(前ページ)を参照してください。

放送局を記憶する

プリセットスイッチに放送局を記憶させるにはマニュアル（手動）とAUTO.P.（自動）の2つのモードがあり、別々に記憶させることができます。

マニュアル（手動）で記憶する

“AUTO.P.”または“AREA.P.”が画面表示されていないことを確認します。

- 表示されているときは **AUTO.P.**、または **エリア**（次ページ参照）にタッチすると、表示が消えてマニュアルに切り替わります。

1 手動選局、または自動選局で記憶させた放送局を選びます。

2 記憶させたいプリセットスイッチを“ピーツ”と音がするまでタッチします。

- 放送局（周波数）が記憶されます。プリセットスイッチにタッチして選局できるようになります。

AUTO.P.（自動）で記憶する

1 **機能** にタッチします。

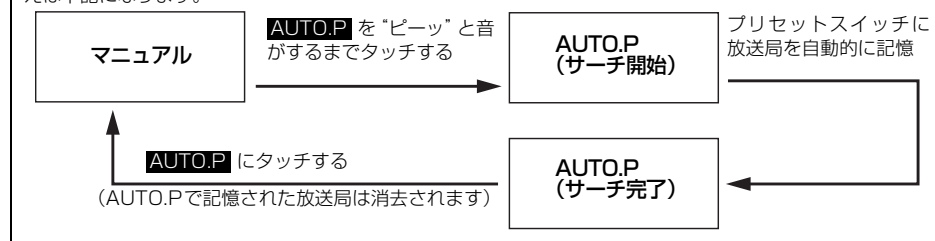
2 **AUTO.P.** を“ピーツ”と音がするまでタッチします。

- AUTO.P. が点滅し、自動的に選局を始めます。“ピッピッ”と音がすると自動選局が終了し一時的に記憶されます。
- もう一度 **AUTO.P.** にタッチすると、マニュアルで記憶した放送局に表示が切り替わります。

AUTO.P. について

AUTO.P.は一時的にプリセットスイッチに記憶させる機能のため、AUTO.P.を使用してもマニュアルで記憶させた放送局は記憶されています。ふだんお聞きになる放送局をマニュアルで記憶しておけば、旅先などでAUTO.P.を使用してもマニュアルで記憶した放送局は呼び出すことができます。

AUTO.P.動作中または動作後に **AUTO.P.** にタッチすると、プリセットメモリーはAUTO.P.動作前の状態にもどります。（このときAUTO.P.で記憶した放送局は消去されます。）AUTO.P.からマニュアルへの切り替えは下記になります。



- 受信電波の弱い地域ではAUTO.P.での自動受信ができないことがあります。
- 同じ放送局からの受信でも、チューニングスイッチで記憶した放送局と AUTO.P. スイッチで記憶した放送局は一致しないことがあります。
- AUTO.P. スイッチを同じ場所で繰り返し操作しても、受信電波の状態により、記憶される放送局が異なることがあります。
- 受信感度の良い放送局を周波数の低い順に6局まで自動的に記憶します。
- 受信できた放送局が6局未満のとき、残りのプリセットスイッチには何も記憶されません。

ラジオの使い方

AUTO.Pで記憶した放送局を変更する

- 1 手動選局、または自動選局で記憶させた放送局を選びます。
- 2 記憶させたいプリセットスイッチを“ピーッ”と音がするまでタッチします。

エリアスイッチについて

自分のいる地域の放送局名の受信周波数がわからないときに、その地域の放送局の表示・選局ができます。

- 1 **機能** にタッチします。
 - 2 **エリア** にタッチします。
- “AREA.P” の表示と、その地域で放送されている放送局名と周波数が表示されます。
 - 表示されている放送局を選ぶときは、周波数の表示されているプリセットスイッチにタッチします。
 - もう一度 **エリア** にタッチすると、もとの記憶されていた放送局に表示が切り替わります。



局名スイッチについて

複数の放送局が同じ周波数を使って放送している地域では、重複している放送局を切り替えることができます。

- 重複している放送局がある場合、局名重複インジケータが表示されます。

- 1 **機能** にタッチします。
- 2 **局名** にタッチします。

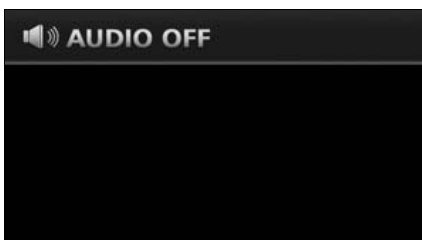
- 重複した放送局名が切り替わります。
- 放送が受信できても、放送局名を表示できない地域があります。

局名重複インジケータ

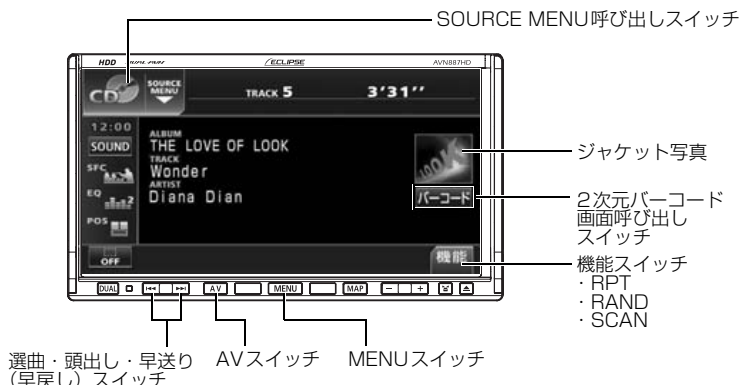


ラジオを止める

- 1 オーディオのソースを切り替えます。
- 「ソースの切り替え方」(41 ページ) を参照してください。
- 2 **OFF** にタッチします。



CD プレーヤーの使い方



CDを聞く

ディスク差し込み口にCDを差し込むと、再生を始めます。

- MUSIC JUKEは、デジタル録音モードの初期設定がAUTOに設定されているので、再生が始まると同時に自動で録音を開始します。**AV** を1秒以上押すと録音を停止します。
- 録音中は、録音マーク、録音トラック数確認マークおよび録音進捗バーを表示します。**「MUSIC JUKEへの録音」** (142 ページ参照)

1 CDが差し込まれているときに、オーディオのソースを切り替えます。

2 **DISC** にタッチします。

- **「ソースの切り替え方」** (41 ページ) を参照してください。
- 再生を始めます。



- CD-TEXT や Gracenote 音楽認識サービスなど、タイトルや曲名などが記録されているときは表示することができます。
ジャケット写真を表示している場合の表示文字数は半角 28 文字、全角 14 文字、ジャケット写真を表示していない場合の表示文字数は半角 32 文字、全角 16 文字です。
- CD-R/RW の CD-TEXT は表示できない場合があります。
- 再生している音楽 CD にタイトルや曲名などが収録されていなくても、本機のハードディスクにある Gracenote メディアデータベースに該当する情報がある場合、タイトルを表示します。
- 録音中は、本機の Gracenote メディアデータベースに収録されている情報のみ表示することができます。(CD-TEXT は表示できません)
- 再生している音楽 CD に該当するジャケット写真データが、本機のハードディスクにある場合、ジャケット写真を表示します。(但し表示が可能な期限内)

CD プレーヤーの使い方

聞きたい曲を選ぶ

聞きたい曲の頭出しができます。

1 、または  を押します。

-  (右側) : 次曲を選ぶとき
-  (左側) : 頭出し・前曲を選ぶとき

早送り・早戻しする

いま聞いている曲を早送り・早戻しすることができます。

1 、 を“ピッ”と音がするまで押します。

-  (右側) : 曲を進めるとき
 -  (左側) : 曲を戻すとき
- “ピッ”と音がすると早送り(早戻し)モードに切り替わり、スイッチから手を離すまで早送り(早戻し)します。

聞きたい曲を探す

1 **機能** にタッチします。

2 **SCAN** にタッチします。

- 全曲の始めの10秒間だけ順に再生します。希望曲になったら、もう一度 **SCAN** にタッチするとその曲で再生を続けます。

同じ曲を繰り返し聞く

1 **機能** にタッチします。

2 **RPT** にタッチします。

- 再生中の曲を繰り返し再生します。
- 一度 **RPT** にタッチすると、解除するまで繰り返しします。もう一度 **RPT** にタッチすると解除されます。

曲の順番をランダムに聞く

1 **機能** にタッチします。

2 **RAND** にタッチします。

- いま聞いている CD の全曲でランダム再生します。
- 一度 **RAND** にタッチすると、解除するまでランダム再生します。もう一度 **RAND** にタッチすると解除されます。
- 曲が終わるごとに次に再生する曲を任意に決めているので、同じ曲が数回連続で再生されることがあります。

携帯電話でアルバム情報を見る

2次元バーコード（QRコード）を携帯電話で読み取ると、再生中のアルバムに関連する携帯サイトへ接続することができます。

- 1 ジャケット写真が表示されているときに、**バーコード** にタッチします。



- 2 携帯電話で2次元バーコードを読み取ります。

- 2次元バーコードの読み取り操作は、携帯電話の取扱説明書を参照してください。
- **サイズ変更** にタッチすると、バーコードの大きさを変更することができます。



CDを止める

- 1 オーディオのソースを切り替えます。

- 「ソースの切り替え方」（41 ページ）を参照してください。

- 2 **OFF** にタッチします。

- MUSIC JUKEへ録音中に、CDを止めても録音は継続されます。
録音を停止する場合は、**AV** を1秒以上押しします。

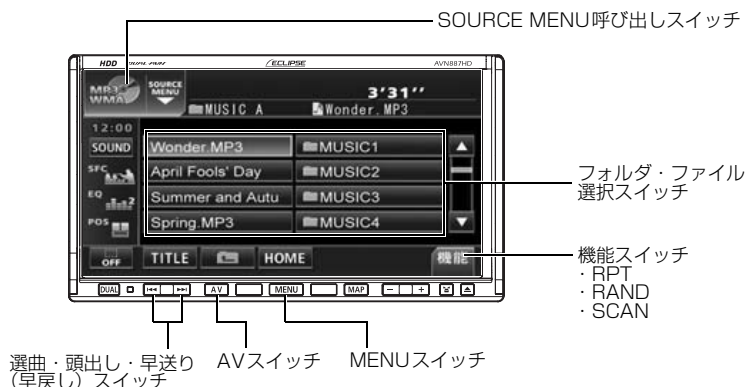


ワンポイント

- 2次元バーコードの読み取りに対応している携帯電話でご利用いただけます。
- 2次元バーコードの読み取りは携帯電話各社で完全に保証されておりません。また、読み取り環境や条件によって読み取りが困難になることがあります。
- 2次元バーコードが読み取れないときは、2次元バーコードのサイズを変更する、または携帯電話および本機の画面の明るさを変えることで読み取ることができる場合があります。
- 携帯サイトは株式会社メディアクリックのサービスです。
- 携帯電話の通信料金はおお客様のご負担になります。
- QRコードは（株）デンソーウェーブの登録商標です。

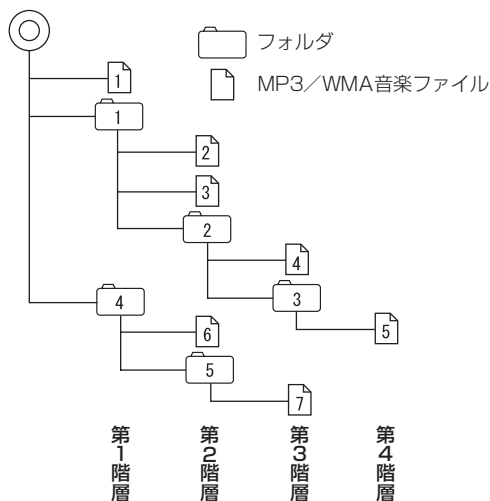
MP3/WMA プレーヤーの使い方

走行中は安全上の配慮などから、操作できなくなる機能があります。



〈MP3/WMA ファイル作成例〉

ここでの操作説明は、MP3/WMA ファイル作成例をもとに説明しています。



ワンポイント

- 音楽ディスクにフォルダ名や音楽ファイル名などが記録されているときは、フォルダ名は半角 12 文字まで、ファイル名は半角 14 文字まで表示できます。 **TITLE** にタッチすると、MP3は半角文字では最大 30 文字、全角文字では最大 15 文字まで表示できます。WMAは半角、全角とも最大 15 文字まで表示できます。(「音楽ファイル情報などを表示する」103 ページ参照)
- DRM (著作権管理 Digital Rights Management) システムの WMA ファイルやプロテクト録音 (ライセンス管理) された WMA ファイルは再生できません。

MP3/WMA を聞く

ディスク差し込み口にMP3/WMAファイルが記録されたCD-R/RWを差し込むと、再生を始めます。

- 1 CD-R/RW が差し込まれているときに、オーディオのソースを切り替えます。

●「ソースの切り替え方」(41 ページ) を参照してください。

- 2 **DISC** にタッチします。

- 再生を始めます。
- 通常は、→→→→→→ の順に再生します。(前ページ参照)
- 同じ階層に複数の MP3/WMA 音楽ファイルやフォルダが存在する場合、数字、アルファベット、日本語(SJISコード)の昇順に再生します。

聞きたいフォルダを選ぶ

ディスクの中から聞きたいフォルダを選ぶことができます。

- 1 フォルダ・ファイル選択スイッチのフォルダ名にタッチします。

- 選択されたフォルダ内の音楽ファイルが表示されます。

聞きたい音楽ファイルを選ぶ

フォルダの中から聞きたい音楽ファイルを選ぶことができます。

フォルダ・ファイル選択スイッチから選ぶ

- 1 音楽ファイル名にタッチします。

- 表示部にいま選ばれているファイル名、フォルダ名が表示されます。
- 同じフォルダ内に音楽ファイルが 9 個以上ある場合は、、 にタッチするとデータを切り替えて表示することができます。(走行中は操作できません。)

選曲・頭出しスイッチから選ぶ

同じフォルダに複数の音楽ファイルを記録している場合は、選曲・頭出しスイッチから次の音楽ファイル、前の音楽ファイルを選ぶことができます。

- 1 、または  を押します。

-  (右側) : 次の音楽ファイルを選ぶとき
 (左側) : 頭出し・前の音楽ファイルを選ぶとき



ワンポイント

MP3/WMAファイル作成例については前ページを参照してください。

画面に「2」、「3」、「2」の第2階層のフォルダ、ファイルが表示されている時ににタッチすると、「1」、「1」、「4」の第1階層のフォルダ、ファイルが表示されます。

MP3/WMA プレーヤーの使い方

早送り・早戻しする

いま聞いている曲を早送り・早戻しすることができます。

1 、または  を“ピッ”と音がするまで長く押します。

-  (右側)：曲を進めるとき
 -  (左側)：曲を戻すとき
- “ピッ”と音がすると早送り(早戻し)モードに切り替わり、スイッチから手を離すまで早送り(早戻し)します。

1つ上の階層を表示する

再生している階層よりも1つ上の階層のフォルダ、ファイルを表示します。

1  にタッチします。

- 表示している階層の1つ上のフォルダ、ファイルを画面に表示します。

現在の階層を表示する

再生しているファイルを表示します。

1 **HOME** にタッチします。

聞きたい音楽ファイルを探す

1 **機能** にタッチします。

2 **SCAN** にタッチします。

- 再生中のフォルダと同じ階層内の全ファイルを曲の始めの10秒間だけ順に再生します。もう一度 **SCAN** にタッチするとその曲で再生を続けます。

同じ音楽ファイルを繰り返し再生する

1 **機能** にタッチします。

2 **RPT** にタッチします。

- 再生中のファイルを繰り返し再生します。
- 一度 **RPT** にタッチすると、解除するまで繰り返し再生します。もう一度 **RPT** にタッチすると解除されます。



ワンポイント

MP3/WMAファイル作成例については100ページを参照してください。

第3階層の  を再生中、画面に 、、 の第2階層のフォルダ、ファイルが表示されているときに **HOME** にタッチすると、、 の第3階層のフォルダ、ファイルが表示されます。

順番をランダムに聞く

1 **機能** にタッチします。

2 **RAND** にタッチします。

- 現在再生中のフォルダを含め、その階層以下の全ファイルで、ランダム再生します。
- 一度 **RAND** にタッチすると、解除するまでランダム再生します。もう一度 **RAND** にタッチすると解除されます。
- 曲が終わるごとに次に再生する曲を任意に決めているので、同じ曲が数回連続で再生されることがあります。

音楽ファイル情報などを表示する

1 **TITLE** にタッチします。

- ファイルの情報を表示中は、**TITLE** が **TITLE OFF** に切り替わり、**TITLE OFF** にタッチするとフォルダ・ファイル選択スイッチに表示が切り替わります。

MP3/WMA を止める

1 オーディオのソースを切り替えます。

- 「ソースの切り替え方」(41 ページ) を参照してください。

2 **OFF** にタッチします。



再生している音楽ファイル情報の表示文字数は、MP3は半角文字では最大30文字、全角文字では最大15文字です。WMAは半角、全角とも最大15文字です。

MP3/WMA プレーヤーの使い方

MP3/WMAについて

MP3（MPEG Audio レイヤ3）は音声圧縮技術に関する標準フォーマットです。MP3 を使用すれば、元のファイルを約 1 / 10 のサイズに圧縮することができます。
WMA (Windows Media™ Audio) はマイクロソフト社の音声圧縮フォーマットです。MP3 よりも小さいサイズに圧縮することができます。
本機で使用する MP3/WMA ファイルの規格やそれを記録したメディア、フォーマットには制限があります。MP3/WMA ファイルを書き込むときには以下のことに注意してください。

再生可能なMP3ファイルの規格について

- 対応規格 : MPEG Audio レイヤ3（＝MPEG1 Audio Layer Ⅲ、MPEG2 Audio Layer Ⅲ、MPEG2.5 Audio Layer Ⅲ）
- 対応サンプリング周波数 : 8、11.025、12、16、22.06、24、32、44.1、48（kHz）
- 対応ビットレート : 8、16、24、32、40、48、56、64、80、96、112、128、160、192、224、256、320（kbps）
※ VBRに対応しています。
※ フリーフォーマットには対応していません。
- 対応チャンネルモード : モノラル、ステレオ、ジョイント、デュアル

再生可能なWMAファイルの規格について

- 対応規格 : WMA Ver.9 Standard decoder Class 3に準拠
- 対応サンプリング周波数 : 22.05、32、44.1、48（kHz）
- 対応ビットレート : 20、22、32、36、40、44、48、64、80、96、128、160、192、256、320（kbps）
※ VBRに対応しています。
※ 可逆圧縮（ロスレス圧縮）には対応していません。

ID3タグ/WMAタグについて

MP3やWMA ファイルには、ID3 タグ/WMAタグと呼ばれる付属文字情報を入力ことができ、曲のタイトル、アーティスト名などを保存することができます。

■ ID3 タグ/WMA タグ

		MP3		WMA
		Ver1.0	Ver1.1	Ver9
入力できる項目	TITLE	全角 15 文字 半角 30 文字		全角 15 文字 半角 15 文字
	ARTIST			
	ALBUM			
表示できる文字		英数字（ASCIIコード） 日本語（S-JISコード）		英数字（ASCIIコード） 日本語（Unicode （UTF-16 BE BOMなし））

使用できるメディアについて

MP3/WMAの再生に使用できるメディアはCD-R およびCD-RW です。DVD±RおよびDVD±RWに記録されたMP3/WMAは再生できません。

なお、CD-R、CD-RW は通常の音楽CDに使用されているディスクに比べ高温多湿環境に弱く、一部のCD-R、CD-RW は再生できない場合があります。また、ディスクに指紋やキズを付けた場合再生できない場合や音飛びする場合があります。

一部のCD-R、CD-RW は長時間の車内環境において劣化するものがあります。

なお、CD-R、CD-RW は紫外線に弱いため、光を通さないケースに保管することをおすすめします。

使用できるディスクのフォーマットについて

使用できるメディアのフォーマットは下記になります。

- ディスクフォーマット：CD-ROM MODE1、CD-ROM XA MODE2 (Form1)
- ファイルフォーマット

■ ISO9660

	LEVEL 1	LEVEL 2
フォルダ名 (最大文字数)	半角8文字	半角31文字
ファイル名 (最大文字数)	8.3形式	半角31文字
表示できる文字	英数字 (ASCIIコード)	

■ 拡張フォーマット

	ROMEO形式	JOLIET形式
フォルダ名 (最大文字数)	半角128文字	半角64文字※ ¹
ファイル名 (最大文字数)	半角128文字※ ²	半角64文字
表示できる文字	英数字 (ASCIIコード) 日本語 (S-JISコード)	英数字 (ASCIIコード) 日本語 (unicode)

※1 区切り文字 "." 含む

※2 区切り文字 "." + 拡張子含む

- 最大ディレクトリ階層：8階層
- 1枚のディスクに書き込み可能なファイルとフォルダの総数：767個
- 1枚のディスクに書き込み可能なフォルダ数：255個

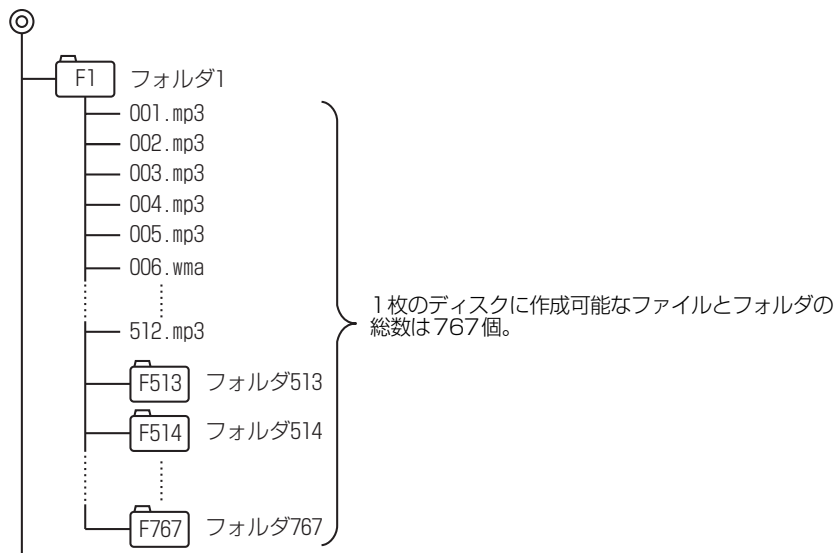


ワンポイント

音楽ディスクにフォルダ名や音楽ファイル名などが記録されているときは、フォルダ名は半角12文字まで、ファイル名は半角14文字まで表示できます。**TITLE** にタッチすると、MP3は半角文字では最大30文字、全角文字では最大15文字まで表示できます。WMAは半角、全角とも最大15文字まで表示できます。〔音楽ファイル情報などを表示する〕103ページ参照

MP3/WMA プレーヤーの使い方

< MP3/WMA対応CDの構造例 >



ファイル名について

MP3/WMAと認識し再生するファイルはMP3/WMAの拡張子“mp3” / “wma” が付いたものだけです。MP3/WMA ファイルには、“mp3” / “wma” の拡張子を付けて保存してください。

拡張子名“mp3” / “wma” は大文字でも小文字でもかまいません。

CD-R、CD-RWについて

- マルチセッションに対応しており、MP3/WMAを追記したCD-Rや、CD-RWの再生が可能です。
- CD-RW を消去して使用する場合には、完全に消去したことを確認してからご使用ください。
(消去方法はライティングソフトで異なりますので確認してください。また、クイックおよび高速消去は使用しないでください。)
- CD-R、CD-RWはディスクアットワンス、セッションアットワンス、トラックアットワンス記録ディスクのみ読み取り対応です。
- パケットライト記録ディスクには対応しておりません。(例えば、DirectCD等で作成したディスクには対応していません)。
- CD-R、CD-RW は、セッションクローズしている場合のみ再生可能です。ただし、CD-RWは書き込みの設定で、“CDを閉じる”や“CDの終了処理をする”ようにしてください。(設定の方法はライティングソフトで異なりますので確認してください)

MP3/WMAの再生について

MP3/WMA ファイルが収録されているディスクを差し込むと、最初にディスク内のすべてのファイルをチェックします。ファイルのチェックが終わると最初のMP3/WMA ファイルを再生します。

チェックが終わるまで“MP3/WMA データを読み込み中です”が表示されます。(最大10分程度) なお、ディスク内のファイルをチェックしている間、音はできません。

ファイルのチェックを早く終わらせるためにMP3/WMA ファイル以外のファイルや必要のないフォルダなどを書き込まないことをおすすめします。

MP3/WMAの演奏時間表示について

MP3/WMA ファイルの書き込み状況により、演奏時間が一致しないことがあります。

※ VBRのFAST UP/DOWN動作をすると演奏時間が一致しないことがあります。

MP3/WMAファイル、フォルダのリスト表示順番

MP3/WMA ファイルおよびフォルダのリストは、同一階層内にあるMP3/WMA ファイル、フォルダを次のように表示します。

1. MP3/WMA ファイルを数字、アルファベット、日本語 (SJISコード) の昇順に表示
2. 次にフォルダを数字、アルファベット、日本語 (SJISコード) の昇順に表示
3. 同一階層内に、同じファイル名でMP3とWMAが存在する場合はMP3を優先して表示



MP3/WMA以外のファイルに“mp3” / “wma” の拡張子を付けると、MP3/WMA ファイルと誤認識して再生してしまい、大きな雑音が出てスピーカを破損する場合があります。MP3/WMA 以外のファイルに、“mp3” / “wma” の拡張子を付けしないでください。

MP3/WMA プレーヤーの使い方

MP3/WMA ファイルの作り方、楽しみ方

MP3/WMA ファイルを作成する場合、放送やレコード、録音物、録画物、実演などを録音したものは、個人として楽しむほかは、著作権法上、権利者に無断では使用できません。

インターネット上のMP3/WMA 音楽配信サイトから入手する場合

インターネット上には有料でダウンロードするオンラインショップのサイト、試聴専門のサイトや無料ダウンロードサイトなど、様々なMP3/WMA 音楽配信サイトがあります。そのサイトごとのルールを守り（料金支払いなど）、そこから指示通りにダウンロードを行います。

音楽CDからMP3/WMA ファイルに変換する場合

パソコンと市販のMP3/WMA エンコーダ（変換）ソフトを用意します（インターネット上で無料配布されているエンコーダソフトもあります）。パソコンのCD-ROM ドライブに音楽CD を入れ、MP3/WMA エンコーダソフトの手順に従って音楽CDの曲を圧縮変換すると、MP3/WMA形式の音楽データファイルができます。

CD-R/RW に書き込む場合

MP3/WMA ファイルをパソコンに接続されているCD- R/RW ドライブを介してCD-R/RW に書き込みます。この時、ライティングソフトでISO9660 レベル1 またはレベル2、ROMEO、JOLIET という記録フォーマットに設定して書き込みます。

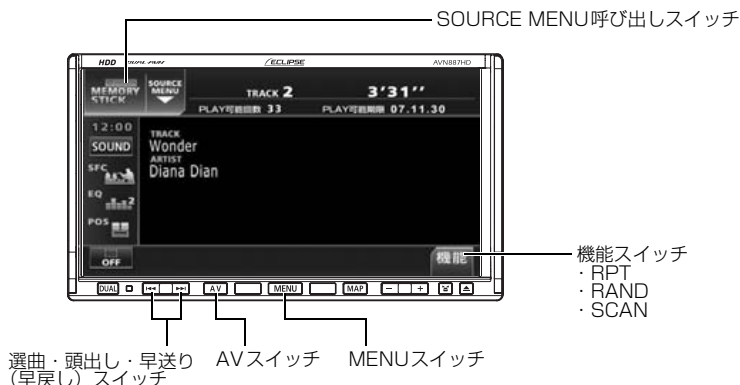


ワンポイント

- 安定した音質で再生するために、MP3 の場合、128kbps の固定ビットレート、44.1kHzのサンプリング周波数、ステレオのチャンネルモードを推奨します。
- CD-R、CD-RWはディスクの特性により読み取れない場合があります。
- MP3/WMA は市場にフリーウェア等、多くのエンコーダソフトが存在し、エンコーダの状態やファイルフォーマットによって、音質の劣化や再生開始時のノイズ発生、また再生できない場合もあります。
- ディスクに MP3/WMA 以外のファイルを記録すると、ディスクの認識に時間がかかったり、再生できない場合があります。
- 走行中はファイル、フォルダ表示のページ切り替え操作ができません。
- Microsoft、Windows、Windows Mediaは、米国マイクロソフトコーポレーションの米国、およびその他の国における登録商標および商標です。

“メモリスティック” プレーヤーの使い方

本機は、ATRAC3（オーディオ圧縮技術）で“マジックゲートメモリスティック”に記録された音楽ファイルを再生することができます。



“メモリスティック” を聞く

“メモリスティック” 差し込み口に“マジックゲートメモリスティック”を差し込み、**CLOSE**にタッチします。

1 “マジックゲートメモリスティック”が差し込まれているときに、オーディオのソースを切り替えます。

● 「ソースの切り替え方」(41 ページ) を参照してください。

2 **MEMORY STICK** にタッチします。

● 再生を始めます。

聞きたい曲を選ぶ

聞きたい曲の頭出しができます。

1 **▶▶**、または **◀◀** を押します。

● **▶▶** (右側)：次曲を選ぶとき

◀◀ (左側)：頭出し・前曲を選ぶとき



ワンポイント

- 本機は、“マジックゲートメモリスティック” (白色および紺色) に記録されている音楽ファイルのみ再生することができます。
- パソコン等を使って“マジックゲートメモリスティック”に音楽ファイルを保存するには、専用のソフトウェアおよび著作権保護機能に対応したハードウェア環境が必要です。
- ATRAC3 Plusで記録された音楽ファイルは再生することができません。
- “マジックゲートメモリスティック”を差し込むと、約4秒間、ファイルデータ確認のため操作できなくなります。
- “マジックゲートメモリスティック”にアーティスト名や曲名(トラック名称)などが記録されているときは表示することができます。また、表示文字数は半角文字では最大32文字、全角文字では最大16文字まで表示できます。
- 再生可能回数、または期限が制限されている場合は、画面に回数および期限を表示します。
- 再生可能回数、または期限が切れた場合は、メッセージを表示します。(243 ページ参照)

“メモリースティック” プレーヤーの使い方

早送り・早戻しする

いま聞いている曲を早送り・早戻しすることができます。

1 、 を“ピッ”と音がするまで押します。

-  (右側) : 曲を進めるとき
 -  (左側) : 曲を戻すとき
- “ピッ”と音がすると早送り(早戻し)モードに切り替わり、スイッチから手を離すまで早送り(早戻し)します。

聞きたい曲を探す

1 **機能** にタッチします。

2 **SCAN** にタッチします。

- 全曲の始めの 10 秒間だけ順に再生します。希望曲になったら、もう一度 **SCAN** にタッチするとその曲で再生を続けます。

同じ曲を繰り返し聞いて聞く

1 **機能** にタッチします。

2 **RPT** にタッチします。

- 再生中の曲を繰り返し再生します。
- 一度 **RPT** にタッチすると、解除するまで繰り返します。もう一度 **RPT** にタッチすると解除されます。

曲の順番をランダムに聞く

1 **機能** にタッチします。

2 **RAND** にタッチします。

- 全曲でランダム再生します。
- 一度 **RAND** にタッチすると、解除するまでランダム再生します。もう一度 **RAND** にタッチすると解除されます。
- 曲が終わるごとに次に再生する曲を任意に決めているので、同じ曲が数回連続で再生されることがあります。

“メモリースティック” をフォーマットする

本機で、“マジックゲートメモリースティック”、“メモリースティック” をフォーマット（初期化）することができます。

1 AUDIOがOFFになっていることを確認します。

2 フォーマットする“メモリースティック”を差し込みます。

3 **MENU** を押します。

- 情報メニュー画面が表示されないときは、**INFO** にタッチします。

4 **データ管理** にタッチします。

- **データ管理** が表示されていないときは、**ページ切換** にタッチします。



5 **MEMORY STICK フォーマット** にタッチします。

- フォーマット確認画面が表示されます。



6 **YES** にタッチします。

- フォーマット画面が表示されます。
- **キャンセル** にタッチするとフォーマットを中止します。
- フォーマット完了後、もとの画面にもどります。



ワンポイント

- “メモリースティック” をフォーマットするときは、必ずAUDIO をOFF にしてください。
- “メモリースティック” プレーヤー再生中にフォーマットすると、音楽ファイルは消去されます。また、フォーマット中にキャンセルしても“メモリースティック”内のファイルは壊れている可能性があります。
- “メモリースティック” フォーマット中は、他の操作はできません。
- “メモリースティック” フォーマット中は、オートマチックチェンジレバー（シフトレバー）をRレンジ(R位置)に操作してもバックカメラ映像に切り替わりません。
- MUSIC JUKEに録音中の場合は、フォーマットをすることができません。録音を中止するか、録音が完了してからフォーマットをしてください。

“メモリースティック” プレーヤーの使い方

“メモリースティック” を止める

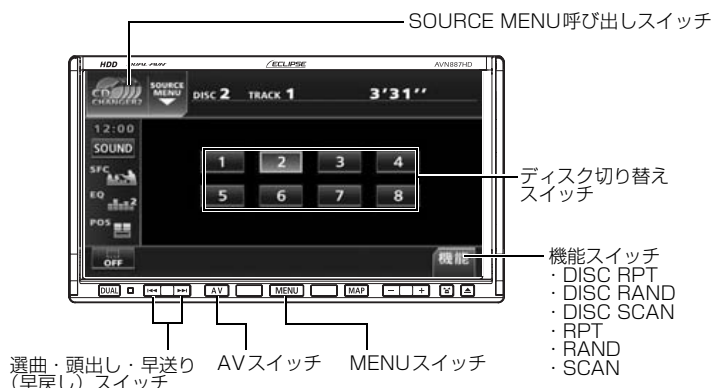
1 オーディオのソースを切り替えます。

●「ソースの切り替え方」(41 ページ) を参照してください。

2 **OFF** にタッチします。

CDチェンジャーの使い方

別売のCDチェンジャーを接続すると操作できます。



CDを聞く

1 オーディオのソースを切り替えます。

- 「ソースの切り替え方」(41 ページ) を参照してください。

2 CDチェンジャー 1 台を接続している場合は **CD CHANGER** に、CDチェンジャー 2 台を接続している場合は **CD CHANGER**、または **CD CHANGER2** にタッチします。

聞きたい曲を選ぶ

「CD プレーヤーの使い方」(98 ページ) を参照してください。

早送り・早戻しする

「CD プレーヤーの使い方」(98 ページ) を参照してください。

聞きたいCDを選ぶ

チェンジャーの中から聞きたいCDを選ぶことができます。

1 ディスク切り替えスイッチにタッチします。

- 選択されたCDの番号が反転します。



ワンポイント

- ディスク切り替えスイッチは、CDチェンジャーに挿入できるCDの枚数分を表示し、挿入したディスク番号のみ選択することができます。
- CDチェンジャーにCDが挿入されていない場合には、CDチェンジャーモードに切り替えることができません。
- CDチェンジャーおよびCDチェンジャーデッキが接続されている場合は、**CD CHANGER**、または **CD CHANGER2** にタッチすると切り替えることができます。

CD チェンジャーの使い方

チェンジャー内の全CD から聞きたい曲やCD を探す

聞きたい曲を探す

「CD プレーヤーの使い方」(98 ページ) を参照してください。

聞きたいCD を探す

1

機能 にタッチします。

2

DISC SCAN にタッチします。

- CDチェンジャー内、全CDの1曲目に録音されている曲を、始めの10秒間だけ順に再生します。もう一度 **DISC SCAN** にタッチすると、そのまま再生を続けます。

聞きたい曲や同じCD を繰り返し聞く

いま聞いている曲を繰り返し再生する

「CD プレーヤーの使い方」(98 ページ) を参照してください。

いま聞いているCDを繰り返し再生する

1

機能 にタッチします。

2

DISC RPT にタッチします。

- 再生中のCDを繰り返し再生します。
- 一度設定すると解除するまで繰り返しします。もう一度 **DISC RPT** にタッチすると解除されます。

曲の順番をランダムに聞く

いま聞いているCDの中からランダムに聞く

「CD プレーヤーの使い方」(98 ページ) を参照してください。

チェンジャー内全CDの中からランダムに聞く

1

機能 にタッチします。

2

DISC RAND にタッチします。

- 全曲でランダム再生します。
- 一度設定すると解除するまで繰り返します。もう一度 **DISC RAND** にタッチすると解除されます。
- 曲が終わるごとに次に再生する曲を任意に決めているので、同じ曲が数回連続で再生されることがあります。

CDを止める

1

オーディオのソースを切り替えます。

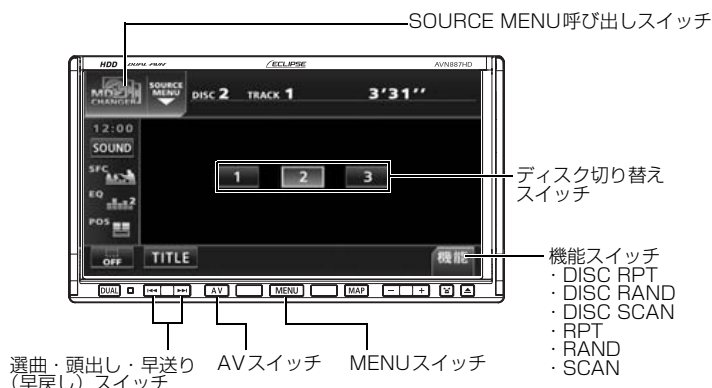
- 「ソースの切り替え方」(41 ページ) を参照してください。

2

OFF にタッチします。

MDチェンジャーの使い方

別売のMDチェンジャーを接続すると操作できます。



MDを聞く

1 オーディオのソースを切り替えます。

- 「ソースの切り替え方」(41 ページ) を参照してください。

2 **MD CHANGER** にタッチします。

聞きたい曲を選ぶ

聞きたい曲の頭出しができます。

1 、または を押します。

- (右側) : 次曲を選ぶとき
- (左側) : 頭出し・前曲を選ぶとき

早送り・早戻しする

いま聞いている曲を早送り・早戻しすることができます。

1 、 を“ピッ”と音がするまで押します。

- (右側) : 曲を進めるとき
 - (左側) : 曲を戻すとき
- “ピッ”と音がすると早送り(早戻し)モードに切り替わり、スイッチから手を離すまで早送り(早戻し)します。

聞きたいMDを選ぶ

チェンジャーの中から聞きたいMDを選ぶことができます。

1 ディスク切り替えスイッチにタッチします。

- 選択されたMDの番号が反転します。



ワンポイント

- MDにタイトルや曲名などが記録されているときは表示することができます。
TITLE にタッチすると、半角文字では最大32文字まで表示できます。
- ディスク切り替えスイッチは、MDチェンジャーに挿入できるMDの枚数分を表示し、挿入したディスク番号のみ選択することができます。

MD チェンジャーの使い方

チェンジャー内の全MDから聞きたい曲やMDを探す

聞きたい曲を探す

1 **機能** にタッチします。

2 **SCAN** にタッチします。

- 全曲の始めの10秒間だけ順に再生します。希望曲になったら、もう一度 **SCAN** にタッチするとその曲で再生を続けます。

聞きたいMDを探す

1 機能スイッチ表示画面で、**DISC SCAN** にタッチします。

- MDチェンジャー内、全MDの1曲目に録音されている曲を、始めの10秒間だけ順に再生します。もう一度 **DISC SCAN** にタッチすると、そのまま再生を続けます。

聞きたい曲や同じMDを繰り返し聞く

いま聞いている曲を繰り返し再生する

1 **機能** にタッチします。

2 **RPT** にタッチします。

- 再生中の曲を繰り返し再生します。
- 一度 **RPT** にタッチすると、解除するまで繰り返します。もう一度 **RPT** をタッチすると解除されます。

いま聞いているMDを繰り返し再生する

1 機能スイッチ表示画面で、**DISC RPT** にタッチします。

- 再生中のMDを繰り返し再生します。
- 一度設定すると解除するまで繰り返します。もう一度 **DISC RPT** にタッチすると解除されます。

曲の順番をランダムに聞く

いま聞いているMDの中からランダムに聞く

1 **機能** にタッチします。

2 **RAND** にタッチします。

- いま聞いている MD の全曲でランダム再生します。
- 一度 **RAND** にタッチすると、解除するまでランダム再生します。もう一度 **RAND** にタッチすると解除されます。
- 曲が終わるごとに次に再生する曲を任意に決めているので、同じ曲が数回連続で再生されることがあります。

チェンジャー内全MDの中からランダムに聞く

1 機能スイッチ表示画面で、**DISC RAND** にタッチします。

- 全曲でランダム再生します。
- 一度設定すると解除するまで繰り返します。もう一度 **DISC RAND** にタッチすると解除されます。
- 曲が終わるごとに次に再生する曲を任意に決めているので、同じ曲が数回連続で再生されることがあります。

MDのタイトルや曲名などを表示する

1 **TITLE** にタッチします。

- タイトルや曲名などの表示中は、**TITLE** が **TITLE OFF** に切り替わり、**TITLE OFF** にタッチするとディスク切り替えスイッチが表示が切り替わります。

MDを止める

1 オーディオのソースを切り替えます。

- 「ソースの切り替え方」(41 ページ) を参照してください。

2 **OFF** にタッチします。

iPod プレーヤーの使い方

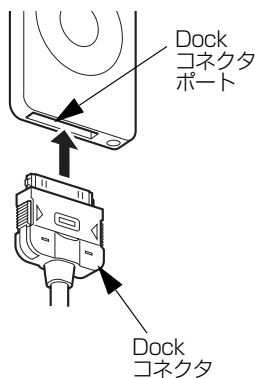
iPodを接続するとiPodの音楽ファイルを再生することができます。また、リストからの選曲やランダム再生の切り替えなどを、本機で操作することができます。iPodを接続する場合は、別売の「iPod接続用ケーブル」をお買い求めください。

走行中は安全上の配慮などから、操作できなくなる機能があります。



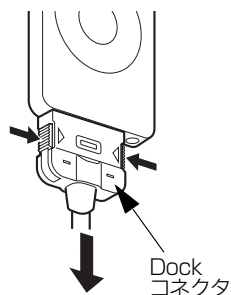
iPodを接続する

- 1 iPodと接続用ケーブルのDockコネクタを接続します。
- iPodに接続されているリモコン以外のアクセサリはすべて取りはずしてください。



iPodを取りはずす

- 1 iPodとDockコネクタを矢印の方向に押しながら、取りはずします。





注意

- 本機で iPod を使用しているときに iPod のデータが消失しても、消失したデータの補償はできませんのでご容赦ください。
- iPod を直射日光の当たるところに長時間放置すると、高温により変形・変色したり、故障する恐れがあります。使用しないときは、直射日光の当たらないところに保管してください。



ワンポイント

- ご使用になる iPod が本機に接続可能であるか確認してください。**「接続可能な iPod について」**（123 ページ参照）
- 本機と iPod を接続しても、ソースは自動で iPod に切り替わりません。
- iPod を本機に接続すると、iPod に “ECLIPSE” が表示されます。また、“ECLIPSE” が表示されている間は iPod による操作をすることができません。
- iPod の電源を OFF にしたまま接続すると、“ECLIPSE” が表示されず “充電済” マークが表示されることがあります。この場合、iPod のいずれかのボタンを押すと、“ECLIPSE” が表示されます。
- エンジンスイッチが ON または ACC になっている場合、接続した iPod のバッテリーが充電されます。
- 本機に iPod を接続すると、本機で表示される曲名リストの順番が iPod と異なることがあります。
- iPod が操作不能になった場合は、iPod の接続をはずし、iPod をリセットしてから再度接続してください。iPod のリセット方法については、iPod の取扱書を参照してください。
- 映像ファイルが入っている iPod を接続すると、曲名リストに映像ファイル名が表示される場合がありますが、映像ファイルの再生には対応していません。また、曲名リストが重複する場合があります。

iPod プレーヤーの使い方

iPodを聞く

- 1 iPod を本機に接続した状態で、オーディオのソースを切り替えます。

- 「ソースの切り替え方」(41 ページ) を参照してください。

- 2 **iPod** にタッチします。

- iPod で最後に聞いていた音楽ファイルの再生を始めます。

早送り・早戻しする

- 1 、 を“ピッ”と音がするまで押します。

-  (右側) : 曲を進めるとき

 (左側) : 曲を戻すとき

早送り(早戻し)モードに切り替わり、スイッチから手を離すまで早送り(早戻し)します。

聞きたい音楽ファイルを選ぶ

- 1 、または  を押します。

-  (右側) : 次の音楽ファイルを選ぶとき

 (左側) : 頭出し・前の音楽ファイルを選ぶとき



ワンポイント

- iPod に収録されている音楽ファイル数、ソフトウェアバージョンによっては、操作画面による操作を行っても、すぐに反応しなかったり、正しく動作しない場合があります。
- iPod 本体に「接続を解除できます。」が表示されますが、音楽の再生中は、iPod 保護のため、Dock コネクタを取りはずさないことをお勧めします。
- 正しく動作しない場合、iPod の接続をはずし、エンジンスイッチを OFF (LOCK) にして、再度エンジンスイッチを ON、または ACC にした後、iPod 本体をリセットしてから再度接続してください。
- アーティスト名や曲名(トラック名称)などは、半角で最大32文字、全角で最大16文字まで表示できます。

聞きたい音楽ファイルをリストから探す

アーティスト名やジャンルなどの選曲モードからリストを表示して、聞きたい音楽ファイルを探すことができます。

1 MENU にタッチします。

- MENU 画面が表示されます。

2 検索したい選曲モードスイッチにタッチします。

- 選択したモードのリスト画面が表示されます。

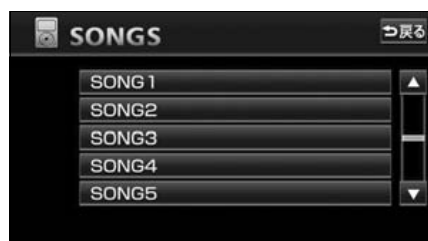


3 聞きたいリストにタッチします。

- SONGS 画面が表示されるまで繰り返します。（下記を参照してください。）
- ▶PLAY にタッチすると、その時点で再生対象となっている全ファイルを再生します。

4 聞きたい音楽ファイルにタッチします。

- 選択された音楽ファイルを再生します。



ワンポイント

- 各選曲モードにより、SONGS 画面が表示されるまでの順序は表のようになります。

選曲モード	表示順序
PLAY LIST	PLAY LIST 画面→SONGS 画面
ARTISTS	ARTISTS 画面→ALBUMS 画面→SONGS 画面
ALBUMS	ALBUMS 画面→SONGS 画面
SONGS	SONGS 画面
GENRES	GENRES 画面→ARTISTS 画面→ALBUMS 画面→SONGS 画面
COMPOSERS	COMPOSERS 画面→ALBUMS 画面→SONGS 画面

- 6個以上リストがある場合は、▲・▼ にタッチするとリストを切り替えることができます。
- 各リストの表示文字数は、半角で最大32文字、全角で最大16文字です。

iPod プレーヤーの使い方

再生中のリストを表示する

1 **LIST** にタッチします。

- 再生中の音楽ファイルを収録しているリストが表示されます。
- 現在再生している音楽ファイルが一番上に表示されます。
- 音楽ファイルにタッチすると、選んだ音楽ファイルが再生されます。

同じ音楽ファイルを繰り返し再生して聞く

1 **RPT** にタッチします。

- 再生中の音楽ファイルを繰り返し再生します。
- 一度 **RPT** にタッチすると、解除するまで繰り返します。もう一度 **RPT** にタッチすると解除されます。

音楽ファイルの順番をランダムに聞く

今聞いているリストの中からランダムに聞く

1 **TRACK SHUFFLE** にタッチします。

- 再生中のリスト内の全ファイルでランダム再生します。
- 一度 **TRACK SHUFFLE** にタッチすると、解除するまでランダム再生します。もう一度 **TRACK SHUFFLE** にタッチすると解除されます。

リストをランダムに聞く

リストをランダムに再生することができます。ただし、リスト内の音楽ファイルは先頭から順に再生されます。

1 **ALBUM SHUFFLE** にタッチします。

- 一度 **ALBUM SHUFFLE** にタッチすると、解除するまでランダム再生します。もう一度 **ALBUM SHUFFLE** にタッチすると解除されます。



- **RPT** が解除されている場合、再生の対象となるリストが繰り返し再生されます。
- 本機で **RPT**、**TRACK SHUFFLE**、または **ALBUM SHUFFLE** を設定した状態で iPod を取りはずした場合、iPod はリピート、またはシャッフル再生の設定に切り替わります。

接続可能なiPodについて

本機では下記のiPodを使用することができます。

種類	世代
iPod	第3世代
	第4世代
	第5世代
iPod mini	第1世代／第2世代
iPod photo	第1世代／第2世代
iPod nano	第1世代
	第2世代

※ 最新のiPodソフトウェアにてお使い下さい。最新のiPodソフトウェアは、アップル社のwebサイトからバージョンアップすることができます。



ワンポイント

- iPodは、米国およびその他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。
- iPodおよびiTunesは、著作権の無いマテリアル、または法的に複製・再生を許諾されたマテリアルを個人が私的に複製・再生するために使用許諾されるものです。著作権の侵害は法律上禁止されています。
- 写真表示機能、ビデオ映像表示機能には対応していません。
- オーディオブック、podcast機能には対応していません。

MUSIC JUKEをお使いになる前に

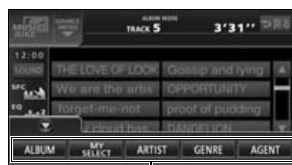
MUSIC JUKEの概要

MUSIC JUKEはCDやラジオなどで再生されている音楽・音声をATRAC3（アトラックスリー）圧縮技術で圧縮し、録音することができます。録音には、CDを録音すると、「Gracenote音楽認識サービス」により、アルバム名やアーティスト名、ジャンルを検索し、該当する名称でリスト（プレイリスト）を自動で作成するデジタル録音*と、CDプレーヤー以外のソースから録音し、録音したソースのプレイリストを自動で作成するアナログ録音があります。

※ 該当する名称が検索できなかった場合は、アナログ録音と同じ条件でプレイリストを作成します。

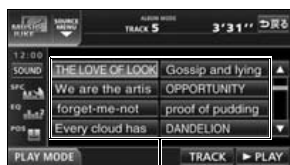
MUSIC JUKEの構成について

MUSIC JUKEは、録音された音楽・音声を5種類のプレイモードに大きく分類し、各プレイモードに作成したプレイリストに細かくグループを分けて管理することができます。聞きたい音楽は、プレイモードやプレイリストから絞り込んで検索することができるので便利です。



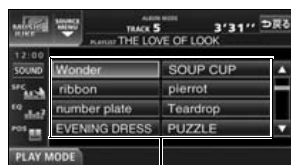
プレイモード

録音した音楽（トラック）を5つの再生モード（アルバム、アーティストやジャンルなど）で分けています。



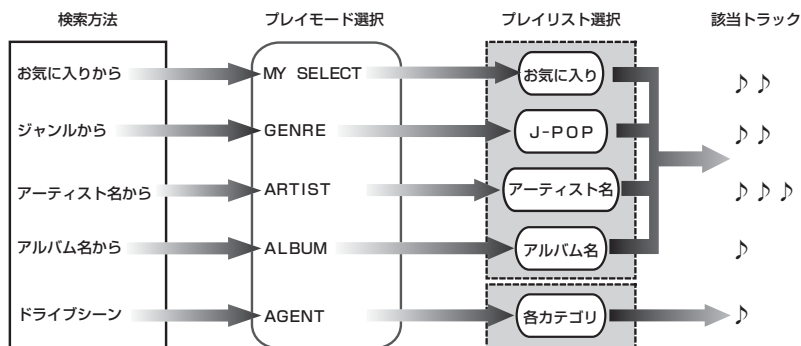
プレイリスト

各プレイモード（再生モード）ごとに録音した音楽（トラック）をそれぞれの種類別に分けています。



トラック

録音した音楽、音声データのタイトル



プレイモード・プレイリストについて

本機は、録音した音楽を種類や録音条件によってグループ分けして、MUSIC JUKEに保存します。

録音した音楽は、5種類のプレイモードの中に自動で作成された、アルバム名別やアーティスト別、ジャンル別、カテゴリ別のグループに分けられます。また、お好みの曲だけを集めたグループを作成することもできます。

プレイモード	プレイリスト
ALBUM	● 録音すると、トラックを収録したプレイリストを作成します。オートタイトリング機能でアルバム名が付与された場合アルバム名がプレイリスト名になります。オートタイトリング機能でアルバム名が付与されなかった場合はソース／ALBUM／番号がプレイリスト名になります。 ● アルバム名から選曲することができます。
MY SELECT	● お好みの曲だけを集めたオリジナルプレイリストを新規作成することができます。 ● オリジナルで作成したリスト名から選曲することができます。
ARTIST	● オートタイトリング機能で、録音された曲のアーティスト名が付与された場合、アーティスト名でプレイリストを作成します。 ● 録音されたトラックの情報に新規でアーティスト名を入力し、プレイリストを作成することができます。 ● アーティスト名から選曲することができます。また、同じアーティストのアルバムを複数録音している場合、アルバム名のリストを表示し、選曲することもできます。
GENRE	● オートタイトリング機能で、録音された曲のジャンルが付与された場合、ジャンルでプレイリストを作成します。 ● ジャンルから選曲することができます。また、同じジャンルのアルバムを複数録音している場合、アルバム名のリストを表示し、選曲することもできます。
AGENT	● プレイリストはありません。 ● オートタイトリング機能で、録音された曲のカテゴリ（曲イメージ・シーン・年代・タイアップ／イベント）が付与された場合、カテゴリ別で選曲することができます。



ワンポイント

MUSIC JUKEには、最大999個※のプレイリストを作成することができ、1つのプレイリストには最大99曲※までトラックを録音することができます。録音可能なトラックの総数は最大およそ3000曲※です。

※ 録音時間や録音モードによって、作成可能なプレイリスト数や録音可能なトラック数は異なります。

MUSIC JUKE をお使いになる前に

データベースについて

本機は、内蔵のCDプレーヤーからCDアルバム（アルバム/シングルディスク）をMUSIC JUKEにデジタル録音した場合、ハードディスクに収録されているデータベースの中から、アルバム名やアーティスト名、ジャンル、カテゴリ、タイトルを検索し、各名称がデータベースに収録されていると、録音したデータに自動で付与します。

本機に収録されているデータベース情報は、Gracenote メディアデータベース、およびメディアクリックデータベースを使用しています。

Gracenote メディアデータベースについて

音楽認識テクノロジーおよび関連データは、Gracenote[®]により提供されます。Gracenote は、音楽認識テクノロジーおよび関連コンテンツ配信の業界標準です。

詳細については、次の Web サイトをご覧ください: www.gracenote.com

Gracenote からの CD および音楽関連データ: Copyright© 2000 - 2007 Gracenote.
Gracenote Software: Copyright 2000 - 2007 Gracenote.

この製品およびサービスは、以下に挙げる米国特許の 1 つまたは複数を実践している可能性があります: #5,987,525、#6,061,680、#6,154,773、#6,161,132、#6,230,192、#6,230,207、#6,240,459、#6,330,593、およびその他の取得済みまたは申請中の特許。一部のサービスは、ライセンスの下、米国特許 (#6,304,523) 用に Open Globe, Inc. から提供されました。

Gracenote および CDDb は Gracenote の登録商標です。Gracenote のロゴとロゴタイプ、および「Powered by Gracenote」ロゴは Gracenote の商標です。

Gracenote サービスの使用については、次の Web ページをご覧ください:
www.gracenote.com/corporate



- 自動で付与されたタイトル情報は、実際のタイトル情報と異なる場合があります。
- 「Gracenote 音楽認識サービス」によって提供されたデータについては内容を 100%保証するものではありません。

メディアクリックデータベース (MCDB) について

- MCDBは株式会社メディアクリックの登録商標です。
- MCDBのロゴは株式会社メディアクリックの登録商標です。
- メディアクリックは株式会社メディアクリックの登録商標です。

MCDB

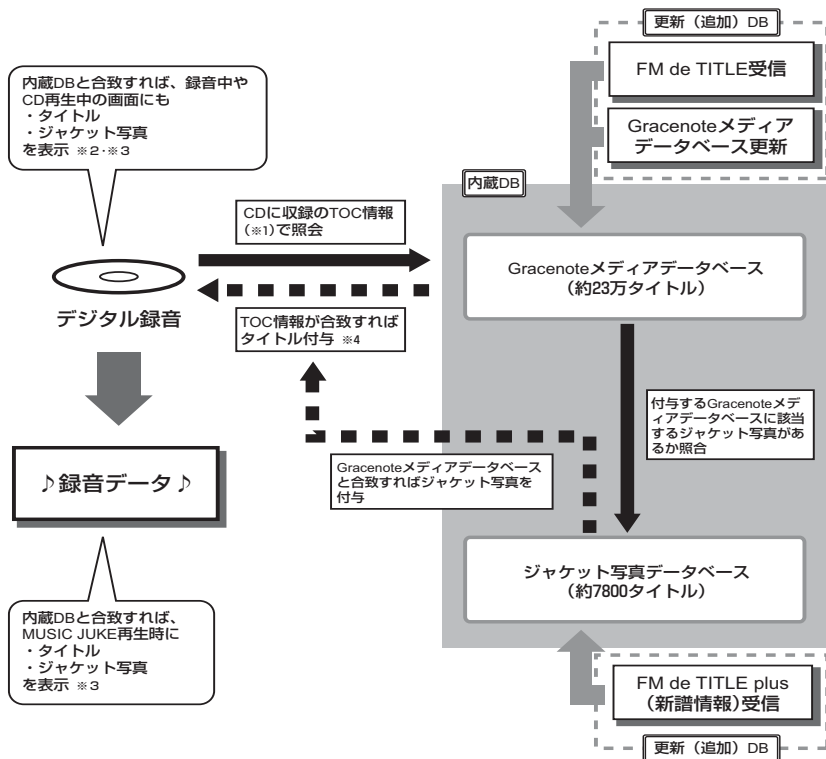
- 本製品には、株式会社メディアクリックが提供する音楽情報に関するデータベースであるMCDBが収録されています。MCDBは株式会社メディアクリックのノウハウにより構成されているデータベースであり、MCDB サービスはMCDBを使用して音楽に関する情報を提供するサービスです。
この製品を使用してMCDBサービスを利用する際は、以下の項目について同意したものとみなされます。
- MCDBはメディアクリックのノウハウにより構成されているデータベースです。
メディアクリックが独自に楽曲を選別したもので、楽曲の作曲者・作詞者等により作成・保証されたデータベースではありません。
- MCDBの内容は、お客様の趣味・趣向を100%保証するものではありません。
- MCDBは個人の使用のみに使うこと、商用として利用することは、いかなる場合でも禁止します。
- MCDBへのアクセスは、商品が提供する機能のみでアクセスすることができます。
本製品が提供する機能以外でのMCDBへのアクセスを禁止します。
- 本製品に収録されたMCDBは、第三者に譲渡・コピー・転送する事を禁止します。
- お客様が上記同意事項に違反した場合には、弊社はMCDBサービスの利用を終了させていただきます。
- MCDBの著作権は、株式会社メディアクリックが有しており、著作権法関連諸法規、関連国際条約等で保護されています。
- 収録されているMCDBは2006年12月までのデータです。

MUSIC JUKE をお使いになる前に

オートタイトリング機能について

本機は、録音した音楽を録音条件やデータベースからのタイトル情報によって自動でプレイリストを作成し、グループ分けします。

※ オートタイトリング機能で付与されたタイトル情報は、実際のタイトル情報と異なる場合があります。



- ※ 1 : 「TOC情報」とは、CDに録音されている曲数や再生時間等の目次情報です。
- ※ 2 : 「TOC情報」でGracenoteメディアデータベースと照会した際に複数のタイトル候補があった場合は、録音中の画面にはタイトル・ジャケット写真共に表示されません。(CD再生中も同じ)
- ※ 3 : 類似した「TOC情報」を持つCDがあった場合には、違うCDタイトルが付与されることがあります。(特にシングルCDは曲数が少ないために、類似した「TOC情報」を持つCDが市場に多く存在します。)
- ※ 4 : 同一のCDアルバムでも、製造時期・製造場所などにより、「TOC情報」に違いが生じることがあるため、録音されたCDアルバムと、Gracenoteメディアデータベースが必ずしも一致するとは限りません。このため、Gracenoteメディアデータベース内に、録音されたアルバムのタイトル情報があったとしても、タイトル付与されない場合があります。



ワンポイント

デジタル録音時にタイトル情報が付与できなかったものや、アナログ録音時には下記の情報を付与し、下記のプレイモードにプレイリストを作成します。

アルバムプレイモード…ソース／ALBUM／4桁の番号

トラックプレイモード…ソース／Track 2桁の番号

ジャケット写真について

- 格納されているジャケット写真は、本製品で使用する事を許諾したCDのジャケット写真のみレコード会社から提供されたもので、それ以外のCDについてはジャケット写真の提供は行われていません。
- 同一曲収録CD（通常盤、初回限定盤など）において、ジャケット写真がそれぞれ異なる場合があります。このような場合、本製品はレコード会社より提供されたものが表示されます。お客様が、お持ちのCDのジャケット写真と必ず同じになるとは限りません。
- ジャケット写真は、本製品内のみで使用が可能です。
- 本製品に格納されているジャケット写真をコピー・転送することを禁止いたします。
- 本製品に格納されているジャケット写真を商用として利用することは、いかなる場合でも禁止いたします。
- お客様が、上記同意事項に違反した場合には、本製品に格納されているジャケット写真の利用を終了させていただく事が出来ます。
- 本製品に格納されているジャケット写真の著作権は、各制作者が有しており、著作権法、関連諸法、関連国際条約等で保護されています。

MUSIC JUKE をお使いになる前に

データベース情報の表示について

ハードディスクに収録されているタイトルデータベース（Gracenoteメディアデータベースおよびメディアクリックデータベース）のバージョン情報を見ることができます。

1 **MENU** を押します。

- 情報メニュー画面が表示されないときは、**INFO** にタッチします。

2 **データ管理** にタッチします。

- **データ管理** が表示されていないときは、**ページ切換** にタッチします。



3 データベースのバージョンの **バージョン情報** にタッチします。



4 **CDDDB**、または **MCDB** にタッチします。

- データベース情報を表示します。



ワンポイント

最大 60 個まで履歴を残すことができます。60 個を超える場合、最も古いものから順に削除します。

データベースの更新について

本機のデータベース（Gracenote メディアデータベース、およびメディアクリックデータベース）は、提供されたデータによって更新することができます。

Gracenote メディアデータベースやメディアクリックデータベースの更新時期やデータの提供については、<http://www.fujitsu-ten.co.jp/eclipse/>をご覧ください。

Gracenote メディアデータベースを更新する

更新操作は必ずお車を安全な場所に停車し、パーキングブレーキをかけた状態でおこなってください。

1 AUDIOをOFFにします。

2 **MENU** を押します。

- 情報メニュー画面が表示されないときは、**INFO** にタッチします。

3 **データ管理** にタッチします。

- **データ管理** が表示されていないときは、**ページ切換** にタッチします。



4 更新データの書き込まれた“メモリースティック”、またはCD-R/RWを差し込みます。

5 **MEMORY STICKでの更新**、または **CDでの更新** にタッチします。

- データベースの更新を開始します。
- 更新中画面を表示します。
- 更新中は本機の操作をしないでください。
- 更新が完了すると、更新中のメッセージが消えます。



6 “メモリースティック”、またはCD-R/RWを本機から取り出します。

7 お車のエンジンを切り、約15秒程度待ちます。

8 再度お車のエンジンをかけ、データベース情報を表示して更新情報が追加されているか確認します。

- 「データベース情報の表示について」（前ページを参照してください。）



- 一度付与されたタイトル情報は、Gracenote メディアデータベースを更新後、該当するタイトル情報が保有されていても自動では変更されません。編集時に更新することができます。詳しくは、「タイトル情報の再取得」（164 ページ）を参照してください。
- 更新にかかる時間はバージョンにより異なります。

MUSIC JUKE をお使いになる前に

メディアクリックのデータベースを更新する

1 AUDIOをOFFにします。

2 **MENU** を押します。

- 情報メニュー画面が表示されないときは、**INFO** にタッチします。

3 **データ管理** にタッチします。

- **データ管理** が表示されていないときは、**ページ切換** にタッチします。



4 更新データの書き込まれた“メモリースティック”、またはCD-R/RWを差し込みます。

5 **MEMORY STICKでの更新**、または**CDでの更新** にタッチします。

- データベースの更新を開始します。



タイトル情報の受信について

本機は、JFN系列の放送局で放送されている「FM de TITLE」※（エフエム デ タイトル）、および「FM de TITLE plus」※（エフエム デ タイトル プラス）を受信することができます。受信できる内容と機能は下記になります。

	FM de TITLE	FM de TITLE plus
受信できる内容	CDタイトル	新譜情報（ジャケット写真）
制限	なし	一部表示期限あり
保存件数	制限なし	制限なし
受信の通知	CD情報インジケータ	新譜情報受信メッセージおよび新譜情報インジケータ
機能	音楽CDや音楽データ再生時、該当するCDタイトルを表示	音楽CDや音楽データ再生時、該当するジャケット写真を表示

※ 「FM de TITLE」、「FM de TITLE plus」は、FM多重放送を使い、毎週50タイトル（最大）のCD楽曲データベース（CDタイトルや新譜情報）を無料で配信するサービスです。

- FM de TITLEが受信できる放送局については、「**FM de TITLEサービス放送局について**」257 ページを参照してください。

タイトル情報の受信について

「**タイトル情報の受信**」（次ページ）のFM多重チューナー設定をVICSに設定している場合、下記のソースに切り替えるとタイトル情報が受信できなくなります。

- AMラジオ、FMラジオ（JFN系列を除く）に切り替えた場合
- TVに切り替えた場合
- オーディオOFFの場合

受信したタイトル情報は「**タイトル情報の表示**」（次ページ）で確認することができます。画面には、最大1000個表示することができます。1000個を超える場合は、古い順番に自動で画面から削除されますが、内蔵のハードディスクには保存されています。

タイトル情報の保存について

受信されたタイトル情報は、自動で本機のハードディスクに保存されますが、下記の場合、一時保存できなくなります。

- MUSIC JUKEで再生、録音、または編集作業を行った場合
- “メモリースティック”で音楽の再生を行った場合
- 壁紙を書き換えた場合
- “メモリースティック”およびCD-R/RWでデータベースを更新した場合
- ハードディスクに画像データを保存した場合
- 販売店にて書き換え作業を行った場合

ラジオ、TV、CD等のソースに切り替えると、自動でハードディスクへの保存が可能になります。

タイトル情報の表示について

再生、または録音時にタイトル情報が付与されなかった音楽は、FM de TITLE/FM de TITLE plusで該当するCDタイトルや新譜情報を受信しても自動で付与されません。編集時に更新することができます。詳しくは、「**タイトル情報の再取得**」（164 ページ）を参照してください。

MUSIC JUKE をお使いになる前に

タイトル情報の受信

タイトル情報を配信している放送局を自動で選局し、受信します。

1 **MENU** を押します。

- ナビメニュー画面が表示されないときは、**NAVI** にタッチします。

2 **VICS** にタッチします。



3 FM多重チューナー設定の **CD情報** にタッチします。

- FM de TITLEは一度に配信する情報量が決まっています。一度受信・保存が完了し、次回の配信まで受信するデータが無い場合、自動でVICS情報の受信に切り替わります。但し、エンジンスイッチをACCまたはONにするたびに、FM de TITLEの放送を受信します。



タイトル情報の表示

走行中は安全上の配慮などから、操作できなくなる機能があります。

CDタイトルを表示する

ハードディスクに保存されたCDタイトルを表示します。保存されたCDタイトルの表示が可能になった場合、画面にCD情報インジケータを表示します。

CD情報インジケータ



1 **MENU** を押します。

- 情報メニュー画面が表示されないときは、**INFO** にタッチします。

2 **タイトルチェック** にタッチします。

- タイトルリスト画面を表示します。



ワンポイント

- FM de TITLE/FM de TITLE plus で配信されたCD情報や新譜情報は内容を100%保証するものではありません。製造時期や製造場所などにより、情報に違いが生じるため、実際に再生している音楽CDやデータと内容が異なる場合があります。
- CDタイトル表示画面で表示される文字数は、アーティスト名、タイトル名、発売日合わせて半角文字では最大30文字、全角文字では最大15文字です。

3 表示したいタイトルにタッチします。

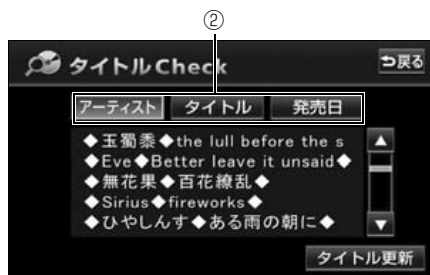
- CDタイトル表示画面を表示します。
- 1つのタイトルの中に、最大50個のCDタイトルが入っています。



■ CDタイトル画面の見方



● タイトルリスト画面



● CDタイトル表示画面

- ① 放送局側が最初に配信した日付受信した順に、上から新しいタイトルを表示しています。
- ② CDタイトルの並び替え
CDタイトルを、アーティスト、曲のタイトル、発売日で並び替えることができます。

CD情報インジケータの表示を設定する

CDタイトルの表示が可能になったことをお知らせするインジケータの表示ON/OFFを設定することができます。

CDタイトルを受信した場合は、インジケータ(🎵)の表示がONの場合でもインジケータが表示されてから約6秒以上経過すると表示が消えます。

- CDタイトルを受信した場合は 🎵、新譜情報を受信した場合は **NEW** が表示されます。(新譜情報に関しては次ページを参照してください。)

1 MENU を押します。

- 情報メニュー画面が表示されないときは、**INFO** にタッチします。

2 設定 にタッチします。

- **設定** が表示されていないときは、**ページ切替** にタッチします。



3 CD情報インジケータの **ON**、または **OFF** にタッチします。



4 設定完了 にタッチします。

MUSIC JUKE をお使いになる前に

新譜情報を表示する

ハードディスクに保存された新譜情報（ジャケット写真）を表示します。新譜情報は、情報画面から確認する方法と、新譜情報受信メッセージ画面から確認する方法があります。画面の見方については前ページを参照ください。

■ 情報メニュー画面から確認する

1 **MENU** を押します。

- 情報メニュー画面が表示されないときは、**INFO** にタッチします。

2 **新譜情報** にタッチします。

- 新譜情報リスト画面を表示します。
- まだ、表示していない新譜情報があると、“NEW” を表示します。



3 表示したい新譜情報にタッチします。

- タイトルリスト画面を表示します。
- 1つの新譜情報の中に、最大20個のタイトルリストが入っています。
- **一覧** にタッチすると、配信日別のタイトルリスト画面を表示します。



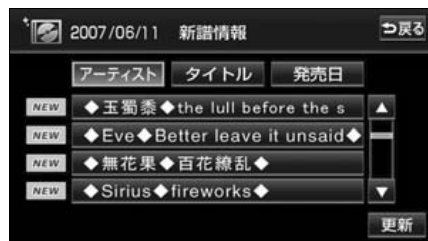
4 表示したいタイトルにタッチします。

- CDタイトル表示画面を表示します。
- 1つのタイトルの中に、最大50個のタイトル情報が入っています。



5 表示したいCDタイトルにタッチします。

- ジャケット表示画面を表示します。（走行中は操作・表示できません。）



■新譜情報受信メッセージ画面から確認する

新譜情報を受信、確認が可能になった場合、自動で新譜情報受信メッセージ画面を表示します。



1 **見る** にタッチします。

- 新譜情報リスト画面を表示します。

携帯電話で新譜情報を見る

2次元バーコード（QRコード）を携帯電話で読み取ると、新譜情報に関連する携帯サイトへ接続することができます。

1 ジャケット表示画面で、**バーコード** にタッチします。



2 携帯電話で2次元バーコードを読み取ります。

- 2次元バーコードの読み取り操作は、携帯電話の取扱説明書を参照してください。
- **サイズ変更** にタッチすると、バーコードの大きさを変更することができます。



ワンポイント

- 2次元バーコードの読み取りに対応している携帯電話でご利用いただけます。
- 2次元バーコードの読み取りは携帯電話各社で完全に保証されておりません。また、読み取り環境や条件によって読み取りが困難になることがあります。
- 2次元バーコードが読み取れないときは、2次元バーコードのサイズを変更する、または携帯電話および本機の画面の明るさを変えることで読み取ることができる場合があります。
- 携帯サイトは株式会社メディアクリックのサービスです。
- 携帯電話の通信料金はお客様のご負担になります。
- QRコードは（株）デンソーウェーブの登録商標です。

MUSIC JUKE をお使いになる前に

新譜情報受信メッセージの表示を設定する

新譜情報の表示が可能になったことをお知らせするメッセージ画面の表示ON/OFFを設定することができます。

1

MENU を押します。

- 情報メニュー画面が表示されないときは、**INFO** にタッチします。

2

設定 にタッチします。

- **設定** が表示されていないときは、**ページ切換** にタッチします。



3

新譜情報受信メッセージの **ON**、または **OFF** にタッチします。



4

設定完了 にタッチします。



ワンポイント

- 新譜情報（ジャケット写真）には表示できる有効期限（一部）があります。有効期限の過ぎた新譜情報は該当する音楽CDを再生しても表示することができません。但し、有効期限内に一度CDを差し込むと、音楽データ再生時、新譜情報を表示することができます。
- 新譜情報（ジャケット写真）の表示サイズは横112×縦112dotです。
- 受信した新譜情報（ジャケット写真）が正式版でない場合や不備があった場合、表示されません。

タイトル情報の更新

「タイトル情報の保存について」(133 ページ) で、保存されなかった場合にタイトル情報を更新することができます。

CDタイトルを更新する

1

MENU を押します。

- 情報メニュー画面が表示されないときは、**INFO** にタッチします。

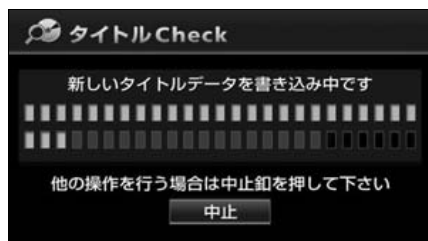
2

タイトルチェック にタッチします。

3

タイトル更新 にタッチします。

- CDタイトル更新画面が表示されます。
- 更新中は音量レベル調整以外の操作はできません。
- 更新完了後、タイトルリスト画面にもどります。



- CDタイトル更新画面

新譜情報を更新する

1

MENU を押します。

- 情報メニュー画面が表示されないときは、**INFO** にタッチします。

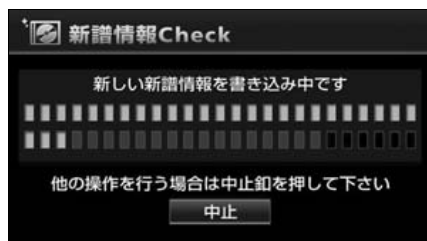
2

新譜情報 にタッチします。

3

更新 にタッチします。

- 新譜情報更新画面が表示されます。
- 更新中は音量レベル調整以外の操作はできません。
- 更新完了後、新譜情報リスト画面にもどります。



- 新譜情報更新画面

MUSIC JUKE をお使いになる前に

ハードディスクの容量確認

ハードディスク内の録音トラック数や作成プレイリスト数を表示することができます。

1

MENU を押します。

- 情報メニュー画面が表示されないときは、**INFO** にタッチします。

2

データ管理 にタッチします。

- **データ管理** が表示されていないときは、**ページ切換** にタッチします。



3

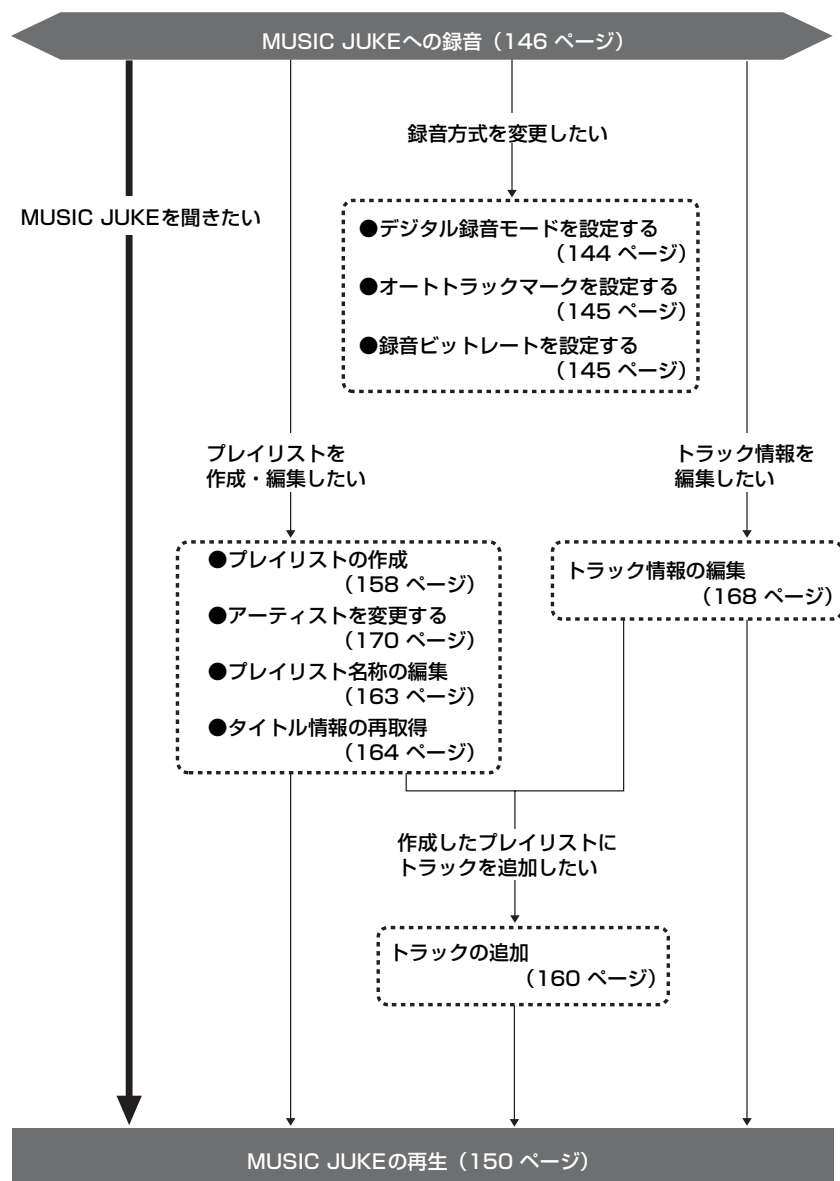
HDDの容量の **確認** にタッチします。

- ハードディスクの容量を表示します。



操作の流れについて

MUSIC JUKEへの録音や、プレイリスト、トラック情報の編集、MUSIC JUKEの聞き方などの操作を説明します。



MUSIC JUKEへの録音

MUSIC JUKEへの録音について

- 本機は、内蔵のCDプレーヤー、別売のCDチェンジャー・MDチェンジャーで再生している音楽や、ラジオ、TV（音声）、VTR（音声）、iPodプレーヤーで放送している・再生している音楽・音声をMUSIC JUKEに録音することができます。
- MP3/WMA ファイル、“メモリースティック”、DVD、ワンセグ、DTV、AUXから録音することはできません。

録音できるソースと録音方式について

MUSIC JUKEは、録音できるソースにより、録音方式が異なります。

録音方式	録音可能なソース
デジタル録音（4倍速録音）	CDプレーヤー（デジタル録音可能なCDのみ）
アナログ録音（等倍速録音）	FM、AM、TV（音声）、VTR（音声）、iPodプレーヤー、CDチェンジャー、MDチェンジャー、CDプレーヤー（デジタル録音禁止されているCDの場合のみ）

録音についての注意

- 本機の故障、誤作動または不具合により録音できなかった録音内容、および消失した音楽・音声データについては保証できません。
- あなたが録音したものは、個人として楽しむなどのほか、著作権法上、権利者に無断で使用できません。
- 録り直しのきかない録音の場合は、必ず事前に試し録りをし、音楽・音声データが正しく録音されていることを確認してください。
- エンジンスイッチをACCにして録音しているときに、エンジンスイッチをONにすると、録音したデータが消失する恐れがあります。
- ノンストップCD（曲と曲の間の無音部分が無いCD）を録音すると、曲間に無音部分が録音され、不自然な音切れが発生することがありますが、録音するディスクに依存しますのでご了承ください。
- 録音の開始時や、終了時には、約2秒間音楽や音声が停止します。
 - アナログ録音開始時および終了時は約2秒間音楽や音声は聞こえなくなります。
 - 音楽CDなどをデジタル録音中にラジオなどに切り替え、録音を終了すると、約2秒間ラジオの放送が聞こえなくなります。
- CDを録音開始後、録音された音を出力します。
録音が完了した後、エンジンスイッチをOFF（LOCK）にしたり、ソースを切り替えるなどお客様が操作しない限り、録音された音を継続して出力します。
- 一度バッテリーターミナルをはずし、再度接続した場合、地図画面を表示してから約2分間は録音ができません。
- 音飛びなど、何らかの原因で録音が完了していない場合、画面にを表示します。
- 音飛びなどで、再度録音を開始する場合、画面に“R”を表示します。



MUSIC JUKEに録音した音楽情報については、著作権法上バックアップをおこなうことはできません。

デジタル録音（4倍速録音）について

- 本機のデジタル録音は、通常の速さで再生しながら、4 倍の速さで録音することができます。また、裏録音を行っているため、録音中に他のソースに切り替えることができます。詳しくは 146 ページを参照してください。
- 録音中の再生音は、MUSIC JUKEに録音された音のため、CD再生時とは異なった音で聞こえる場合があります。（ソースのアイコンの表示が替わります）
- SCMS（シリアルコピーマネジメントシステム）に対応しているため、原則として下記のCDはデジタル録音方式で録音することができません。
 - ・音楽CDなどからデジタル録音したCD-RやCD-RW※
 - ・録音が禁止されている音楽CD※
- ※ **AV** を1秒以上押して、アナログ録音方式として録音することは可能です。
- 下記の場合、録音途中のトラック（曲）を削除します。
 - ・録音中にお車のエンジンスイッチをOFF（LOCK）にした場合
 - ・録音中にCDを排出した場合
- 下記の場合、自動で録音を再開します。
 - ・エンジンスイッチをACCまたはONにした場合※¹
 - ・CDを挿入した場合※²
- ※¹ 録音：録音されていないトラック（曲）の中で、最もトラック番号が小さいものから録音を開始
再生：再生途中だったトラック（曲）の頭から再生を開始
エンジンスイッチをOFF（LOCK）にする直前に録音中だった場合のみ、エンジンスイッチをONにすると録音を開始
- ※² 録音：録音されていないトラック（曲）の中で、最もトラック番号が小さいものから録音を開始
再生：挿入したCDの最初から再生を開始
- 下記の場合、録音を継続します。
 - ・録音中にソースを切り替えた場合
 - ・録音中にオーディオをOFFにした場合
- すでに録音されている曲は、重複して録音することはできません。
- 手動で録音を停止した場合は、その後録音が完了した曲のみ再生することができます。それ以外の曲を再生する場合は、一度ソースを切り替えた後、再度同じCDを再生してください。

アナログ録音（等倍速録音）について

- アナログ録音は、5 時間以上連続で録音することはできません。続けて録音する場合は、再度 **AV** を1秒以上押して録音してください。
- アナログ録音中にお車のエンジンスイッチをOFF（LOCK）にした場合、録音を中止します。また、録音中、ソースを切り替えると録音は中止されます。

MUSIC JUKE への録音

録音方式の設定

MUSIC JUKEの録音方式を切り替えることができます。

- 1 MUSIC JUKE 操作画面で **機能** 、**設定** の順にタッチします。



● MUSIC JUKE操作画面

- MUSIC JUKE設定画面が表示されます。
- MUSIC JUKE設定画面から下記の設定を切り替えることができます。



● MUSIC JUKE設定画面

項目	機能	ページ
デジタル録音モード	デジタル録音時のAUTO、SELECTの設定	下記
オートトラックマーク	録音したトラック（曲）の区切り設定	次ページ
録音ビットレート	録音時の音質切り替え	次ページ
表示並び替え	プレイリスト・トラックの表示・再生順の並び替え	166

デジタル録音モードを設定する

デジタル録音する場合に、CDの差し込みと同時に録音を開始する **AUTO** 、または **AV** を1秒以上押し、録音したいトラック（曲）を選択する **SELECT** に切り替えることができます。

- 1 MUSIC JUKE 操作画面で **機能** 、**設定** の順にタッチします。

- 2 デジタル録音モードの **AUTO** 、または **SELECT** にタッチします。

- **AUTO** ……CDを差し込むと、自動で録音を開始。
- **SELECT** …… **AV** を1秒以上押し、トラックを選択後、録音を開始。



オートトラックマークを設定する

アナログ録音方式で録音する場合に、トラック（曲など）とトラックの間（区切り位置）を設定します。

1 MUSIC JUKE 操作画面で、**機能**、**設定** の順にタッチします。

2 オートトラックマークの **ON**、または **OFF** にタッチします。

- **ON** …… 曲と曲の間にある無音部分を区切り位置として、トラックを設定する。
CD以外のソースを録音する場合は、録音を終了した時点でトラックを設定する。
- **OFF** …… 録音開始から録音終了までを1トラックとして設定する。



録音ビットレートを設定する

録音するときの音質を選ぶことができます。録音ビットレートの数字が大きくなるほど、音質は良くなりますが、データの容量も大きくなります。

1 MUSIC JUKE 操作画面で、**機能**、**設定** の順にタッチします。

2 録音ビットレートの **132k**、**105k**、または **66k** にタッチします。

- デジタル録音時は、132k に固定されます。



ワンポイント

オートトラックマークがONの場合でもトラックを分割できないことがあります。

MUSIC JUKE への録音

MUSIC JUKE への録音

本機は、CD プレーヤーから MUSIC JUKE へ録音するデジタル録音と、CD プレーヤー以外のソースから MUSIC JUKE へ録音するアナログ録音があります。

デジタル録音は、CD の挿入と同時に自動で録音を開始するオート録音と

AV スイッチを押して、録音したい曲を選んでから録音を開始するセレクト録音があります。

録音中は、録音マーク、録音トラック数確認マークおよび録音進捗バーを表示します。(次ページ参照)

録音中は下記のスイッチが使用できなくなります。

録音の種類	ソース (音声モード)	使用できないスイッチ	
		タッチスイッチ	パネルスイッチ
デジタル録音	CD プレーヤー	RPT RAND SCAN バーコード	 ※3 
	MUSIC JUKE	RPT RAND SCAN PLAYLIST RPT PLAYLIST RAND PLAYLIST SCAN PLAY MODE ※2 AGENT バーコード 設定 編集	 ※4 
	CD プレーヤー以外 ※1	制約なし	制約なし
アナログ録音	AM、FM、 CD プレーヤー、 iPod プレーヤー、 CD チェンジャー、 MD チェンジャー、 TV、VTR	RPT RAND SCAN DISC RPT DISC RAND DISC SCAN 各プリセットスイッチ、各ディスク切り替えスイッチ エリア AUTO.P ▲ ▼ 8画面 主/副 ワイドモード 標準 ワイド1 ワイド2 ワイド3	 

※1 デジタル録音しながら、ソースをラジオやTV、CDチェンジャー、MDチェンジャーに切り替えた場合。

※2 プレイモードのALBUMおよびMY SELECTは操作可能です。

※3 録音が完了した曲の前曲・次曲の切り替えは可能です。

※4 現在再生しているプレイリスト内の前曲・次曲の切り替えは可能です。

CDを再生しながら自動で録音する

CDを差し込むと、4倍速で録音します。

1 CDを差し込みます。

- 自動で録音を開始します。このとき、スピーカーからは等倍速（通常の速さ）で音楽が出力されます。
- 全曲の録音が完了すると、自動で録音を終了します。再生は継続されます。（録音が完了している曲のみ）
- 録音を途中で停止する場合は、**AV** を1秒以上押します。



■ 録音画面の見方



- ① **SOURCE MENU呼び出しスイッチ**
録音中はスイッチの表示が切り替わります。
- ② **録音マーク**
録音中に表示されます。
- ③ **録音進捗バー**
録音の進捗をバーで表示します。
- ④ **録音トラック数確認マーク**
 - デジタルオート録音の場合
録音が完了したトラック数/音楽CDの全曲数
 - デジタルセレクト録音の場合
録音が完了したトラック数/録音の対象になっている曲数



ワンポイント

- 録音中の再生音は、MUSIC JUKEに録音された音（ATRAC3で圧縮された音声）のため、CD再生時とは異なった音で聞こえる場合があります。
- コピー許可されていない CD-R/RW や、CD プレーヤー以外*のソースから MUSIC JUKEに録音する場合はアナログ録音となり、手動操作でのみ録音することができます。
※ MP3/WMAは録音できません。デジタル録音が禁止されている音楽CDはアナログ録音のみ可能です。
- すでにCDが差し込まれているときに、ソースをCDに切り替えても自動で録音は開始されません。**AV** を1秒以上押して録音を始めてください。（「CDの中から好みのトラック（曲）を録音する」次ページ参照）
- お好みの曲から録音を開始したい場合は、「**デジタル録音モードを設定する**」（144ページ参照）で録音モードを **SELECT** に設定してください。

MUSIC JUKE への録音

CDの中から好みのトラック（曲）を録音する

好みのトラック（曲）を選び、録音（4倍速）を開始します。

1 CDを再生中に、**AV** を1秒以上押します。

2 録音したいトラック（曲）にタッチします。



3 **開始** にタッチします。



- 選んだトラック（曲）の再生と録音を開始します。このとき、スピーカーからは等倍速（通常の速さ）で音楽が出力されます。
- 選んだトラック（曲）の録音が完了すると、自動で録音を停止します。選んだトラック（曲）の再生は継続されます。（録音が完了した曲のみ）
- 録音を途中で停止する場合は、**AV** を1秒以上押します。
- 録音中は、録音マーク、録音トラック数確認マークおよび録音進捗バーを表示します。（前ページ参照）



ワンポイント

- 録音中の再生音は、MUSIC JUKEに録音された音（ATRAC3で圧縮された音声）のため、CD再生時とは異なった音で聞こえる場合があります。
- 複数のトラックを同時に選ぶ場合は、選びたいトラック全てにタッチしてください。
- 一度選んだトラックにもう一度タッチすると、キャンセルすることができます。
- すでに録音が完了しているトラック（曲）は選べません。
- CD を差し込み、再生と同時に録音を開始する場合は、「**デジタル録音モードを設定する**」（144 ページ参照）で録音モードを **AUTO** に設定してください。

CDプレーヤー以外のソースから録音する

ラジオ、iPodプレーヤー、TV、VTR、CDチェンジャー、MDチェンジャーを再生中、好みのタイミングで録音を開始します。

1 録音するソースに切り替えます。

- 「ソースの切り替え方」(41 ページ) を参照してください。

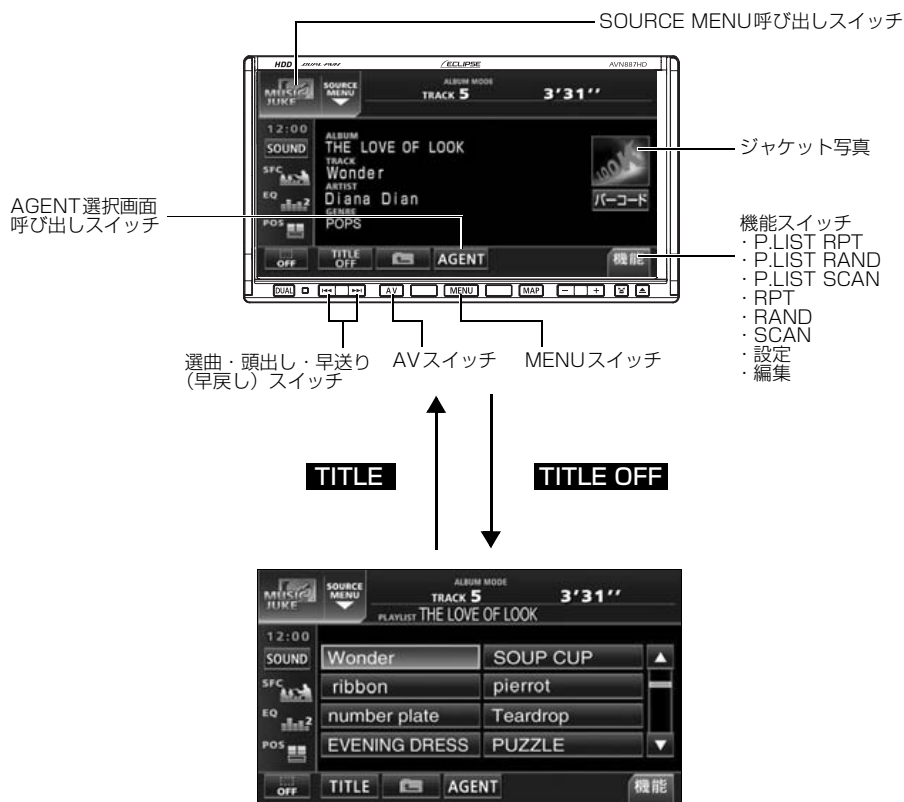
2 **AV** を1秒以上押します。

- MUSIC JUKEへの録音を開始します。
- 録音を停止する場合は、**AV** を1秒以上押します。
- 録音中は録音マークを表示します。(147 ページ参照)



MUSIC JUKEの使い方

走行中は安全上の配慮などから、操作できなくなる機能があります。



MUSIC JUKEを聞く

- 1 オーディオのソースを切り替えます。
- 2 **MUSIC JUKE** にタッチします。

● 「ソースの切り替え方」(41 ページ) を参照してください。

- 再生を始めます。
- 前回、MUSIC JUKEを再生していたときに、最後に聞いていたトラック(曲)の停止したところから再生を始めます。



ワンポイント

- MUSIC JUKE に記録されているプレイリスト名やトラック名などを表示することができます。詳しくは、「トラック(曲)情報などを表示する」(157 ページ)を参照してください。
- ジャケット写真の表示設定が ON のとき、(「ジャケット写真の表示を設定する」164 ページ参照) 再生しているプレイリストに該当するジャケット写真データが本機のハードディスクにある場合、ジャケット写真を表示します。MY SELECT、または AGENT プレイモードで再生中はジャケット写真を表示することができません。

表示・再生について

MUSIC JUKEに保存されている複数のトラック（曲）をアルバム名やジャンルなどグループ別に選ぶことができます。タッチするプレイモードによって、プレイリストやトラックの表示・再生の順番は違います。

- プレイリストの表示・再生の順番は下記になります。

プレイモード	プレイリストの表示・再生順
ALBUM	自動で作成したリストを新しい順に表示・再生（一番上が最新）
MY SELECT	オリジナルで作成したリストを新しい順に表示・再生（一番上が最新）
ARTIST	自動で作成したリストをShift-JIS順に表示・再生
GENRE	あらかじめ設定されている順に表示・再生
AGENT	—

- トラックの表示・再生の順番は下記になります。

プレイモード	トラックの表示・再生順
ALBUM	音楽CDに収録されているトラックの順に表示・再生
MY SELECT	プレイリストに追加した順に表示・再生
ARTIST	音楽CDに収録されているトラックの順に表示・再生※
GENRE	音楽CDに収録されているトラックの順に表示・再生※
AGENT	—

※ 同じARTIST/GENREの全トラックの再生が終了すると、次のARTIST/GENREに切り替わります。

再生中のプレイリストの中で聞きたいトラック（曲）を選ぶ

選曲・頭出しスイッチから選ぶ

選択されているプレイリスト内でトラックを切り替えることができます。

- 1 、または  を押します。

-  （右側）：次曲を選ぶとき
 （左側）：頭出し・前曲を選ぶとき

トラック切り替えスイッチから選ぶ

- 1 聞きたいトラックにタッチします。

- 選んだトラックを再生します。



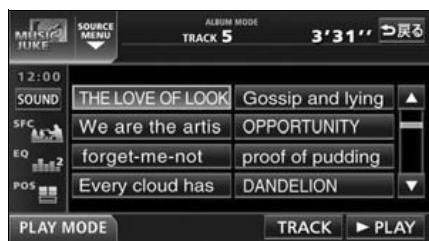
MUSIC JUKE の使い方

プレイモード・プレイリストから聞きたいトラック（曲）を選ぶ

1 再生画面で、 にタッチします。

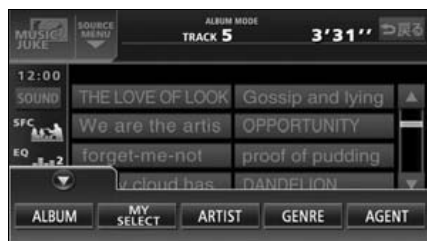


2 **PLAY MODE** にタッチします。



3 再生したいプレイモードにタッチします。

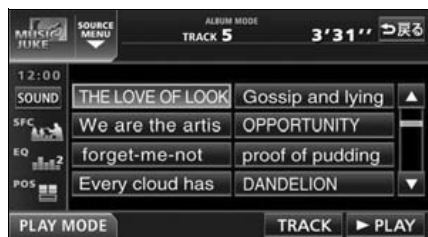
- プレイモードに収録されているプレイリストを表示します。
- アーティストやジャンルのプレイモードを選んだ場合、**ALBUM** にタッチすると、選んだアーティスト名やジャンルが付与されているアルバム名を一覧で表示します。



- 各プレイモードは、プレイリストが作成されていないと選べません。
- 9個以上リストがある場合は  ・  にタッチすると、リストを切り替えることができます。

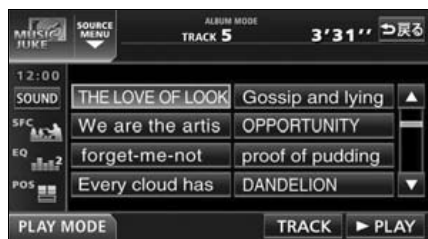
4 再生したいプレイリストにタッチします。

- **▶PLAY** にタッチすると、タッチしたプレイリストの先頭のトラックから再生を開始します。



5 **TRACK** にタッチします。

- 選んだプレイリストに収録されているトラックを一覧で表示します。



6 聞きたいトラックにタッチします。

- 選んだトラックを再生します。



MUSIC JUKE の使い方

“AGENT” から選ぶ

録音したトラック（曲）がメディアクリックデータベースから音楽情報を付与されていると、お好みに合わせて、4つのカテゴリから選曲し、該当する曲が見つかった場合、再生することができます。

MUSIC JUKE AGENT機能はあくまでもイメージ選曲です。実際の内容と異なる場合があります。

● カテゴリの項目とイメージされる内容は下記になります。

カテゴリ	項目	対象となるトラック（曲）
曲イメージ	パワフル	曲のテンポが速く、ムードの明るいイメージの曲
	普通	普通
	静か	曲のテンポが遅く、ムードの暗いイメージの曲
シーン	シティクルーズ	日中のドライブなどをイメージした曲
	ハイウェイクルーズ	旅行など、高速道路を走行するドライブをイメージした曲
	ナイトクルーズ	夜のドライブなどをイメージした曲
年代	～'60	60年代以前にヒットした曲
	'70	70年代にヒットした曲
	'80	80年代にヒットした曲
	'90	90年代にヒットした曲
	'00～	00年代以降にヒットした曲
タイアップ/ イベント	テレビ CM	タイアップ情報のTV番組オープニング、エンディング曲、CMソングなど
	ドラマ ムービー	ドラマ主題歌、挿入歌、映画主題歌、挿入歌など
	ラブソング	歌詞の主題などからLOVEソングとイメージされる曲
	メモリー	クリスマスやバレンタインなど、記念日をイメージされる曲
	メジャーヒット	メジャーヒットした曲

同じカテゴリ内で、複数の項目を選択することはできません。

1 AGENT にタッチします。

● AGENTのカテゴリ選択画面が表示されます。



2 各カテゴリにタッチします。

● 同じカテゴリ内で、複数の項目にタッチすることはできません。



3 ▶PLAY にタッチします。

- 選んだカテゴリに該当する曲を再生します。



早送り・早戻しする

いま聞いているトラック（曲）を早送り・早戻しすることができます。

1 ▶▶、◀◀ を“ピツ”と音がするまで長く押します。

- ▶▶（右側）：トラック（曲）を進めるとき
◀◀（左側）：トラック（曲）を戻すとき
“ピツ”と音がすると早送り（早戻し）モードに切り替わり、スイッチから手を離すまで早送り（早戻し）します。

聞きたいトラック（曲）を探す

プレイリストの中から聞きたい曲を探す

1 機能 にタッチします。

2 SCAN にタッチします。

- 再生中のプレイリスト内、全曲の始めの10秒間だけ順に再生します。もう一度 **SCAN** にタッチすると、その曲で再生を続けます。

プレイモードの中から聞きたいプレイリストを探す

1 機能 にタッチします。

2 PLAYLIST SCAN にタッチします。

- 再生中のプレイモード内、全プレイリストの1曲目に収録されている曲を曲の始めの10秒間だけ順に再生します。もう一度 **PLAYLIST SCAN** にタッチすると、そのプレイリストで再生を続けます。
- AGENTモード時は操作できません。

聞きたいトラック（曲）を繰り返し聞く

いま聞いている曲を繰り返し再生する

1 機能 にタッチします。

2 RPT にタッチします。

- 再生中の曲を繰り返し再生します。
- 一度 **RPT** にタッチすると、解除するまで繰り返しします。もう一度 **RPT** にタッチすると解除されます。

いま聞いているプレイリストを繰り返し再生する

1 機能 にタッチします。

2 PLAYLIST RPT にタッチします。

- 再生中のプレイリスト内の全曲を繰り返しします。
- 一度 **PLAYLIST RPT** にタッチすると、解除するまで繰り返しします。もう一度 **PLAYLIST RPT** にタッチすると解除されます。
- AGENTモード時は操作できません。

MUSIC JUKE の使い方

トラック（曲）の順番をランダムに聞く

いま聞いているプレイリストの中からランダムに再生する

1 **機能** にタッチします。

2 **RAND** にタッチします。

- 再生中のプレイリスト内の全曲でランダム再生します。
- 一度 **RAND** にタッチすると、解除するまでランダム再生します。もう一度 **RAND** にタッチすると解除されます。
- **RAND** にタッチしたときに聞いているプレイリスト※内のトラック（曲）をランダムに再生します。プレイリスト※内の全トラック（曲）の再生が終了しても、同じプレイリスト内のトラック（曲）をランダムに再生します。

※ 選択しているプレイモードがアーティスト/ジャンルの場合、アルバムリスト（ツリー図Aのaグループ）単位で再生します。

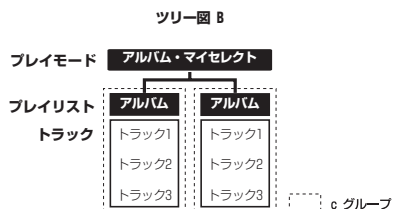
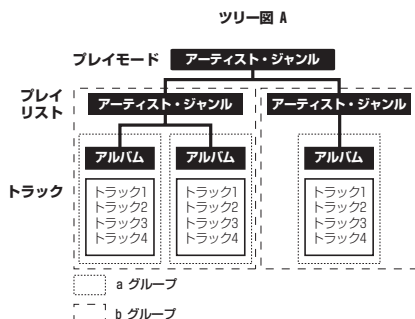
いま聞いているプレイモードの中からランダムに再生する

1 **機能** にタッチします。

2 **PLAYLIST RAND** にタッチします。

- 一度 **PLAYLIST RAND** にタッチすると、解除するまでランダム再生します。もう一度 **PLAYLIST RAND** にタッチすると解除されます。
- AGENT モード時は操作できません。

- アーティスト・ジャンルプレイモードから切り替えた場合：今、聞いているプレイリスト以外のプレイリスト（ツリー図Aのbグループ）をランダムに選び、先頭のアルバム、先頭のトラックから順に再生します。プレイリスト内の全トラック（曲）の再生が終了すると、別のプレイリスト（ツリー図Aのbグループ）をランダムに選び再生します。
- アルバム・マイセレクトプレイモードから切り替えた場合：今、聞いているプレイリスト以外のプレイリスト（ツリー図Bのcグループ）をランダムに選び、先頭のトラックから順に再生します。プレイリスト内の全トラック（曲）の再生が終了すると、別のプレイリスト（ツリー図Bのcグループ）をランダムに選び再生します。



トラック（曲）情報などを表示する

1 **TITLE** にタッチします。

- 再生しているトラックの情報表示中は、**TITLE** が **TITLE OFF** に切り替わり **TITLE OFF** にタッチするとトラック切り替えスイッチに表示が切り替わります。

携帯電話でアルバム情報を見る

2次元バーコード（QRコード）を携帯電話で読み取ると、再生中のプレイリストに関連する携帯サイトへ接続することができます。詳しくは、「携帯電話でアルバム情報を見る」（99 ページ）を参照してください。

MUSIC JUKEを止める

1 オーディオのソースを切り替えます。

- 「ソースの切り替え方」（41 ページ）を参照してください。

2 **OFF** にタッチします。



MUSIC JUKE に記録されているプレイリスト名やトラック名などの表示文字数は、ジャケット写真の表示・非表示により次のようになります。

- ジャケット写真表示時：半角文字では最大28文字、全角文字では最大14文字
- ジャケット写真非表示時：半角文字では最大32文字、全角文字では最大16文字

プレイリストの編集

本機は、MUSIC JUKEに録音すると、アルバム名やアーティスト名などのプレイリストを自動で作成し、グループ分けしますが、お好みのトラック（曲）を集めたオリジナルプレイリストを作成することができます。また、プレイリストの名称の編集やプレイリストの並び替えをすることができます。

- 編集中は音楽の再生を一時停止します。

マイセレクトへのプレイリストの作成

プレイモードのマイセレクトにお好みの曲だけを集めたプレイリストを作成することができます。プレイモードのアーティストに、新しくプレイリストを作成する場合は「**アーティストを変更する**」（170 ページ）を参照してください。

1 **機能** にタッチします。

2 **編集** にタッチします。

- 編集メニュー画面が表示されます。



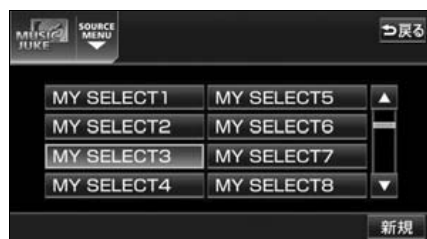
3 **マイセレクトの編集** にタッチします。



- 編集メニュー画面

プレイリスト名を入力する

4 **新規** にタッチします。



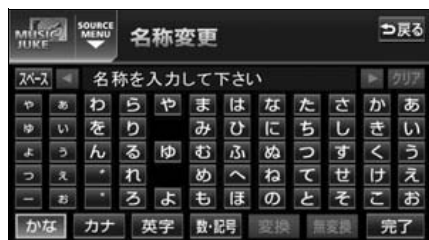
5 **タイトル** にタッチします。

- 文字入力画面が表示されます。



6 タイトルを入力します。

- 名称の入力については、「プレイリストの名称入力」(161 ページ) を参照してください。



7 タイトルを確認し、**完了** にタッチします。

- トラック追加画面を表示します。



プレイリストの編集

作成したプレイリストにトラックを追加する

■トラック追加画面の見方



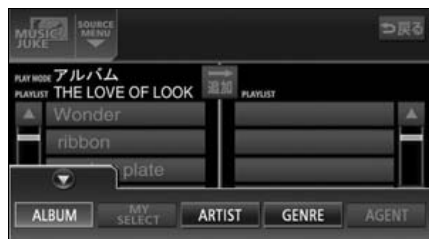
- 現在選ばれているプレイリスト内のトラックを追加する場合は、**13** の操作以降をおこないます。

8 **PLAY MODE** にタッチします。



9 追加したいトラックを検索するためのプレイモードにタッチします。

- プレイモードに収録されているプレイリストを表示します。



10 **ARTIST**、または **GENRE** のプレイモードを選んだときは、アーティスト名、またはジャンルにタッチします。

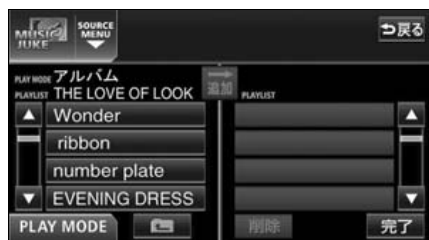
11 追加したいトラックが収録されているプレイリストにタッチします。

- プレイリストに収録されているトラックを表示します。



12 追加したいトラックにタッチします。

- **11** にタッチすると、**11** の画面にもどります。



13 追加 にタッチします。

- 選んだトラックをプレイリストの一番最後に追加します。
- **削除** にタッチすると、プレイリストに追加したトラックを削除することができます。



14 完了 にタッチします。

- **4** の画面にもどります。

プレイリストの名称入力

1 タイトル にタッチします。



2 文字を1文字ずつタッチして入力します。

- ひらがなと漢字以外の文字を入力するときは、**カナ** (カタカナ)、**英字**、**数・記号** (数字・記号) にタッチして、入力画面を切り替えます。
- カナ入力、英字入力、数・記号入力については「カナ、英字、数・記号の入力」(次ページ)を参照してください。
- 間違えた(または入力されている)ときは**クリア** にタッチすると、1つずつ消去されます。



ワンポイント

- 複数のトラックを同時に追加する場合は、追加するトラック全てにタッチしてください。
- 一度選んだトラックにもう一度タッチするとキャンセルすることができます。
- 一度に選ぶことができるトラック数は最大99です。

プレイリストの編集

- 3 ひらがなのときは、**無変換**、漢字のときは、**変換** にタッチします。



- 4 **変換** にタッチしたときは、変換する熟語リストで、入力する熟語にタッチします。

- 変換する文字の範囲を変更するときは、**◀**・**▶** にタッチして、範囲を変更し、再度 **変換** にタッチします。



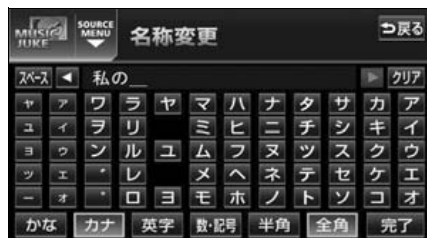
- 5 **完了** にタッチします。

カナ、英字、数・記号の入力

- 1 **カナ**、**英字**、**数・記号** にタッチします。

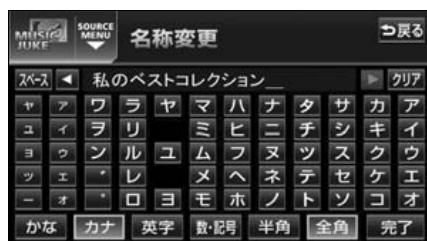
- 2 **半角**、または **全角** にタッチして、入力する文字の大きさを切り替えます。

- **▲前** **▼次** が表示されているときは、タッチするとページを切り替えることができます。



- 3 文字を1文字ずつタッチして入力します。

- 間違えた（または入力されている）ときは **クリア** にタッチすると、1つずつ消去されます。



- 4 **完了** にタッチします。



入力することができる文字数は最大16文字（半角文字は32文字）までです。

プレイリスト名称の編集

プレイモードのアルバム、またはマイセレクトに登録されているプレイリストを編集することができます。

1 **機能** にタッチします。

2 **編集** にタッチします。

- 編集メニュー画面が表示されます。



3 **名称編集** にタッチします。

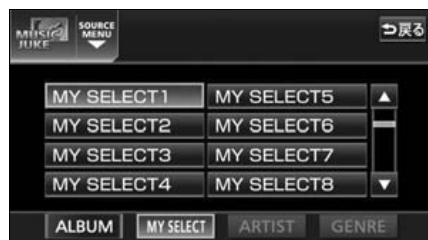


4 **プレイリストの編集** にタッチします。



5 **ALBUM**、または **MY SELECT** にタッチします。

6 編集したいプレイリストにタッチします。



7 **タイトル** にタッチします。

- 文字入力画面が表示されます。



8 タイトルを入力します。

- 名称の入力については、「プレイリストの名称入力」(161 ページ) を参照してください。



プレイリストの編集

- 9** タイトルを確認し、**完了** にタッチします。



ジャケット写真の表示を設定する

音楽CDやトラック（曲）を再生するときに該当するジャケット写真を表示します。

- 1** ジャケット写真の表示の **ON**、または **OFF** にタッチします。
- **OFF** にタッチすると、音楽CD再生中もジャケット写真は表示されません。
- 有効期限が切れたジャケット写真は表示されません。



タイトル情報の再取得

デジタル録音時にタイトル情報が付与できなかった場合や、間違ったタイトルが付与された場合など、再度、本機のデータベースを検索し、該当する情報を付与することができます。

- 1** **機能** にタッチします。

- 2** **編集** にタッチします。

- 編集メニュー画面が表示されます。



- 3** **名称編集** にタッチします。



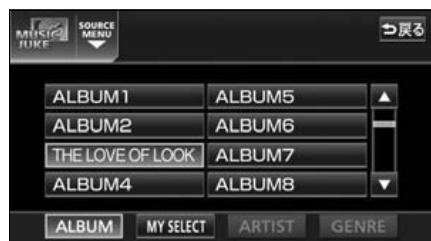
ジャケット写真の表示設定は、ALBUM プレイモードを選択しているときのみ操作することができます。

4 プレイリストの編集 にタッチします。



5 ALBUM にタッチします。

6 編集したいプレイリストにタッチします。



7 タイトル取得 にタッチします。

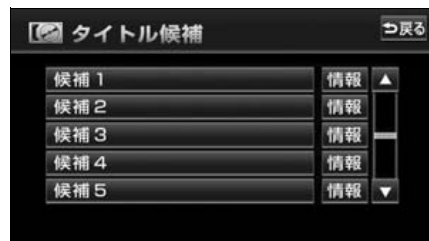
- 該当するタイトル情報を取得後、直前の画面にもどります。



■複数のタイトル情報が存在する場合

8 該当するタイトルにタッチします。

- 最大10タイトルまで表示します。
- 戻る にタッチすると、タイトルを取得せず、直前の画面にもどります。
- 情報 にタッチすると、タイトルに含まれているトラック (曲) タイトルを一覧で表示します。確認後、決定 にタッチすると、タイトル情報を取得し、7 の画面にもどります。



プレイリストの編集

プレイリストの並び替え

プレイリストやトラックは、録音した順に表示され、再生されます。プレイリストの表示を並び替えることで、再生する順を任意に変更することができます。

- プレイリストは、MUSIC JUKE設定画面の「表示並び替え」がONに設定されていないと並び替えできません。「表示並び替え」をONに設定する場合は、「作成した順番に並び替える」(下記)の手順で「表示並び替え」の **ON** にタッチしてください。

お好みに合わせて並び替える

- 1 MUSIC JUKE操作画面で、 にタッチします。



- 1 **機能** にタッチします。



- 2 **設定** にタッチします。

- MUSIC JUKE設定画面が表示されます。



- 2 **PLAY MODE** にタッチします。

- 3 選きたいプレイモードにタッチします。

- 4 選きたいプレイリストにタッチします。

- 5 **▶PLAY** にタッチします。

- 選んだプレイリスト内のトラックを再生し、プレイリストがリストの上段にきます。

作成した順番に並び替える

お好みに合わせて並び替えたプレイリストを作成(録音)した順番に戻すことができます。

- 3 表示並び替えの **デフォルト** にタッチします。

- 作成(録音)した順番にプレイリストを並び替えます。



プレイリストの削除

プレイモードのALBUMまたはMY SELECTに登録されているプレイリストを消去することができます。選択したプレイモードにより、消去されるデータが違います。

選択したプレイモード	消去されるデータ
ALBUM	選択したプレイリストおよびトラック（曲データ）は消去されますので、他のプレイモードからも検索することができなくなります。
MY SELECT	選択したプレイリストは消去されますが、トラック（曲データ）は消去されませんので、他のプレイモードから検索することができます。

1 **機能** にタッチします。

2 **編集** にタッチします。

● 編集メニュー画面が表示されます。



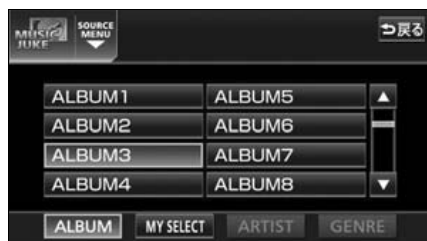
3 **削除** にタッチします。



4 **プレイリストの削除** にタッチします。



5 **ALBUM**、または **MY SELECT** にタッチします。



6 プレイリストにタッチします。

● 消去確認画面が表示されます。

7 **YES** にタッチします。



ワンポイント

ARTISTおよびGENREのプレイリストは、該当するトラック（曲データ）が全て消去されると、プレイリストも自動で削除されます。

トラックの編集

トラック情報の編集を行います。録音したトラックのアーティスト名やジャンルを設定すると、トラックを検索する時、アーティスト名やジャンルからも探し出すことができます。

- 編集中は音楽の再生を一時停止します。

トラック情報の編集

アーティスト名やアルバム名、トラックのタイトル、ジャンルを変更することができます。

トラック編集画面の呼び出し

- 1 **機能** にタッチします。

- 2 **編集** にタッチします。

- 編集メニュー画面が表示されます。



- 3 **名称編集** にタッチします。



- 4 **トラックの編集** にタッチします。

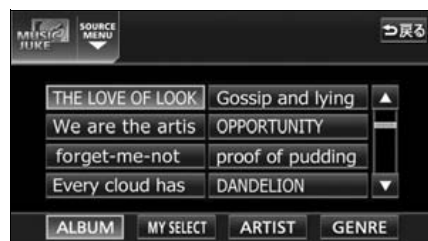


- 5 プレイモードを選びます。

- プレイリストを、プレイモードごとに並べ替えて表示します。

- 6 **ARTIST**、または **GENRE** のプレイモードを選んだときは、アーティスト名、またはジャンルにタッチします。

- 7 編集したいプレイリストにタッチします。



ワンポイント

AGENTのカテゴリを変更することはできません。

8 編集したいトラックにタッチします。

- トラック編集画面が表示されます。



トラックタイトルを変更する

1 トラック編集画面で、**タイトル** にタッチします。

- 文字入力画面が表示されます。



- トラック編集画面

2 タイトルを入力します。

- 名称の入力については、「**プレイリストの名称入力**」(161 ページ)を参照してください。



トラックの編集

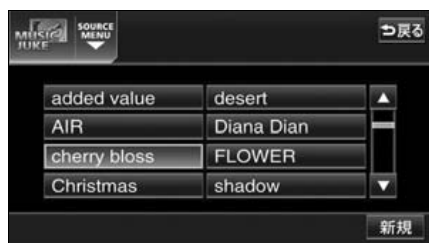
アーティストを変更する

1 **アーティスト** にタッチします。

- 登録アーティスト一覧画面が表示されます。



2 選びたいアーティスト名にタッチします。



- **新規** にタッチすると、新しくアーティストを登録することができます。アーティスト名の入力については、「**プレイリストの名称入力**」(161 ページ) を参照してください。

ジャンルを変更する

1 **ジャンル** にタッチします。

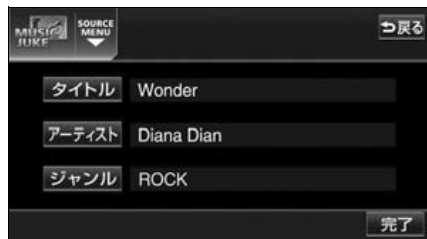


2 ジャンルにタッチします。

- **OTHER** にタッチすると、ジャンルを設定せずに登録することができます。



3 **完了** にタッチします。



▲・▼ にタッチすると、リストを切り替えて表示することができます。

トラックの消去

録音したトラックを消去することができます。

選択したプレイモード（プレイリスト）やトラックにより、消去されるデータが違います。

選択したプレイモード	選択したトラック	消去されるデータ
MY SELECT内の プレイリスト	リスト内のトラック	選択したプレイリスト内の登録を消去します。トラック（曲データ）は消去されませんので、他のプレイモード、プレイリストから検索することができます。
	リスト内の 残り1つのトラック	選択したプレイリストは消去されます。トラック（曲データ）は消去されませんので、他のプレイモード、プレイリストから検索することができます。
MY SELECT以外の プレイリスト	リスト内のトラック	選択したトラック（曲データ）を消去します。他のプレイモード、プレイリストからも検索することができません。
	リスト内の 残り1つのトラック	選択したプレイリストおよびトラック（曲データ）を消去します。他のプレイモード、プレイリストからも検索することができません。

1 **機能** にタッチします。

2 **編集** にタッチします。

● 編集メニュー画面が表示されます。



3 **削除** にタッチします。



4 **トラックの削除** にタッチします。



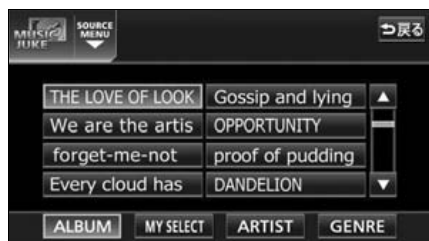
トラックの編集

5 プレイモードを選びます。

- プレイリストを、プレイモードごとに並べ替えて表示します。

6 **ARTIST**、または **GENRE** のプレイモードを選んだときは、アーティスト名、またはジャンルにタッチします。

7 削除したいトラックが収録されているプレイリストにタッチします。



8 削除したいトラックにタッチします。



9 **削除** にタッチします。

- 消去確認画面が表示されます。

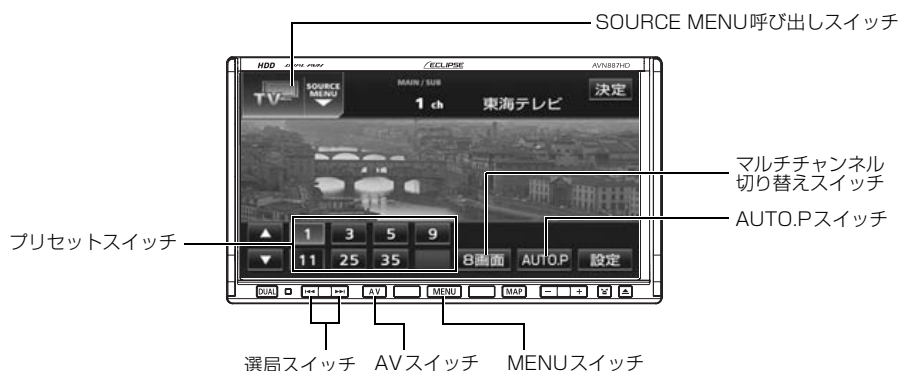
10 **YES** にタッチします。



- 複数のトラックを同時に削除する場合は、削除するトラック全てにタッチしてください。
- 一度選んだトラックにもう一度タッチするとキャンセルすることができます。

TVの使い方

エンジンスイッチがONまたはACCで、さらに安全上の配慮から車を完全に停止し、パーキングブレーキをかけた場合のみTVをご覧になることができます。(走行中にソースをTVに切り替えた場合、音声のみになります。)



TVを見る

1 オーディオのソースを切り替えます。

- 「ソースの切り替え方」(41 ページ) を参照してください。

2 **TV** にタッチします。

- TV 操作画面になります。
- **決定** にタッチすると全画面になります。TV 操作画面にしたいときは、**AV** を押す、または画面にタッチします。

見たいチャンネルを選ぶ

手動で選ぶ

1 **▶▶**、**◀◀** を押す、または **▲**、**▼** にタッチします。

- 押すごとに 1 ステップずつチャンネルが UP/DOWN します。

▶▶ (右側) **▲** (上側):
チャンネルUP (大きくなる)

◀◀ (左側) **▼** (下側):
チャンネルDOWN (小さくなる)



- 別売の後席用モニターを接続すると、走行中でも後席でTVをご覧になることができます。
- TV 操作画面に切り替えたとき、各タッチスイッチは約6秒間表示されます。**AV** を押す、または画面にタッチすると再度、表示します。
- 地上アナログTV放送は2011年7月に終了し、地上デジタルTV放送に移行します。2011年7月以降は、内蔵のワンセグチューナ※1、または同梱の地上デジタルTVチューナ※2でTV放送をご覧ください。
※1 AVN887HD・AVN777HDのみ
※2 AVN757HDTVのみ

2011年 アナログテレビ
放送終了(国産)

TV の使い方

自動で選ぶ

- 1 、 を“ピッ”と音がするまで押す、または 、 に“ピッ”と音がするまでタッチします。
- 現在、受信しているチャンネルに一番近い放送局を、自動的に選局して受信したところで止まります。途中で止めたいときはもう一度押すと解除されます。

プリセットスイッチから選ぶ

- 1 記憶されているプリセットスイッチにタッチします。
- チャンネルの記憶方法は「チャンネルを記憶する」(下記)を参照してください。
- 2 **決定** にタッチします。
- 放送局受信画面に切り替わります。

チャンネルを記憶する

プリセットスイッチにチャンネルを記憶させるにはマニュアル(手動)とAUTO.P(自動)の2つのモードがあり、別々に記憶させることができます。

マニュアル(手動)で記憶する

- “AUTO.P”、または“AREA.P”が画面表示されていないことを確認します。
- “AUTO.P”が表示されているときは **AUTO.P** にタッチし、“AREA.P”が表示されているときは **エリア** (176 ページ参照) にタッチすると、表示が消えてマニュアルに切り替わります。

- 1 手動選局、または自動選局で記憶させたい放送局を選びます。
- 2 記憶させたいプリセットスイッチを“ピーッ”と音がするまでタッチします。
- チャンネルが記憶されます。プリセットスイッチにタッチして選局できるようになります。

AUTO.P(自動)で記憶する

- 1 **AUTO.P** を“ピーッ”と音がするまでタッチします。
- AUTO.P が点滅し自動的に選局を始めます。“ピッピッ”と音がすると自動選局が終了し、一時的に記憶されます。
- 受信感度の良いチャンネルを小さい順に8局まで自動的に記憶します。
- もう一度、**AUTO.P** にタッチすると、マニュアルで記憶したチャンネルに表示が切り替わります。

AUTO.Pで記憶したチャンネルを変更する

- 1 手動選局、または自動選局で記憶させたいチャンネルを選びます。
- 2 記憶させたいプリセットスイッチを“ピーッ”と音がするまでタッチします。



ワンポイント

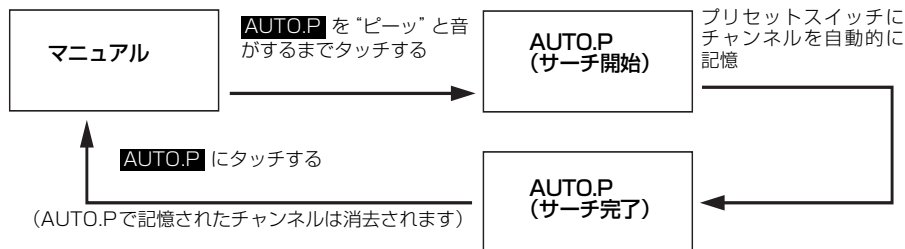
- 受信電波の弱い地域では自動受信ができないことがあります。
- 同じ放送局からの受信でも、選局スイッチで記憶したチャンネルとAUTO.Pスイッチで記憶したチャンネルは一致しないことがあります。
- AUTO.P スイッチを同じ場所で繰り返し操作しても、受信電波の状態により、記憶されるチャンネルが異なることがあります。
- 受信できたチャンネルが8局未満のとき、残りのプリセットスイッチには何も記憶されません。

—AUTO.Pについて—

AUTO.P は一時的にプリセットスイッチに記憶させる機能のため、AUTO.P を使用してもマニュアルで記憶させたチャンネルは記憶されています。

ふだんご覧になるチャンネルをマニュアルで記憶しておけば、旅先などでAUTO.P を使用してもマニュアルで記憶したチャンネルは呼び出すことができます。

AUTO.P 動作中または動作後に **AUTO.P** にタッチすると、プリセットメモリーはAUTO.P 動作前の状態にもどります。(このときAUTO.P で記憶したチャンネルは消去されます。) AUTO.P からマニュアルへの切り替えは下記になります。



マルチチャンネルビューを表示する

プリセットスイッチに記憶されている放送局を最大8画面に分割して、同時に表示することができます。現在、放送されている複数の番組を確認しながら、お好みの番組を選ぶことができます。

1 8画面 にタッチします。



- プリセットスイッチに記憶されている番組を順に受信して、並べて（最大8 画面）表示します。
- **戻る** にタッチすると1 画面にもどります。
- 各表示画面は順次動画、静止画の順に切り替わります。
- **○○○**（放送局）にタッチすると全画面になります。



- **8画面** にタッチしてからプリセットスイッチに記憶されている番組をすべて表示するまで音声は聞こえません。すべて表示したあと動画の音声は聞こえます。
- 受信できなかった放送局は画面に表示されません。

TV の使い方

TV 設定画面の切り替え

ソースがTVのとき、TV 設定画面に切り替えると下記の操作ができます。

- 機能スイッチの表示
 - ・ エリアプリセット
 - ・ 音声多重放送の切り替え
 - ・ 画面モード（ワイドモード）の切り替え
- SFC、EQ、POS などの音質調整
- マニュアルでのチャンネルの記憶

1 **設定** にタッチします。

- エリアプリセットや音声多重放送の切り替え操作などをおこなうことができます。
- **戻る** にタッチするとTV操作画面にもどります。



エリアスイッチについて

自分のいる地域の放送局のチャンネルがわからないときに、その地域のチャンネルを表示・選局することができます。

1 **機能** にタッチします。

2 **エリア** にタッチします。

- “AREA.P” の表示とともにその地域で放送されている放送局名とチャンネルが表示されます。
- 放送局を選ぶときは、表示されているプリセットスイッチにタッチします。
- もう一度 **エリア** にタッチすると、もとの記憶されていた放送局に表示が切り替わります。



- TV 設定画面でチャンネルをマニュアルで記憶すると、TV 画面に切り替わりますので連続して記憶できません。
- 放送を受信できても、放送局名を表示できない地域があります。

局名スイッチについて

複数の放送局が同じチャンネルを使って放送している地域では、重複している放送局を切り替えることができます。

- 重複している放送局がある場合、局名重複インジケータが表示されます。

1 **機能** にタッチします。

2 **局名** にタッチします。

- 重複した放送局名が切り替わります。

局名重複インジケータ

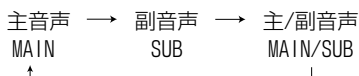


音声多重放送を切り替える

音声多重放送を受信しているときは、主音声と副音声を切り替えて聞くことができます。

1 **機能** にタッチします。

2 **主/副** にタッチするごとに、下図の順に切り替わります。



ワンポイント

2ヶ国語放送を受信したときは、が表示され主音声や副音声切り替えて聞くことができます。

TV の使い方

TV を終わる

1 オーディオのソースを切り替えます。

- 「ソースの切り替え方」(41 ページ) を参照してください。

2 **OFF** にタッチします。



ワンポイント

地上デジタルTV放送では、デジタルTV放送用のチャンネルが必要なため、一部地域においてUHF放送のチャンネル変更が行われています。

そのため、エリアスイッチで受信放送局表示をさせた場合に、以下の現象が起こる可能性があります。

- チャンネルと放送局名が一致しない。
- プリセットスイッチを操作したとき、記憶させた放送局が受信できない。
- プリセットスイッチを操作して受信したとき、放送局名が表示できない。

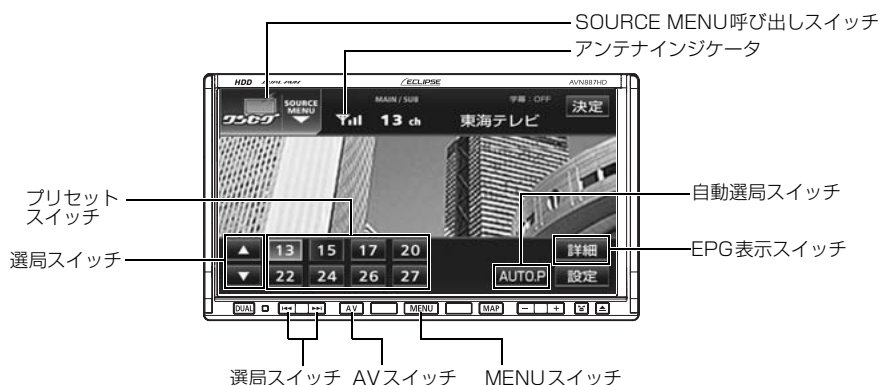
このような現象は、チャンネル変更によって生じた現象で、機器の故障・不具合ではありません。

これらの場合は、AUTO.P スイッチ (174 ページ参照) や選局スイッチ (173 ページ参照) でもう一度ご希望のチャンネルの設定を行ってください。

ワンセグの使い方

AVN887HD・AVN777HDのみで使用になります。

エンジンスイッチがONまたはACCで、さらに安全上の配慮から車を完全に停止し、パーキングブレーキをかけた場合のみワンセグ放送をご覧になることができます。(走行中にソースをワンセグに切り替えた場合、音声のみになります。)



ワンセグを見る

1 オーディオのソースを切り替えます。

- 「ソースの切り替え方」(41 ページ) を参照してください。

2 ワンセグ にタッチします。

- ワンセグ操作画面になります。
- **決定** にタッチすると全画面になります。ワンセグ操作画面にしたいときは、**AV** を押す、または画面にタッチします。



ワンポイント

- 別売の後席用モニターを接続すると、走行中でも後席でワンセグ放送をご覧になることができます。(後席用モニターに表示されないコンテンツもあります。)
- ワンセグ操作画面に切り替えたとき、各タッチスイッチは約6秒間表示されます。**AV** を押す、または画面にタッチすると再度、表示します。
- ワンセグ操作画面で **決定** にタッチしたとき、全画面で表示される放送と 4 : 3 画面 (画面の左右両端が黒表示) で表示される放送があります。
- 本機は双方向通信やデータ放送に対応していません。
- アンテナインジケータは、放送電波の受信レベルを表します。電波の状態によって以下のように表示されます。



弱 ← → 強

電波の受信レベルが弱くなると、画面が静止して音が出なくなることがあります。

- アンテナインジケータの受信レベルは目安です。受信レベルが弱くても映像が受信できたり、強くても映像が静止したり音声がとぎれる場合があります。

ワンセグの使い方

見たいチャンネルを選ぶ

手動で選ぶ

- 1 、 を押す、または 、 にタッチします。
- 押すごとに 1 ステップずつチャンネルが UP/DOWN します。
 (右側)  (上側) :
 チャンネルUP (大きくなる)
 (左側)  (下側) :
 チャンネルDOWN (小さくなる)

自動で選ぶ

- 1 、 を“ピッ”と音がするまで押す、または 、 に“ピッ”と音がするまでタッチします。
- 現在、受信しているチャンネルに一番近い放送局を、自動的に選局して受信したところで止まります。途中で止めたいときはもう一度押すと解除されます。
- 受信電波の弱い地域では、自動選局できないことがあります。

プリセットスイッチから選ぶ

- 1 記憶されているプリセットスイッチにタッチします。
- チャンネルの記憶方法は「チャンネルを記憶する」(次ページ)を参照してください。
- 2 **決定** にタッチします。
- 放送局受信画面に切り替わります。



ワンポイント

- AUTO.Pは、受信電波の弱い地域では自動受信できなかったり、電波の状態によって最大で3分程度かかることがあります。
- 同じ放送局からの受信でも、選局スイッチで記憶したチャンネルとAUTO.Pスイッチで記憶したチャンネルは一致しないことがあります。
- AUTO.P スwitchを同じ場所で繰り返し操作しても、受信電波の状態により、記憶されるチャンネルが異なったり、放送局名が表示されない場合があります。
- AUTO.Pで自動受信をした場合、地上アナログTV放送の電波などを受信することがあります。
- 受信できたチャンネルが8局未満のとき、残りのプリセットスイッチには何も記憶されません。

チャンネルを記憶する

プリセットスイッチにチャンネルを記憶させるにはマニュアル（手動）とAUTO.P（自動）の2つのモードがあり、別々に記憶させることができます。

マニュアル（手動）で記憶する

“AUTO.P” が画面表示されていないことを確認します。

- 表示されているときは **AUTO.P** にタッチすると、表示が消えてマニュアルに切り替わります。

1 手動選局、または自動選局で記憶させたいチャンネルを選びます。

2 記憶させたいプリセットスイッチを“ピーツ”と音がするまでタッチします。

- チャンネルが記憶されます。プリセットスイッチにタッチして選局できるようになります。

AUTO.P（自動）で記憶する

1 **AUTO.P** を“ピーツ”と音がするまでタッチします。

- AUTO.P が点滅し、自動で選局を始めます。“ピッピツ”と音がすると自動選局が終了し一時的に記憶されます。
- 受信感度の良いチャンネルを小さい順に8局まで自動的に記憶します。
- もう一度、**AUTO.P** にタッチすると、マニュアルで記憶したチャンネルに表示が切り替わります。

AUTO.Pで記憶したチャンネルを変更する

1 手動選局、または自動選局で記憶させたいチャンネルを選びます。

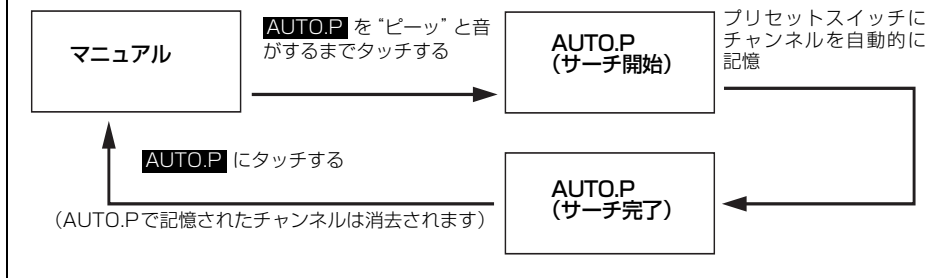
2 記憶させたいプリセットスイッチを“ピーツ”と音がするまでタッチします。

AUTO.P について

AUTO.P は一時的にプリセットスイッチに記憶させる機能のため、AUTO.P を使用してもマニュアルで記憶させたチャンネルは記憶されています。

ふだんご覧になるチャンネルをマニュアルで記憶しておけば、旅先などでAUTO.P を使用してもマニュアルで記憶したチャンネルは呼び出すことができます。

AUTO.P 動作中または動作後に **AUTO.P** にタッチすると、プリセットメモリーはAUTO.P 動作前の状態にもどります。（このときAUTO.P で記憶したチャンネルは消去されます。）AUTO.P からマニュアルへの切り替えは下記になります。



ワンセグの使い方

ワンセグ設定画面の切り替え

ソースがワンセグのとき、ワンセグ設定画面に切り替えると下記の操作ができます。

- 機能スイッチの表示
 - ・音声多重放送の切り替え
 - ・字幕の切り替え
- SFC、EQ、POSなどの音質調整
- マニュアルでのチャンネルの記憶

1 設定 にタッチします。

- 音声多重放送や字幕の切り替え操作などをおこなうことができます。
- **戻る** にタッチするとワンセグ操作画面にもどります。



音声多重放送を切り替える

音声多重放送を受信しているときは、主音声と副音声を切り替えて聞くことができます。

1 機能 にタッチします。

2 主/副 にタッチすることにより、下図の順に切り替わります。



ワンポイント

- ワンセグ設定画面でチャンネルをマニュアルで記憶すると、ワンセグ映像画面に切り替わりますので連続して記憶できません。
- 音声多重放送を受信したときは、**音多** が表示され主音声や副音声を切り替えて聞くことができます。

字幕を切り替える

ご覧になっている番組が字幕を提供しているときは、お好みに合わせて字幕を切り替えることができます。

1 **機能** にタッチします。

2 **字幕** をタッチすることにより、下図の順に切り替わります。

字幕：OFF → 字幕：1 → 字幕：2
↑



緊急警報放送を受信したときは

緊急警報放送(EWS:Emergency Warning System)は、緊急警報信号を送信し、地震や津波などの情報をお知らせする放送です。緊急警報放送は、警戒宣言、津波警報、知事からの要請があったときに放送されます。

緊急警報放送を受信した場合、自動で放送内容が表示されます。放送が終了すると、自動的にもとのサービスにもどります。

EPG（電子番組表）を見る

EPGとは放送局が提供する、画面上で見ることができるテレビ番組表です。画面上で簡単に、見たい番組を探することができます。

1 **詳細** にタッチします。

- 番組タイトル画面が表示されます。
- **戻る** にタッチすると、直前の画面にもどります。



- 番組タイトル画面

ワンセグを終わる

1 オーディオのソースを切り替えます。

- 「ソースの切り替え方」(41 ページ) を参照してください。

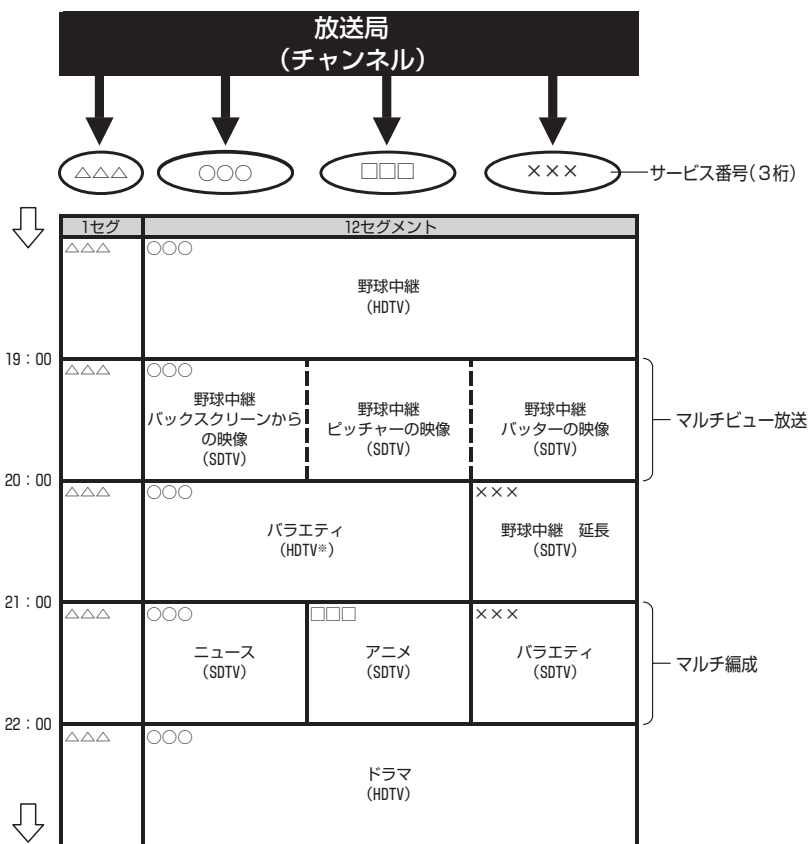
2 **OFF** にタッチします。

DTVをお使いになる前に

AVN757HDTVのみで使用になります。AVN887HDおよびAVN777HDは、別売の「地上デジタルTVチューナ」が必要になります。

地上デジタルTV放送は、1つのチャンネルが13の「セグメント」という単位で分割されています。一般的に、地上デジタルTV放送は12セグメントを使用した、ハイビジョン映像（HDTV）や標準映像（SDTV）の放送を指します。1セグメントはワンセグ放送と呼ばれる携帯端末向けの放送に使用されます。

標準映像の番組は4セグメントを使用するため、最大で3つの番組を同時に提供するマルチ編成や、1つの番組で最大で3つの映像を提供するマルチビュー放送をおこなうことができます。



※ 標準映像の番組も同時に放送しているため、12セグメントを使用したハイビジョン映像より低画質となります。

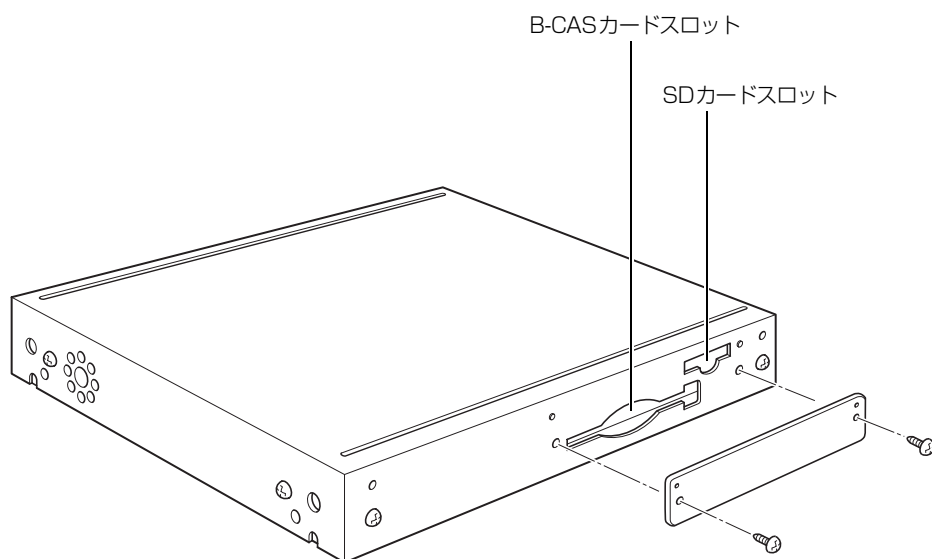


- ワンセグ放送のサービス番号は、611～728に割り当てられています。
- ワンセグ放送は、テレビ放送事業者（放送局）などにより提供されるサービスです。

ワンセグ

各部の名称について

■地上デジタルTVチューナ（DTVチューナ）

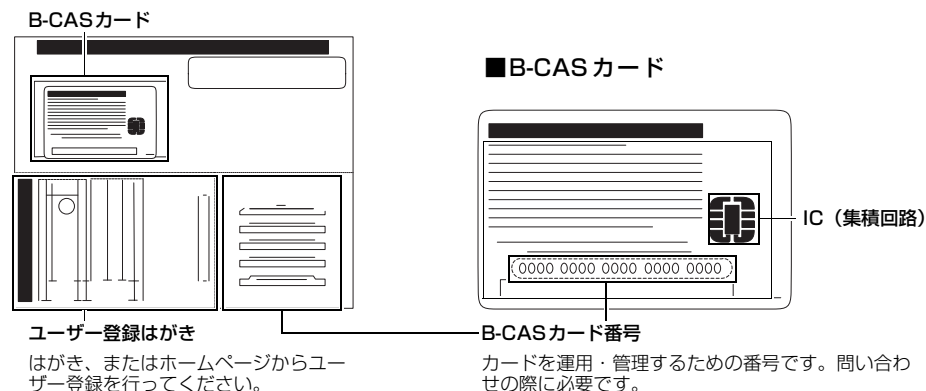


SDカードは本機のバージョンアップのときに使用します。

DTV をお使いになる前に

B-CASカードについて

B-CASカードは、デジタル放送の番組の著作権保護などに利用するカードです。地上デジタルTV放送を受信するときは、必ずB-CASカードを本機に差し込んでください。B-CASカードの動作確認については「**B-CASカードの動作確認**」(212 ページ)を参照してください。



取り扱いについての注意

- 使用許諾契約約款をお読みのうえ、使用者ご自身でパッケージを開封し、カードを機器に正しく差し込んでください。
- B-CASカードの説明書をよくお読みのうえ、お使いください。
- 使用許諾契約約款をお読みのうえ、お使いください。
- 地上デジタルTV放送を視聴するには、B-CASカードが必要です。
- 重いものをのせないでください。
- 水をかけたり、濡れた手で触らないでください。
- IC (集積回路) 部には手を触れないでください。
- 分解、改造はしないでください。
- 折り曲げたり、変形させたりしないでください。
- 高温になるところにカードを放置しないでください。
- バス・タクシーなど、不特定または多数の人の視聴を目的とした業務用途には使用できません。

より詳しい情報は、<http://www.b-cas.co.jp>をご覧ください。

B-CASカードの破棄について

B-CASカードの所有権は(株)ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズにあります。本機を破棄するなど、B-CASカードが必要なくなったときは(株)ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズ カスタマーセンターに連絡して返却手続きをしてください。

電話番号 0570-000-250

受付時間 AM10:00～PM8:00 (年中無休)

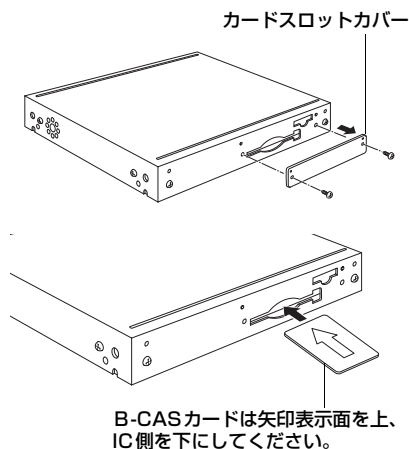
B-CASカードを差し込む

1 カードスロットカバーを取りはずします。

2 B-CASカードスロットにB-CASカードを差し込みます。

3 カードスロットカバーを取り付けます。

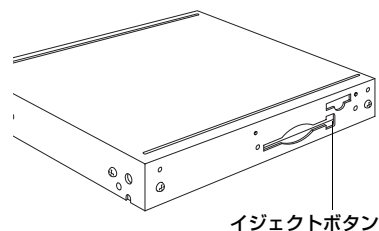
- B-CASカードを差し込んだ後、正常に作動しているか必ず確認してください。詳しくは、「**B-CASカードの動作確認**」(212 ページ) を参照してください。



B-CASカードを取り出す

1 車のエンジンを切り、ACCオフにします。

2 イジェクトボタンを押し、ゆっくりとB-CASカードを抜きます。



初回起動時の設定

本機を初めてご使用になる際は、下記の設定をする必要があります。

- 居住地域の設定 ……207 ページ参照
- アンテナの設定 ……209 ページ参照



- B-CASカード以外のものを差し込まないでください。故障や破損の原因となります。
- ご使用中はB-CASカードを抜き差ししないでください。視聴できなくなる場合があります。

DTVの使い方

エンジンスイッチがONまたはACCで、さらに安全上の配慮から車を完全に停止し、パーキングブレーキをかけた場合のみ、地上デジタルTV放送をご覧になることができます。(走行中にソースをDTVに切り替えた場合、音声のみになります。)



DTV（地上デジタルTV放送）を見る

1 オーディオのソースを切り替えます。

- 「ソースの切り替え方」（41 ページ）を参照してください。

2 **DTV** にタッチします。

- DTV画面になります。
- **決定** にタッチすると全画面になります。
DTV操作画面にしたいときは、**AV** を押します。



ワンポイント

- 別売の後席用モニターを接続すると、走行中でも後席で地上デジタルTV放送をご覧になることができます。
- DTV操作画面に切り替えたとき、各タッチスイッチは約6秒間表示されます。
AV を押すと再度、表示します。
- 電波の受信状態が悪くなった場合、画面が静止して音が出なくなることがあります。
- 本機はハイビジョン放送の受信は可能ですが、表示は標準映像となります。
- 地上デジタルTV放送では、5.1chをAAC方式で圧縮した番組（AAC5.1ch放送）を放送している場合があります。本機は AAC 5.1ch 放送には対応していません。AAC 5.1ch放送を受信した場合、2ch再生となります。
- 本機は双方向通信に対応していません。

見たいチャンネルを選ぶ

手動で選ぶ

- 1** 、 を押す、または 、 にタッチします。

- 押すごとに 1 ステップずつチャンネルが UP/DOWN します。

(右側) (上側) :
チャンネルUP (大きくなる)

(左側) (下側) :
チャンネルDOWN (小さくなる)

自動で選ぶ

- 1** 、 を“ピッ”と音がするまで押す、または 、 に“ピッ”と音がするまでタッチします。

- 受信中のチャンネルに一番近い放送局を、自動で選局します。途中で止めたいときは、もう一度押すと解除されます。
- 受信電波の弱い地域では、自動選局できないことがあります。

プリセットスイッチから選ぶ

- 1** 記憶されているプリセットスイッチにタッチします。

- チャンネルの記憶方法は「チャンネルを記憶する」(次ページ)を参照してください。

- 2** **決定** にタッチします。

- 放送局受信画面に切り替わります。

見たい番組を選ぶ

切換 から選ぶ

- 1** **切換** にタッチして見たい番組を選びます。

- 同じ放送局で放送している複数の番組(サービス)を切り替えることができます。

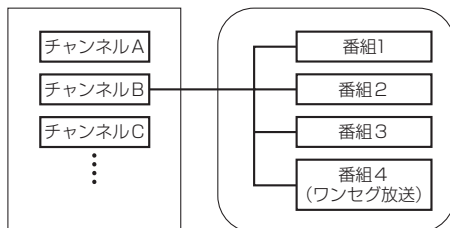


ワンポイント

- 地上デジタルTV放送は1つのチャンネル(放送局)で複数の番組(サービス)を同時に放送することができます。違うチャンネルの番組に切り替えたい場合、チャンネルを選択した後、番組を切り替えてください。
- 1つのチャンネルで、同じ番組を放送している場合があります。

チャンネル(放送局)選択

番組選択



DTV の使い方

番組切替画面から選ぶ

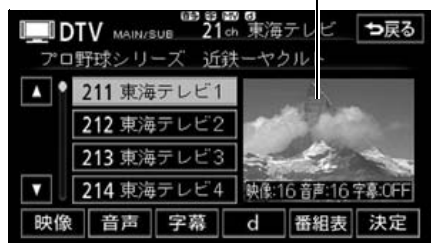
1 **番組** にタッチします。

- 番組切替画面が表示されます。

2 見たい番組にタッチします。

- プレビュー画面にタッチした番組が表示されます。

プレビュー画面



3 **決定** にタッチします。

- 放送局受信画面が表示されます。

チャンネルを記憶する

プリセットスイッチにチャンネルを記憶させるにはマニュアル（手動）とAUTO.P（自動）の2つのモードがあり、別々に記憶させることができます。

マニュアル（手動）で記憶する

“AUTO.P”、または“AREA.P”が画面表示されていないことを確認します。

- “AUTO.P”が表示されているときは **AUTO.P** にタッチし、“AREA.P”が表示されているときは **エリア**（192 ページ参照）にタッチすると、表示が消えてマニュアルに切り替わります。

1 手動選局、または自動選局で記憶させたいチャンネルを選びます。

2 記憶させたいプリセットスイッチを“ピーッ”と音がするまでタッチします。

- チャンネルが記憶されます。プリセットスイッチにタッチして選局できるようになります。



- ワンセグ放送のサービス番号は、611～728に割り当てられています。
- ご覧になっているチャンネルがワンセグ放送をおこなっていない場合、ワンセグ放送に切り替えることができません。
- ワンセグ自動切り替えが **する** に設定されている場合、通常の地上デジタルTV放送が受信可能なときは、ワンセグ放送に切り替えても自動で通常の地上デジタルTV放送にもどります。（210 ページ参照）

AUTO.P（自動）で記憶する

1 **AUTO.P** を“ピーツ”と音がするまでタッチします。

- AUTO.P が点滅し、自動で選局を始めます。“ピーツ”と音がすると自動選局が終了し、一時的に記憶されます。
- 受信感度の良いチャンネルを小さい順に8局まで自動的に記憶します。
- もう一度、**AUTO.P** にタッチすると、マニュアルで記憶したチャンネルに表示が切り替わります。

AUTO.Pで記憶したチャンネルを変更する

1 手動選局、または自動選局で記憶させたい放送局を選びます。

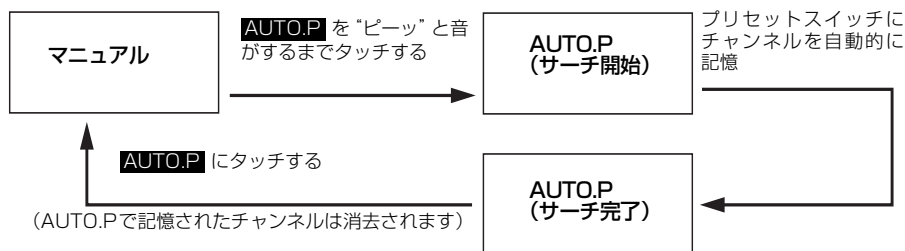
2 記憶させたいプリセットスイッチを“ピーツ”と音がするまでタッチします。

AUTO.P について

AUTO.P は一時的にプリセットスイッチに記憶させる機能のため、AUTO.P を使用してもマニュアルで記憶させたチャンネルは記憶されています。

ふだんご覧になるチャンネルをマニュアルで記憶しておけば、旅先などでAUTO.P を使用してもマニュアルで記憶したチャンネルは呼び出すことができます。

AUTO.P 動作中または動作後に **AUTO.P** にタッチすると、プリセットメモリーはAUTO.P 動作前の状態にもどります。（このときAUTO.P で記憶したチャンネルは消去されます。）AUTO.P からマニュアルへの切り替えは下記になります。



ワンポイント

- 受信電波の弱い地域ではAUTO.Pでの自動受信ができないことがあります。
- 同じ放送局からの受信でも、選局スイッチで記憶したチャンネルと **AUTO.P** で記憶したチャンネルは一致しないことがあります。
- **AUTO.P** を同じ場所で繰り返し操作しても、受信電波の状態により、記憶されるチャンネルが異なることがあります。
- AUTO.Pでの自動受信をした場合、地上アナログTV放送の電波などを受信することがあります。
- 受信できたチャンネルが8局未満のとき、残りのプリセットスイッチには何も記憶されません。

DTV の使い方

DTV 設定画面の切り替え

ソースがDTVのとき、DTV設定画面に切り替えると下記の操作ができます。

- 機能スイッチの表示
 - ・ エリアプリセット
 - ・ 音声多重放送の切り替え
- SFC、EQ、POSなどの音質調整
- マニュアルでのチャンネルの記憶

1 設定 にタッチします。

- エリアプリセットや音声多重放送の切り替え操作などをおこなうことができます。
- **戻る** にタッチするとDTV操作画面にもどります。



エリアスイッチについて

自分のいる地域の放送局のチャンネルがわからないときに、その地域のチャンネルを表示・選局することができます。

1 機能 にタッチします。

2 エリア にタッチします。

- “AREA. P”の表示とともにその地域で放送されている放送局名とチャンネルが表示されます。
- 放送局を選ぶときは、表示されているプリセットスイッチにタッチします。
- もう一度 **エリア** にタッチすると、もとの記憶されていた放送局に表示が切り替わります。



ワンポイント

- DTV設定画面でチャンネルをマニュアルで記憶すると、DTV画面に切り替わりま
- 放送局名を表示できても、放送を受信できない場合があります。
- 放送を受信できても、放送局名を表示できない場合があります。

局名スイッチについて

複数の放送局が同じチャンネルを使って放送している地域では、重複している放送局を切り替えることができます。

- 重複している放送局がある場合、局名重複インジケータが表示されます。

1 **機能** にタッチします。

2 **局名** にタッチします。

- 重複した放送局名が切り替わります。

局名重複インジケータ



音声多重放送を切り替える

音声多重放送を受信しているときは、主音声と副音声を切り替えて聞くことができます。

1 **機能** にタッチします。

2 **主/副** にタッチすることにより、下図の順に切り替わります。



ワンポイント

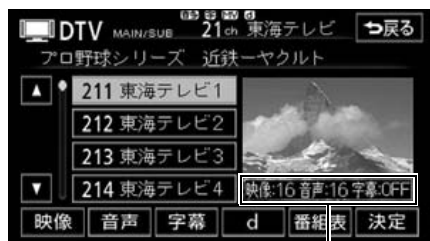
音声多重放送を受信したときは、**音多** が表示され主音声や副音声を切り替えて聞くことができます。

DTV の使い方

画面表示・音声の切り替え

ご覧になっている番組が提供している、映像、音声、字幕をお好みに合わせて切り替えることができます。

受信している映像や音声、字幕は番組切替画面で確認することができます。



- ・映像番号
- ・音声番号
- ・字幕言語

映像を切り替える

ご覧になっている番組が複数の映像を提供している場合、**[MV]** マークが表示され、お好みに合わせて映像を切り替えることができます。

1 **番組** を選択します。

2 **映像** を選択します。

- **映像** を選択することにより、映像番号および映像が切り替わります。

音声を切り替える

ご覧になっている番組が複数の音声を提供している場合、お好みに合わせて音声を切り替えることができます。

1 **番組** を選択します。

2 **音声** を選択します。

- **音声** を選択することにより、音声番号および音声切り替わります。

字幕を切り替える

ご覧になっている番組が字幕（日本語、英語）を提供している場合、**[字]** マークが表示され、お好みに合わせて字幕を切り替えることができます。

- ワンセグ放送の字幕放送には対応していません。

1 **番組** を選択します。

2 **字幕** を選択します。

- **字幕** を選択することにより、字幕言語が替わり、下図の順に字幕表示が切り替わります。

字幕OFF → 日本語 → 英語
↑



映像を切り替えると同時に、音声と字幕も切り替わることがあります。

緊急警報放送を受信したときは

緊急警報放送システム（EWS：Emergency Warning System）とは、放送局が緊急警報信号を送信し、地震や津波などの情報をお知らせするシステムです。緊急警報放送は、警戒宣言、津波警報、知事からの要請があったときに放送されます。

緊急警報放送を受信した場合、自動で放送内容が表示されます。放送が終了すると、自動的にもとのサービスにもどります。

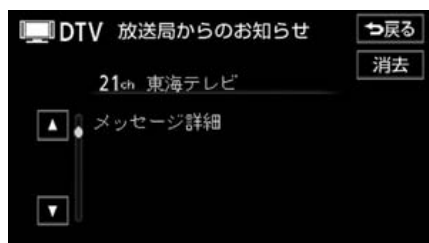
放送局からのお知らせについて

番組を視聴中に放送局からのお知らせを受信することがあります。

放送局からのお知らせを受信した場合、画面にメッセージが表示されます。

1 **表示** を選択します。

- お知らせの内容が表示されます。
- **消去** にタッチすると、お知らせが消去され、最後に見ていた番組にもどります。



DTV（地上デジタルTV放送）を終わる

1 オーディオのソースを切り替えます。

- 「ソースの切り替え方」（41 ページ）を参照してください。

2 **OFF** にタッチします。



- 受信したお知らせによっては消去できないことがあります。
- 情報を表示しきれない場合、▲、▼ にタッチすると画面をスクロールすることができます。

DTV の使い方

アンテナインジケータの表示を切り替える

本機は電波の受信状態をアンテナインジケータによって確認することができます。



アンテナインジケータ

表示	受信圏外				
受信状態	不可	悪い			良い

アンテナインジケータを消す

- DTV画面で画面にタッチします。

- データ放送操作スイッチが表示されます。

- アンテナインジケータの **ON** にタッチします。

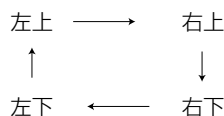
- 再度表示する場合は **OFF** にタッチします。



表示位置を切り替える

- インジケータ表示位置の **右上** にタッチします。

- 表示位置は下図の順に切り替わります。

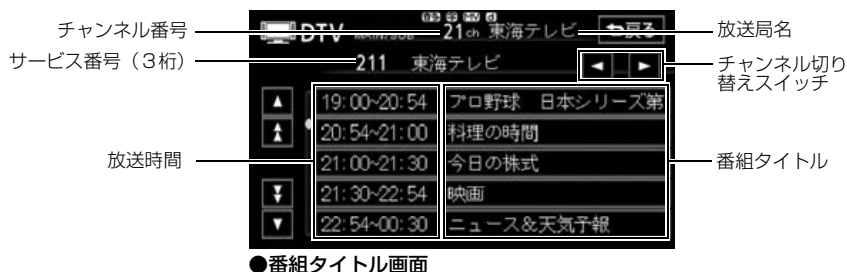


ワンポイント

- **受信圏外** が表示された場合、画面は静止画になり音声はOFFになります。
- 別売の後席用モニターで地上デジタルTV放送をご覧になる場合、アンテナインジケータを消すことはできません。
- アンテナインジケータの表示は実際の受信状態と異なる場合があります。

EPG（電子番組表）の使い方

EPGとは放送局が提供する、画面上で見ることができるテレビ番組表です。
画面上で簡単に、見たい番組をさがすことができます。



●番組タイトル画面

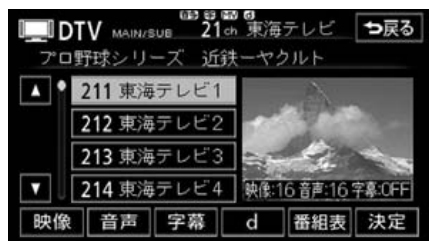
EPG（電子番組表）を見る

- DTV 操作画面で **番組** にタッチします。



- 番組表** にタッチします。

- 番組タイトル画面が表示されます。



見たい番組を探す

手動で探す

- ▶、または ◀ にタッチします。

- タッチするごとに1ステップずつチャンネルがUP/DOWNします。

- ▶: チャンネルUP (大きくなる)
- ◀: チャンネルDOWN (小さくなる)

自動で探す

- ▶、または ◀ を“ピーツ”と音がするまでタッチします。

- 現在表示しているチャンネルに、一番近い放送局を受信して止まります。途中で止めたときは、もう一度タッチすると解除されます。
- 受信電波の弱い地域では、自動選局できないことがあります。



ワンポイント

- EPGからお好みのDTV映像（番組）に切り替えることはできません。
- EPGは、12セグメント放送で現在から最大3日分、ワンセグ放送で最大10番組分表示することができます。
- ▲、▼、または ▲、▼ にタッチすると、リストを切り替えて表示することができます。

EPG（電子番組表）の使い方

番組の情報を見る



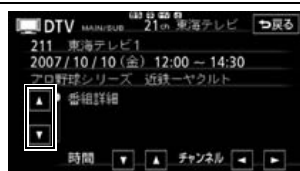
1 番組タイトル画面で情報がしたい番組にタッチします。

- 番組情報画面が表示されます。
- 放送時間切り替えスイッチ（▲、▼）にタッチすると、放送時間帯を切り替えることができます。
 - ▲: 前の放送時間帯の番組を表示
 - ▼: 次の放送時間帯の番組を表示
- チャンネル切り替えスイッチ（▶、◀）にタッチすると、チャンネルがUP/DOWNします。
 - ▶: チャンネルUP（大きくなる）
 - ◀: チャンネルDOWN（小さくなる）
- チャンネル切り替えスイッチ（▶、◀）を“ピーツ”と音がするまでタッチすると、現在受信しているチャンネルに一番近い放送局を受信して止まります。途中で止めたいときは、もう一度押すと解除されます。



ワンポイント

情報を表示しきれない場合、▲、▼にタッチすると画面をスクロールすることができます。



データ放送の使い方

データ放送とは映像の他に、図形や文字の情報を付加した放送です。
受信するデータ放送により、番組に連動した情報、独立した情報を見ることができます。



データ放送を見る

データ放送を受信可能な場合、**[d]** マークが表示されます。

1

DTV画面で画面にタッチします。

- データ放送操作スイッチが表示されます。

2

[d] にタッチします。

- データ放送画面が表示されます。



- 画面にタッチするとデータ放送操作画面になります。
- データ放送操作画面で、**[ボタン消]** にタッチすると、タッチスイッチが消えます。
- データ放送操作画面で、**[d]** にタッチするとDTV画面にもどります。



- データ放送画面



ワンセグ放送のデータ放送には対応していません。

データ放送の使い方

データ放送を操作する

画面に表示される説明の順に操作すると、さまざまな情報を見ることができます。受信したデータ放送は色ボタン、カーソル、10キー（テンキー）などで操作します。操作方法は受信したデータ放送により異なります。

色ボタン・カーソルの操作について

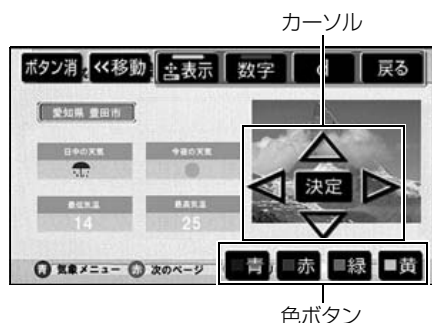
データ放送を操作するときに、色ボタンとカーソルを使用します。

1 **表示** にタッチします。

2 色ボタン、またはカーソルにタッチします。

● **移動** にタッチすることにより、色ボタン・カーソルの位置が左右に切り替わります。

3 カーソルにタッチしたときは、選択後 **決定** にタッチします。



10キー（テンキー）の操作について

数字を入力するときに使用します。

1 **数字** にタッチします。

● 10キー入力画面が表示されます。

2 数字にタッチします。

● **移動** にタッチすることにより、10キーの位置が左右に切り替わります。



3 **決定** にタッチします。

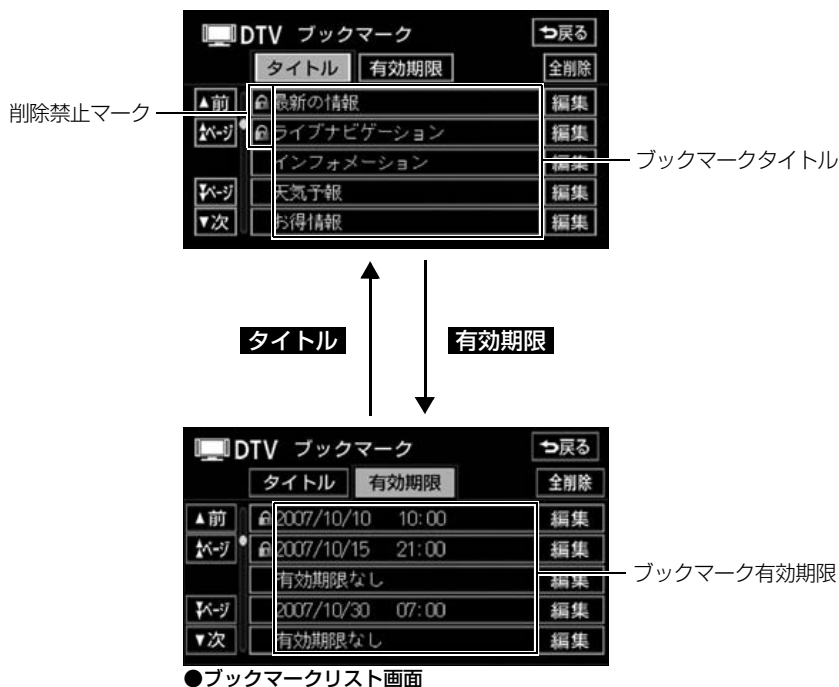


ワンポイント

- データ放送の操作は、画面に表示される指示の順におこなってください。
- データ放送の内容により、文字を入力することがあります。文字の入力については「ブックマークを編集する」（203 ページ）を参照してください。また、入力する文字の種類は限定されることがあります。（カナのみなど）
- データ放送には双方向サービス（クイズやテレビショッピングに視聴者がリアルタイムで参加できるサービス）をおこなっている番組があります。本機には通信機能がないため、双方向通信に対応していません。

ブックマーク機能について

ブックマーク機能とは、気に入ったデータ放送を登録して、いつでも簡単に呼び出すことのできる機能です。



ワンポイント

- **タイトル**、**有効期限** にタッチすると、ブックマークリストの表示を切り替えることができます。
- 放送局によってブックマークの削除が禁止されている場合、削除禁止マークが表示されます。
- ブックマークに登録したデータ放送は、視聴できる期間が決められていることがあります。有効期限を過ぎたデータ放送は見ることはできません。
- 有効期限が設定されていない場合、「有効期限なし」と表示されます。
- **▲前**、**▼次**、または **▲ページ**、**▼ページ** にタッチすると、リストを切り替えることができます。

データ放送の使い方

ブックマークに登録する

1 登録したいデータ放送に切り替えます。

2 **登録** にタッチします。

- すでに同じブックマークが登録されている場合、メッセージが表示されます。上書きする場合は **はい**、上書きしない場合は **いいえ** にタッチします。



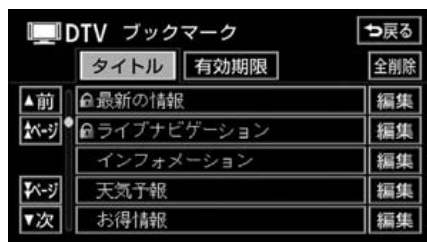
ブックマークを呼び出す

1 **呼出** にタッチします。

- ブックマークリスト画面が表示されます。

2 見たいブックマークのタイトルにタッチします。

- タッチしたデータ放送画面が表示されます。
- 受信できなかった場合、最後に見ていた番組に切り替わります。

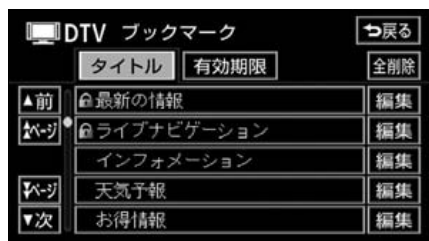


- ブックマークは最大100件登録することができます。
- 登録が100件を超えた場合、下記の優先順位で自動的に削除されます。
 - ① 有効期限が切れているブックマーク（削除禁止されているリストも含む）
 - ② 削除禁止されていないブックマーク
 - ③ 有効期限が古いブックマーク
- データ放送内で表示される **お気に入り登録** などのスイッチから、ブックマークに登録できる場合があります。スイッチの操作については「データ放送を操作する」(200 ページ) を参照してください。

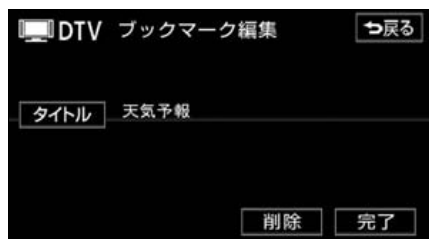
ブックマークを編集する

ブックマークのタイトルをお好みのタイトルに変更できます。

- 1 ブックマークリスト画面で、編集したいブックマークの **編集** にタッチします。



- 2 **タイトル** にタッチします。



- 3 文字を1文字ずつタッチして入力します。

- ひらがなと漢字以外の文字を入力するときは、**カナ**（カタカナ）、**英数字**、**数記号**（数字・記号）にタッチして、入力画面を切り替えます。
- カナ入力、英数字入力、数記号入力については「**カナ、英数字、数記号の入力**」（次ページ）を参照してください。
- 間違えた（入力されている）ときは **修正** にタッチすると、1文字ずつ消去されます。



ワンポイント

登録したデータ放送によっては、ブックマークのタイトルを編集できないことがあります。

データ放送の使い方

- 4** ひらがなのときは **無変換**、漢字のときは **変換** にタッチします。



- **変換** にタッチしたときは、変換する熟語リストで入力する熟語にタッチし、**全確定** にタッチします。
- 変換する文字の範囲を変更するときは、**▶**、**◀** にタッチします。



- 5** **完了** にタッチします。

カナ、英数字、数記号の入力

- 1** **カナ**、**英数字**、または **数記号** にタッチします。



- 2** 入力する文字の大きさを切り替えるときは、**半角** (**全角**) にタッチします。

- **英数字** にタッチしたときは、**大文字** (**小文字**) にタッチすると、大文字と小文字を切り替えることができます。

- 3** 文字を1文字ずつタッチして入力します。

- 間違えた(入力されている)ときは **修正** にタッチすると、1文字ずつ消去されます。



- 4** **完了** にタッチします。

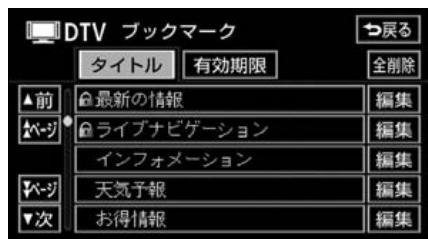


入力することのできる文字数は全角で最大20文字(半角で40文字)までです。

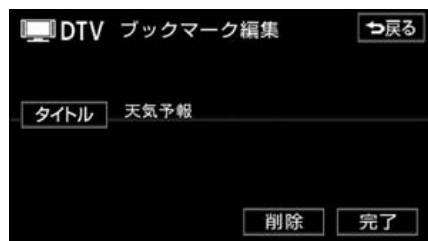
ブックマークを削除する

1 ブックマークリスト画面で、削除したいブックマークの **編集** にタッチします。

- すべてのブックマークを消去するときは、**全削除**、**はい** の順にタッチします。

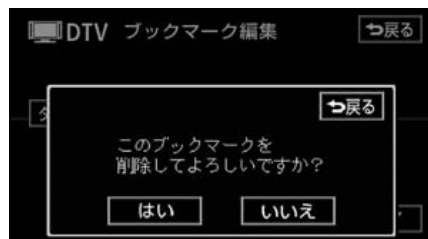


2 **削除** にタッチします。



3 **はい** にタッチします。

- **いいえ** にタッチすると削除せずにブックマーク編集画面にもどります。



DTVの設定

初期設定画面に切り替える

初期設定画面から、各種機能設定、メールの閲覧、個人情報の消去などができます。

- 1** DTV 操作画面で **設定** にタッチします。

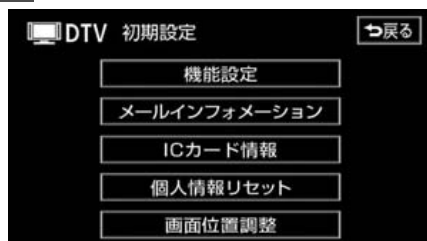


- 2** **初期設定** にタッチします。

- 初期設定画面が表示されます。



- 3** 初期設定画面から下表の設定をすることができます。



項目	機能	ページ
機能設定	文字スーパーの表示設定、居住地域の登録、イベントリレーの受信設定、アンテナの接続設定、ワンセグ自動切換の設定をすることができます。	次ページ、209、210
メールインフォメーション	受信したメールを閲覧することができます。	211
ICカード情報	B-CASカードの情報の閲覧、カードの動作テストをすることができます。	212
個人情報リセット	本機に登録されている個人情報を消去することができます。	214
画面位置調整	ディスプレイに表示されている画面位置を調整し、タッチ位置を補正することができます。	214

機能設定をする

文字スーパーを設定する

地上デジタルTV放送では、映像や音声などとは別に、放送と独立した文字スーパーの表示（天気予報やニュースなどを字幕で放送するサービス）をおこなっています。文字スーパーは日本語と英語を表示することができます。

1 機能設定 にタッチします。

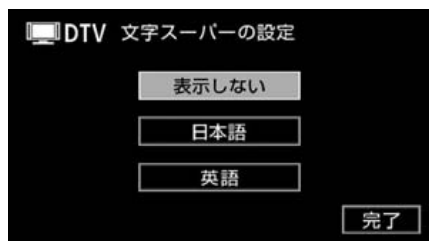
- 機能設定画面が表示されます。

2 文字スーパーの表示の **設定** にタッチします。



3 お好みの言語にタッチします。

- **表示しない** にタッチすると、文字スーパーが表示されません。



4 **完了** にタッチします。

居住地域を設定する

データ放送で地域情報を受信するために、居住地域を設定する必要があります。居住地域は都道府県の選択（下記参照）、または郵便番号の入力（次ページ参照）により設定することができます。

初めて起動したときや、引越したときは必ず設定してください。

県域から設定する

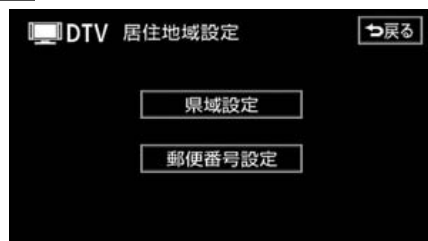
1 機能設定 にタッチします。

- 機能設定画面が表示されます。

2 居住地域の登録の **設定** にタッチします。



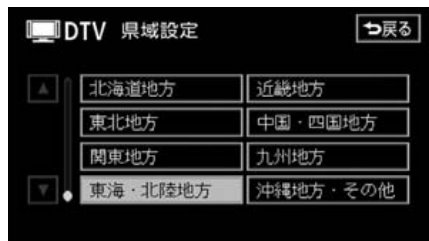
3 県域設定 にタッチします。



東京都島部（伊豆・小笠原諸島）と鹿児島県島部（南西諸島の鹿児島県域）にお住まいの場合は、**沖縄地方・その他** を選択してください。

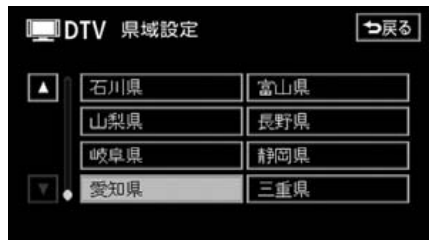
DTV の設定

- 4** お住まいの地方にタッチします。



- 5** お住まいの都道府県、または地域にタッチします。

- 設定が完了し、機能設定画面にもどります。



郵便番号から設定する

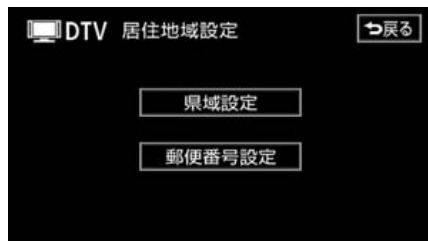
- 1** **機能設定** にタッチします。

- 機能設定画面が表示されます。

- 2** 居住地域の登録の **設定** にタッチします。



- 3** **郵便番号設定** にタッチします。



- 4** 数字を1番号ずつタッチして入力します。

- 間違えたときは **修正** にタッチすると、1番号ずつ消去されます。



- 5** **完了** にタッチします。



ワンポイント

- ▲、▼ を選択すると、リストを切り替えて表示することができます。
- 郵便番号は7桁で入力してください。

イベントリレーを設定する

イベントリレーとは、視聴中の番組から、異なるイベント（番組）や臨時サービスに自動で切り替える機能です。

例えば、野球の延長放送を視聴中の番組とは異なるサービス番号で放送するときに、自動で切り替えます。

1 機能設定 にタッチします。

- 機能設定画面が表示されます。

2 イベントリレーの受信の **する**、または **しない** にタッチします。



3 完了 にタッチします。

アンテナの設定をする

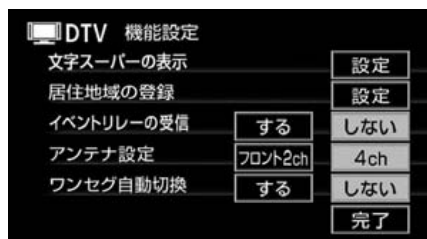
お車に接続しているアンテナに合わせた設定をすることができます。

1 機能設定 にタッチします。

- 機能設定画面が表示されます。

2 アンテナ設定の **フロント2ch**、または **4ch** にタッチします。

- **フロント2ch** : フロントアンテナ接続時
4ch : フロントアンテナ、リヤアンテナ接続時



3 完了 にタッチします。



ワンポイント

- 受信電波の弱い地域では番組が切り替わらない場合があります。
- アンテナの設定は必ずお使いのアンテナシステムに合わせてください。お使いのアンテナシステムと異なる場合、適切に受信できないことがあります。

DTV の設定

ワンセグ自動切換を設定する

通常の地上デジタルTV放送が受信できなくなった場合、自動でワンセグ放送の受信に切り替えることができます。

通常の地上デジタルTV放送が受信可能になると、ワンセグ放送から自動で切り替わりません。

1 **機能設定** にタッチします。

● 機能設定画面が表示されます。

2 ワンセグ自動切換の **する**、または **しない** にタッチします。



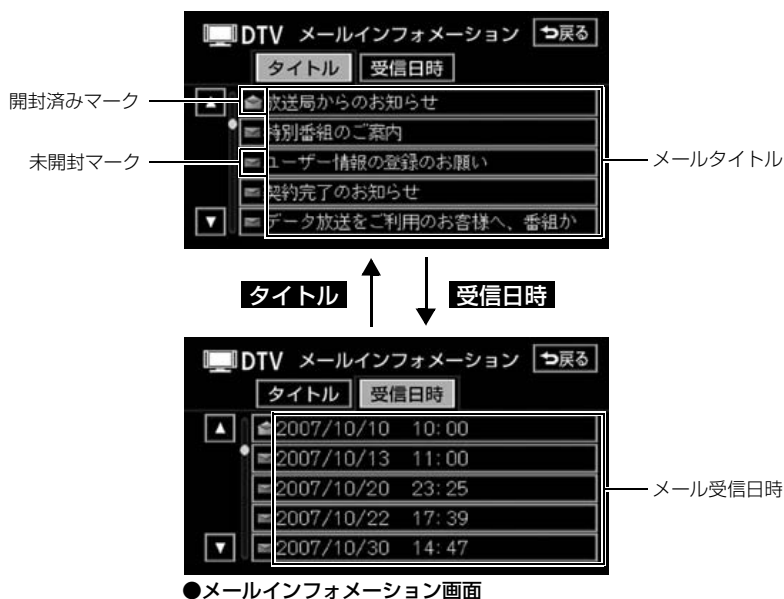
3 **完了** にタッチします。



- 放送が切り替わるとき、一時的に黒い画面が表示されます。
- 自動で切り替わった番組が、ご覧になっていた番組と異なることがあります。
- 自動で切り替わった番組の映像や音声が、ご覧になっていた番組と異なることがあります。
- ワンセグ放送をおこなっていない放送局をご覧になっている場合、ワンセグ自動切換を **する** にしていても、ワンセグ放送に切り替わりません。

受信したメールを見る

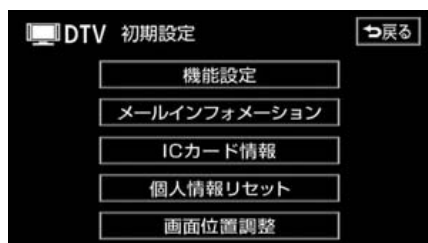
放送局から受信したメールを見ることができます。



メールリストを見る

1 **メールインフォメーション** にタッチします。

●メールインフォメーション画面が表示されます。



ワンポイント

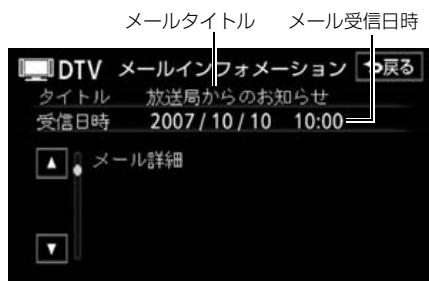
- **タイトル**、**受信日時** にタッチすると、メールリストの表示を切り替えることができます。
- **▲**、**▼** にタッチするとリストを切り替えることができます。
- 受信したメールのタイトルは、受信メールの先頭から全角18文字をタイトルとして表示します。
- メール の 保存件数は最大7件です。7件を超えたときは、一番古いメールが自動で削除されます。(未読も含みます。)

DTV の設定

メールの内容を見る

- 1 メールインフォメーション画面で、見たいメールにタッチします。

- メール詳細画面が表示されます。



- メール詳細画面

B-CASカードの動作確認

本機に差し込まれているB-CASカードの情報を見たり、テストをしたりすることができます。

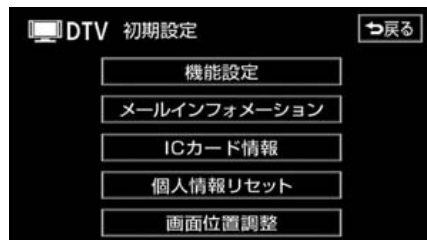


- ICカード情報画面

B-CASカードの情報を見る

- 1 **ICカード情報** にタッチします。

- ICカード情報画面が表示されます。



ワンポイント

- 情報を表示しきれない場合、▲、▼ にタッチすると画面をスクロールすることができます。
- メール詳細画面のメールタイトルは、受信メールの先頭から全角14文字をタイトルとして表示します。
- B-CAS カードが差し込まれていない、または異なるカードが差し込まれている場合は、カードIDは表示されません。

B-CASカードの動作確認をする

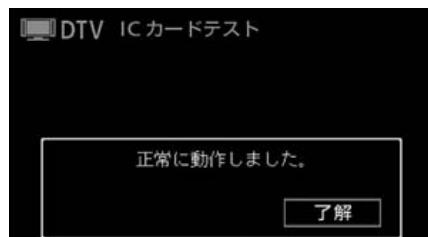
1 ICカード情報画面で **カードテスト** にタッチします。

- テストを開始します。

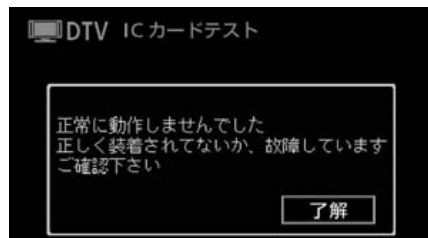


2 **了解** にタッチします。

- テストで異常を検出した場合、お買い上げの販売店にご相談ください。



- テストが正常に終了したとき



- テストで異常を検出したとき

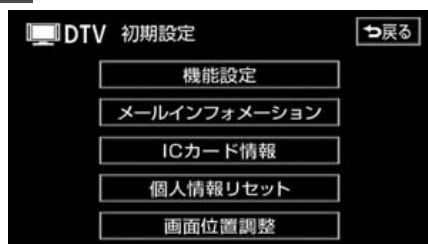
DTV の設定

個人情報情報を消去する

本機に登録した内容を消去し、初期状態にもどすことができます。初期化（消去）される項目は下記になります。

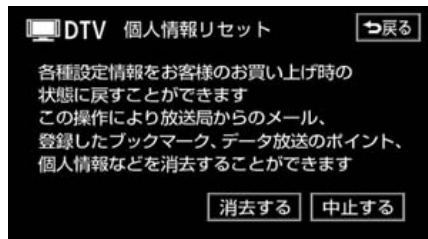
- 放送局からのメール
- 登録したブックマーク
- 郵便番号設定
- 県域設定
- データ放送データ

1 個人情報リセット にタッチします。



2 消去する にタッチします。

- **中止する** にタッチすると初期化せずに初期設定画面にもどります。

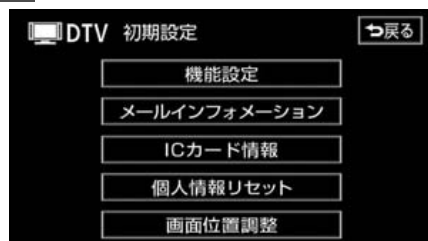


画面位置を調整する

ディスプレイに表示されている画面の位置を調整することができます。

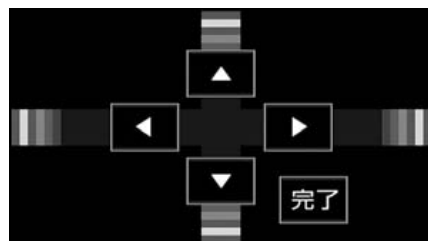
- 画面位置の調整は地上デジタルTV放送の画面のみ行うことができます。その他のオーディオソースおよびナビゲーション画面は調整できません。

1 画面位置調整 にタッチします。



2 ▲、▼、◀、▶ にタッチして位置を調整します。

- 上下/左右の同じ色が、同じ幅で見えるように調整してください。
- 誤った画面位置で調整を完了すると、タッチ位置がずれることがあります。



3 完了 にタッチします。



ワンポイント

- 一度初期化（消去）された内容（データ）は元にもどせません。十分注意して初期化作業を行ってください。
- 最適な位置にあわせた状態で、**完了** にタッチしてください。調整の途中で画面を切り替えた場合、調整途中の設定が保存されます。

DVDプレーヤーをお使いになる前に

本機は、DVDビデオの高画質映像と高音質なデジタルサウンドを再生することができます。また、DVDビデオに記録されている複数の言語（音声や字幕など）を切り替えて表示できるほか、同じ場面が複数のアングルで記録されているものは、好きなアングルに切り替えて再生することができます。

DVDビデオの特長

マルチ音声機能について

DVDディスクには複数の言語が収録されているものがあり、再生中、TVの音声多重放送のように音声言語を切り替えることができます。



街の中心を流れるこの川は...



This river, which runs through the center of the town is...

マルチアングル機能について

DVD ディスクには、同じ場面が複数のアングルで記録されているもの（マルチアングル）があり、再生中、好きなアングルに切り替えることができます。



映像のアングルが切り替わります。



ワンポイント

本機は、マクロビジョンコーポレーションやその他の権利者が保有する、米国特許権及びその他の知的所有権によって保護された著作権保護技術を搭載しています。この著作権保護技術の使用にはマクロビジョンコーポレーションの許諾が必要であり、マクロビジョンコーポレーションが特別に許諾する場合を除いては、一般家庭その他における限られた視聴用以外に使用してはならないこととされています。改造または分解は禁止されています。

DVD プレーヤーをお使いになる前に

字幕表示機能について

DVDディスクには複数の字幕が記録されているものがあり、再生中に、字幕言語を切り替えることができます。また、字幕を表示しないように設定して、映像を再生することもできます。



ディスクについて

再生できるディスクの種類について

本機は、NTSCカラーテレビ方式に対応していますので、ディスクやパッケージに「NTSC」と表示されているディスクをご使用ください。

再生できるディスクの種類とマーク	大きさ／再生面	最大再生時間
 	12cm／片面 1層 2層	< MPEG 2方式 > 133分 242分
	12cm／両面 1層 2層	266分 484分

再生可能なディスクの地域番号（リージョンコード）について

DVDディスクには （地域番号）が表示されているものがあり、このマーク（数字）はディスクの再生可能な地域を表しています。本機は、このマークに「2」または、「ALL」がないディスクは再生することができません。このようなディスクを再生しても、「このDVDはリージョンが違うので再生できません」というメッセージが画面に表示されます。また、地域番号のマークがないディスクでも地域が制限されていることがあり、本機で再生できないことがあります。



- DVD、ソフト制作者の意図により再生状態が決められていることがあります。本機ではソフト制作者が意図したディスク内容にしたがって再生を行うため、操作したとおりに機能が働かない場合があります。再生するディスクに付属の説明書も必ずご覧ください。
- DVD±R/RW（DVD±Recordable/ReWritable）は、ビデオモードで書き込みされたディスクのみ使用できます。ビデオレコーディング（VR）モードで書き込みされたディスクには対応していません。

ディスクに表示されているマークについて

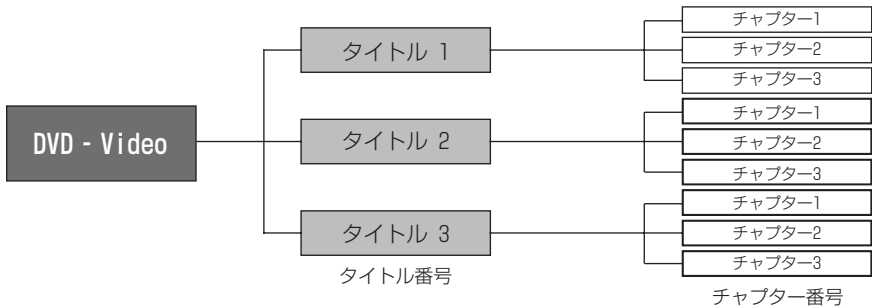
DVDのディスクやパッケージに表示されているマークには下記のものがあります。

マーク	意 味
	音声のトラック数を表します。
	字幕の数を表します。
	アングル数を表します。
	選択可能な画像アスペクト比（TV画面の横と縦の比率）を表します。 ●「16：9」はワイド画面、「4：3」は標準画面です。
	再生可能な地域番号を表します。 ●ALLは全世界向け、数字は地域番号です。「2」は日本を示します。

ディスクの構成について

DVDに収録されている映像や曲は、いくつかの区切りに分けられています。

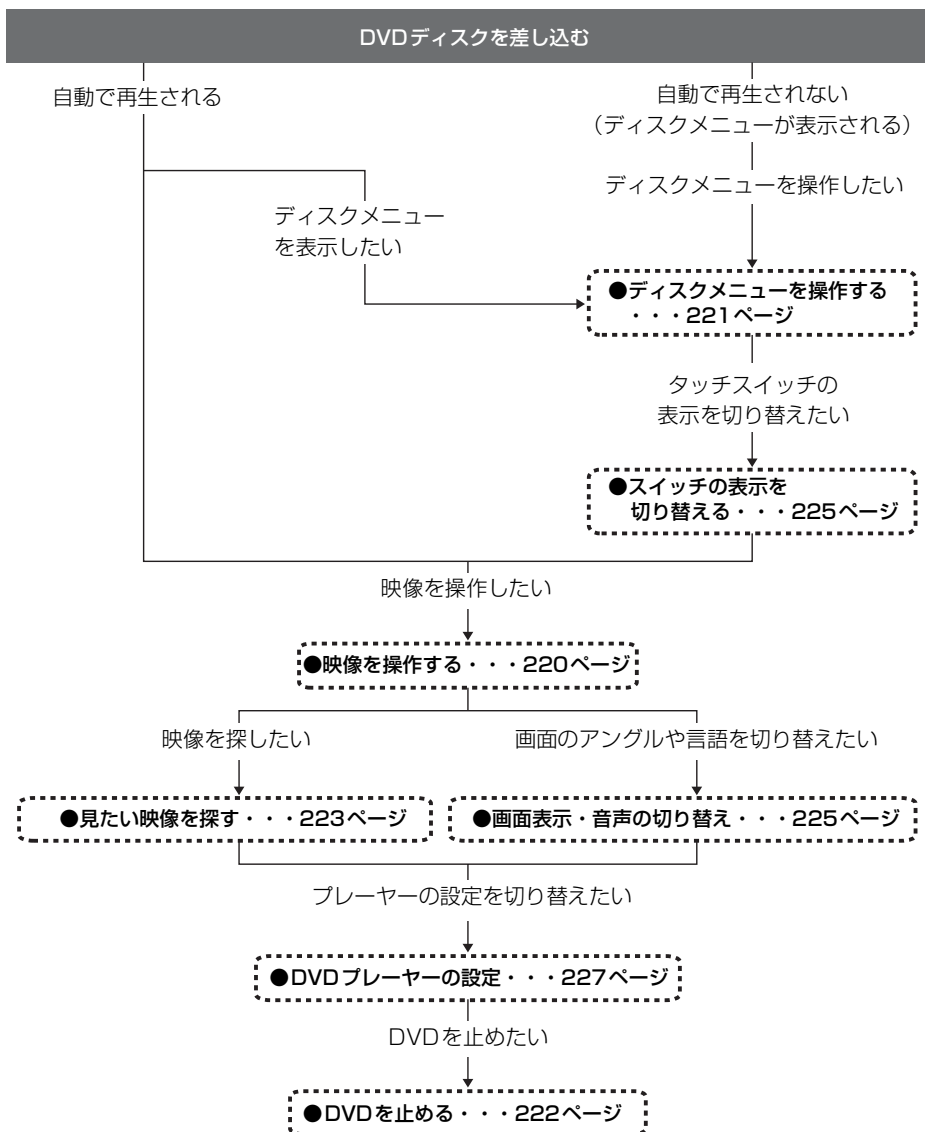
大きく分けた区切りをタイトルと言い、それぞれのタイトルには番号（タイトル番号）が付けられています。また、タイトルは小さな区切りのチャプターで構成されており、それぞれのチャプターにも番号（チャプター番号）が付けられています。



DVD プレーヤーをお使いになる前に

操作の流れについて

映像の操作や検索、DVD プレーヤーの初期設定などの流れを説明します。



DVD プレーヤーの使い方

エンジンスイッチがONまたはACCで、さらに安全上の配慮から車を完全に停止し、パーキングブレーキをかけた場合のみDVDをご覧になることができます。(走行中にソースをDVDプレーヤーに切り替えた場合、音声のみになります。)



DVDを見る

ディスク差し込み口にDVDを差し込むと、再生を始めます。

- 1 DVDが差し込まれているときに、オーディオのソースを切り替えます。

● 「ソースの切り替え方」(41 ページ) を参照してください。

- 2 **DISC** にタッチします。

- 再生を始めます。
- 操作スイッチ (タッチスイッチ) を表示する場合は、**AV** を押す、または画面にタッチします。



ワンポイント

- 別売の後席用モニターを接続すると、走行中でも後席でDVDをご覧になることができます。
- ソースをDVDプレーヤーに切り替えたとき、タッチスイッチなどの情報は約6秒間表示されます。**AV** を押す、または画面にタッチすると再度、表示します。

DVD プレーヤーの使い方

映像を操作する

映像を再生する

- 1  にタッチします。



早送り・早戻しする

再生している映像を早送り・早戻しすることができます。

パネルスイッチから早送り・早戻しする

- 1 、または  を“ピッ”と音がするまで押します。

-  (右側)：映像を進めるとき
 -  (左側)：映像を戻すとき
- “ピッ”と音がすると早送り(早戻し)モードに切り替わり、スイッチから手を離すまで早送り(早戻し)します。

タッチスイッチから早送り・早戻しする

- 1 、または  を“ピッ”と音がするまでタッチします。

- “ピッ”と音がすると早送り(早戻し)モードに切り替わり、スイッチから手を離すまで早送り(早戻し)します。



いま見ているチャプターを繰り返し再生する

- 1 **CHAPTERリピート** にタッチします。



ディスクによって、自動再生されないものや、ディスクに記録されているメニュー項目を選択しないと、再生されないものがあります。「ディスクメニューを操作する」(次ページ)

映像を一時止める

1 **II** にタッチします。

- 一時停止中 (**II**) に **▶▶** を短くタッチするとスロー再生し、**II** にタッチするとコマ送り再生します。



映像を止める

1 **■** にタッチします。



ディスクメニューを操作する

ダイレクトタッチ操作画面でディスクに収録されているメニューを操作することができます。

1 **AV** を押す、または画面にタッチします。

2 **NEXT** にタッチします。

3 **メニュー**、**トップメニュー**、または**ダイレクト** にタッチします。

- ダイレクトタッチ操作画面が表示されます。



画面を直接タッチして操作する

メニューのアイコンに直接タッチして、選択することができます。

1 ダイレクトタッチ操作画面でメニューのアイコンに直接タッチします。



- 再生している映像がディスクに収録されているメニューに切り替わると、ダイレクトタッチ操作画面が表示されます。
- ディスクによって、表示されるメニューをダイレクトタッチ操作画面から操作できない場合があります。

DVD プレーヤーの使い方

タッチスイッチから操作する

画面にタッチしづらいときは、タッチスイッチで操作することができます。

- 1 ダイレクトタッチ操作画面で **移動** にタッチします。



- 2 **下** **上** **左** **右** にタッチし、メニューを選びます。

- **ダイレクト** にタッチすると画面に直接タッチして操作することができます。

- 3 **決定** にタッチします。



DVD を止める

- 1 オーディオのソースを切り替えます。

- 「ソースの切り替え方」(41 ページ) を参照してください。

- 2 **OFF** にタッチします。



ディスクによって記録されているメニュー項目は違います。また、ディスク内容にしたがって再生を行うため、操作したとおりに機能しない場合があります。

見たい映像を探す

見たい映像をタイトルやチャプター、メニュー番号（内容ごとに区切られた番号）から探すことができます。

チャプターから探す

1 、または を押します。

- （右側）：次のチャプターを選ぶとき
- （左側）：頭出し・前のチャプターを選ぶとき

チャプター番号



タイトル番号から探す

1 **サーチ** にタッチします。

- タイトル番号入力画面が表示されます。

タイトル番号



2 **-**、**+**、**-10**、**+10** にタッチし、タイトル番号を入力します。

- **-**、または **+** にタッチすると、タイトル番号が1ずつ切り替わります。
- **-10**、または **+10** にタッチすると、タイトル番号が10ずつ切り替わります。



3 **決定** にタッチします。

DVD プレーヤーの使い方

チャプター番号から探す

1 **NEXT** にタッチします。

2 **❖** にタッチします。



3 **数字** にタッチします。

- CHAPTER 番号入力画面が表示されます。



4 **-**、**+**、**-10**、**+10** にタッチし、CHAPTER 番号を入力します。

- **-**、または **+** にタッチすると、CHAPTER 番号が1ずつ切り替わります。
- **-10**、または **+10** にタッチすると、CHAPTER 番号が10ずつ切り替わります。



5 **決定** にタッチします。

スイッチの表示を切り替える

再生中、タッチスイッチの表示を切り替えたり、タッチスイッチの表示を消すことができます。

タッチスイッチを消す

1  にタッチします。

- **AV** を押す、または画面にタッチすると、再度、タッチスイッチを表示します。



タッチスイッチの表示場所を切り替える

1  にタッチします。

2  にタッチします。

3 **移動** にタッチします。

- タッチすることによりタッチスイッチの表示場所が上下に切り替わります。



画面表示・音声の切り替え

再生する映像の字幕言語や音声言語、表示アングルを切り替えることができます。

アングルを切り替える

ディスクに複数のアングルが収録されていると、アングルを切り替えて表示することができます。

1  にタッチします。

2 マルチアングルマークが表示されているときに **アングル** にタッチします。

- アングル番号が表示されます。

マルチアングルマーク



3 **アングル切換** にタッチします。

- アングル番号が替わり、映像のアングルが切り替わります。

アングル番号



ワンポイント

アングル切換 にタッチすることにより、ディスクに収録されているアングルが順に切り替わります。

DVD プレーヤーの使い方

字幕言語を切り替える

ディスクに複数の字幕言語が収録されていると、字幕を切り替えて表示することができます。

1 **NEXT** にタッチします。

2 **字幕** にタッチします。

- 字幕番号および言語が表示されます。



3 **字幕切換** にタッチします。

- 字幕番号が替わり、字幕の表示言語が切り替わります。

字幕番号および言語



音声言語を切り替える

ディスクに複数の音声言語が収録されていると、音声を切り替えて再生することができます。

1 **NEXT** にタッチします。

2 **音声** にタッチします。

- 音声番号および言語が表示されます。



3 **音声切換** にタッチします。

- 音声番号が替わり、音声の再生言語が切り替わります。

音声番号および言語



- **字幕切換** にタッチすることにより、ディスクに収録されている字幕言語が順に切り替わります。
- **音声切換** にタッチすることにより、ディスクに収録されている音声言語が順に切り替わります。

DVDプレーヤーの設定

再生中の音声や字幕表示、メニュー表示の言語をあらかじめ設定することができます。また、マルチアングルマークの表示・非表示や視聴制限なども設定することができます。

1 **NEXT** にタッチします。

2 **設定** にタッチします。



3 **初期設定** にタッチします。

● 初期設定画面が表示されます。



4 各タッチスイッチにタッチすると下記の設定を行うことができます。



タッチスイッチ	機 能	ページ
音声	再生する映像の音声言語を設定します。	次ページ
字幕	再生する映像の字幕言語を設定します。	次ページ
ソフトメニュー	表示するメニューの言語を設定します。	229
マルチアングルマーク	マルチアングルマークの表示・非表示を設定します。	229
視聴制限	再生できるDVDビデオを制限します。	230
映像出力切換	画面サイズを設定します。	231



初期設定画面で設定を変更した後、**決定** にタッチせずに、画面が切り替わるスイッチ (**AV**) を押すとDVDの再生は停止した状態になります。
再度再生する場合は映像操作画面で **▶** にタッチします。(220 ページ参照)

DVD プレーヤーの使い方

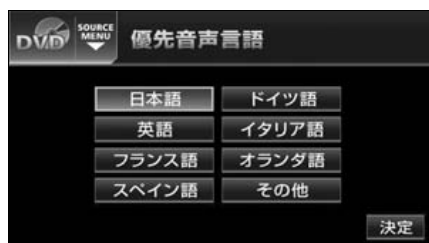
音声言語を設定する

再生中の映像をお好きな言語で楽しむことができます。

1 初期設定画面で **音声** にタッチします。

2 お好みの言語にタッチします。

- **その他** にタッチすると画面に表示された言語以外の言語を設定できます。



コードを入力する

1 優先音声言語設定画面で **その他** にタッチします。

2 言語コードを入力します。

- 言語コードについては「言語コード一覧」(232 ページ)を参照してください。



3 **決定** にタッチします。

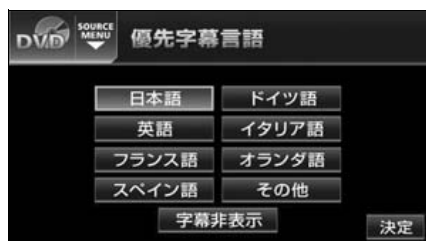
字幕言語を設定する

再生中の映像をお好きな字幕で表示することができます。

1 初期設定画面で **字幕** にタッチします。

2 お好みの言語にタッチします。

- **その他** にタッチすると、画面に表示された言語以外の言語を設定できます。
- **字幕非表示** にタッチすると、画面に字幕を表示せずに再生することができます。



ワンポイント

- 選択された言語でもディスクが対応していない言語であれば、切り替えることはできません。
- ディスクに優先される音声言語、または字幕言語が記録されていると、ディスク内容に当たって再生を行うため、設定した言語に切り替わらない場合があります。この場合は、「画面表示・音声の切り替え」(225 ページ参照)で言語を切り替えてください。

コードを入力する

1 優先字幕言語設定画面で **その他** にタッチします。

2 言語コードを入力します。

- 言語コードについては「言語コード一覧」(232 ページ) を参照してください。



3 **決定** にタッチします。

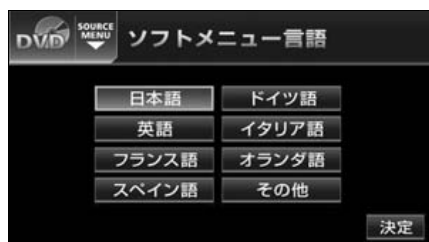
メニュー言語を設定する

ディスクに収録されているメニューなどの表示言語を設定することができます。

1 初期設定画面で **ソフトメニュー** にタッチします。

2 お好みの言語にタッチします。

- **その他** にタッチすると画面に表示された言語以外の言語を設定できます。



コードを入力する

1 ソフトメニュー言語設定画面で **その他** にタッチします。

2 言語コードを入力します。

- 言語コードについては「言語コード一覧」(232 ページ) を参照してください。



3 **決定** にタッチします。

マルチアングルマークの表示を設定する

再生中、マルチアングルマークの表示・非表示を設定することができます。

1 初期設定画面で **マルチアングルマーク** にタッチします。

- タッチすることにより「表示」と「非表示」が切り替わります。



2 **決定** にタッチします。



ワンポイント

- 選択された言語でもディスクが対応していない言語であれば、切り替えることはできません。
- マルチアングルマークの表示設定を「表示」に設定すると、ディスク内の複数アングルが選択可能な状態になったとき、画面の上部にマルチアングルマークが表示されます。

DVD プレーヤーの使い方

視聴制限を設定する

ディスクの中には、成人向けの内容や暴力シーンなど、子供に見せたくない場面の視聴を制限できるものがあります。この視聴制限は、レベルによって段階的に設定することができます。

1 初期設定画面で **視聴制限** にタッチします。

2 数字を1番号ずつタッチして暗証番号を入力します。



3 **決定** にタッチします。

4 お好みの視聴制限レベルにタッチします。



5 **決定** にタッチします。



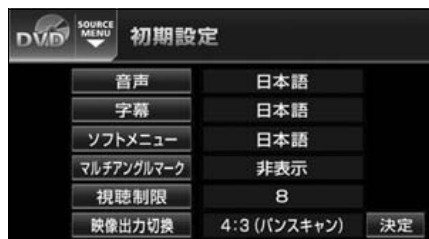
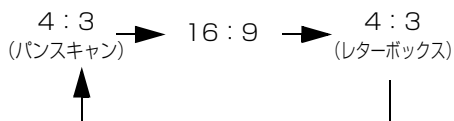
ワンポイント

- 視聴制限レベルが記録されていないディスクでは設定できません。
- 暗証番号は必ず入力してください。入力しないと視聴制限の設定を行うことができません。
- 暗証番号が入力されていない場合、上側に表示される暗証番号は「———」で表示されます。
- 一度、暗証番号を入力すると次回以降、本項目の利用時には暗証番号が必要となります。暗証番号を忘れないようご注意ください。もし、暗証番号を忘れた場合は、**クリア** に10回タッチすると、初期化（暗証番号未設定の状態）することができます。
- 視聴制限レベルは大きく3種類に分類されます。
 - レベル1 ……子ども向けのDVDソフトのみを再生します。（一般向けと成人向けのDVDソフトの再生を禁止します。）
 - レベル2～7…子ども向けと一般向けのDVDソフトのみを再生します。（成人向けのDVDソフトの再生を禁止します。）
 - レベル8 ……全てのDVDソフトを再生します。（初期設定）

映像出力を切り替える

1 初期設定画面で **映像出力切換** にタッチします。

- タッチすることにより下の順に画面サイズが切り替わります。



2 **決定** にタッチします。

- **4:3 (パンスキャン)**

左右両端がカットされた映像になります。4:3のサイズで収録されたDVDソフトの場合は画面サイズぴったり(4:3)で表示されます。

- **16:9**

通常のワイドサイズで表示されます。4:3のサイズで収録されたDVDソフトの場合は左右両端が黒表示、または左右に伸びた表示になります。

- **4:3 (レターボックス)**

上下両端が黒く表示された映像になります。4:3のサイズで収録されたDVDソフトの場合は画面サイズぴったり(4:3)で表示されます。



注意

お客様が個人的にワイド画面で視聴する限りにおいては問題ありませんが、営利目的、または公衆に視聴させることを目的として画面の圧縮・引き伸ばしなどを行うと、著作権法上で保護されている著作権者の権利を侵害する恐れがありますので、ご注意ください。



ワンポイント

後席用モニターなど別のディスプレイを接続した場合、本機(フロント)で設定した映像出力切替のサイズにより、後席用モニターで表示されるサイズは異なります。

DVD プレーヤーの使い方

言語コード一覧

「音声」、「字幕」、「ソフトメニュー」の言語は、下記のコード番号から数字を入力し選択することができます。

コード	言語名称	コード	言語名称	コード	言語名称
1001	日本語	0801	ハウサ語	1721	ケチュア語
0514	英語	0809	ヒンディー語	1813	レートロマン語
0618	フランス語	0818	クロアチア語	1814	キルンディー語
0405	ドイツ語	0821	ハンガリー語	1815	ローマ語
0920	イタリア語	0825	アルメニア語	1823	キンヤルワンダ語
0519	スペイン語	0901	国際語	1901	サンスクリット語
1412	オランダ語	0905	Interlingue	1904	シンド語
1821	ロシア語	0911	イヌピアック語	1907	サンド語
2608	中国語	0914	インドネシア語	1908	セルボクロアチア語
1115	韓国語	0919	アイスランド語	1909	セイロン語
0512	ギリシャ語	0923	ヘブライ語	1911	スロバック語
0101	アファル語	1009	イディッシュ語	1912	スロベニア語
0102	アプバジャ語	1023	ジャワ語	1913	サモア語
0106	アフリカーンス語	1101	グルジア語	1914	ショナ語
0113	アムハラ語	1111	カザフ語	1915	ソマリ語
0118	アラビア語	1112	グリーンランド語	1917	アルバニア語
0119	アッサム語	1113	カンボジア語	1918	セルビア語
0125	アイマラ語	1114	カンナダ語	1919	シスワティ語
0126	アゼルバイジャン語	1119	カシミール語	1920	セストゥ語
0201	バシキール語	1121	クルド語	1921	スンダ語
0205	ベラルーシ語	1125	キルギス語	1922	スウェーデン語
0207	ブルガリア語	1201	ラテン語	1923	スワヒリ語
0208	ビハーリー語	1214	リンガラ語	2001	タミル語
0209	ビスラマ語	1215	ラオス語	2005	テルグ語
0214	ベンガル語	1220	リトアニア語	2007	タジク語
0215	チベット語	1222	ラトビア語	2008	タイ語
0218	ブルトン語	1307	マダガスカル語	2009	チグリス語
0301	カタロニア語	1309	マオリ語	2011	ツルキ語
0315	コルシカ語	1311	マケドニア語	2012	タガログ語
0319	チェコ語	1312	マラヤーラム語	2014	セツワナ語
0325	ウェールズ語	1314	モンゴル語	2015	ニュージーランド語
0401	デンマーク語	1315	モルダビア語	2018	トルコ語
0426	ブータン語	1318	マラータ語	2019	ツォンガ語
0515	エスペラント語	1319	マライ語	2020	タタル語
0520	エストニア語	1320	マルタ語	2023	トウィ語
0521	バスク語	1325	ビルマ語	2111	ウクライナ語
0601	ベルシア語	1401	ナウル語	2118	ウルドゥー語
0609	フィンランド語	1405	ネパール語	2126	ウズベグ語
0610	フィジー語	1415	ノルウェー語	2209	ベトナム語
0615	フェロー語	1503	プロバンス語	2215	ボラビュク語
0625	フリジア語	1513	オモロ語	2315	ウォルフ語
0701	アイルランド語	1518	オリヤー語	2408	コーサ語
0704	スコットランドゲール語	1601	パンジャブ語	2515	ヨルバ語
0712	ガルシア語	1612	ポーランド語	2621	ズールー語
0714	グアラニ語	1619	アフガニスタン語		
0721	グジャラート語	1620	ポルトガル語		

VTRの使い方

市販のVTR機器を接続すると、ビデオをご覧になれます。エンジンスイッチがONまたはACCで、さらに安全上の配慮から車を完全に停止し、パーキングブレーキをかけた場合のみビデオをご覧になることができます。(走行中にソースをVTRに切り替えた場合、音声のみになります。)VTR機器を接続する場合は、別売の「ビデオ接続コード」をお買い求めください。



VTRを見る

1 オーディオのソースを切り替えます。

- 「ソースの切り替え方」(41 ページ) を参照してください。

2 **VTR** にタッチします。

- VTR画面になります。
- **AV** を押す、または画面にタッチすると、VTR操作画面になります。

VTR設定画面の切り替え

VTRでは、VTR設定画面に切り替えると下記の操作ができます。

- SFC、EQ、POSなどの音質調整
- 画面モード(ワイドモード)の切り替え

1 **設定** にタッチします。

- **戻る** にタッチするとVTR操作画面にもどります。

VTRを終わる

1 オーディオのソースを切り替えます。

- 「ソースの切り替え方」(41 ページ) を参照してください。

2 **OFF** にタッチします。

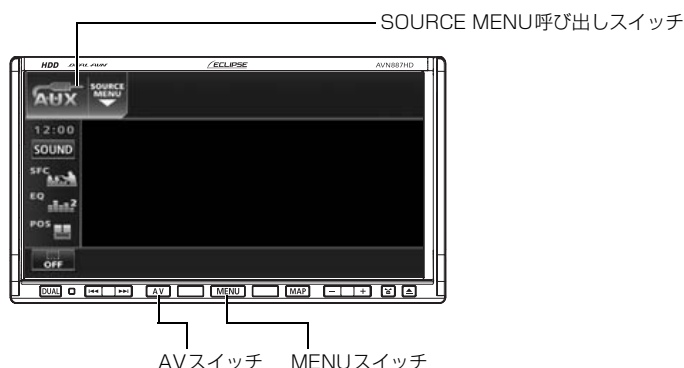


- 別売の後席用モニターを接続すると、走行中でも後席でビデオをご覧になることができます。
- VTR 操作画面に切り替えたとき、各タッチスイッチは約6秒間表示されます。
AV を押すと再度、表示します。
- 接続される機器類により、映像が正常に表示されない場合があります。

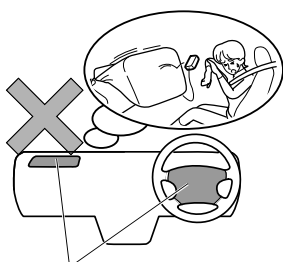
AUXの操作

市販のポータブルオーディオなどを本機のAUX (RCA) 端子に接続すると、本機でポータブルオーディオに収録された音楽を再生することができます。ポータブルオーディオを接続する場合は、「接続コード」をお買い求めください。

※ 本機でポータブルオーディオ機器をご使用になる場合は、そのポータブルオーディオ機器の取扱書をよくお読みになり、本機での使用に問題がないことをご確認のうえお使いください。



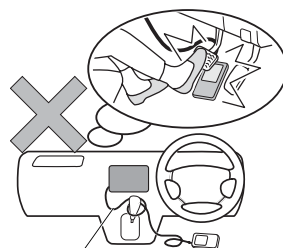
ポータブルオーディオをお使いになる前に



SRSエアバッグ展開部

接続したポータブルオーディオや接続コードを、SRS エアバッグの展開を妨げるような場所に設置しないでください。SRS エアバッグが正常に作動しなくなったり、SRS エアバッグが展開したときにポータブルオーディオが飛ばされるなどにより、死亡・重傷に至ることがあります。

※ SRSエアバッグ展開場所については、お車の取扱書をご覧ください。



接続コード

ポータブルオーディオや接続コードを、運転の邪魔にならない場所に避ける、または邪魔にならない場所で仮固定するなどしてください。

運転に支障をきたし、交通事故の原因になることがあります。

ポータブルオーディオを接続する（取りはずす）

- ポータブルオーディオの電源が切れていることを確認してください。
- オーディオのソースがAUX以外になっている、またはOFFになっていることを確認してください。

1 接続コードをポータブルオーディオに接続します（取りはずします）。

ポータブルオーディオを聞く

ポータブルオーディオ側の操作は、ポータブルオーディオに添付されている取扱書をご覧ください。

1 接続したポータブルオーディオの電源を入れ、再生します。

2 オーディオのソースを切り替えます。

- 「ソースの切り替え方」（41 ページ）を参照してください。

3 **AUX** にタッチします。

- ポータブルオーディオの再生音がスピーカーから出力されます。

ポータブルオーディオを終わる

1 オーディオのソースを切り替えます。

- 「ソースの切り替え方」（41 ページ）を参照してください。

2 **OFF** にタッチします。



注意

- 接続コードの端子に手を引っ掛けたりしないよう注意してください。
- 運転中は、ポータブルオーディオの接続・操作・取りはずしをしないでください。



ワンポイント

- オーディオのソースがAUXのときに接続コードを抜き挿しすると、雑音が発生しスピーカ破損の原因となる場合があります。必ずオーディオをOFFにするか、他のソースに切り替えてから行なってください。
- オーディオのソースがAUXのときにポータブルオーディオの電源を切り換えると、雑音が発生しスピーカ破損の原因となる場合があります。必ずオーディオをOFFにするか、他のソースに切り替えてから行なってください。
- 接続された機器によって出力レベルが異なりますので、音量にご注意下さい。
- AUXを終了してもポータブルオーディオは、再生を続けます。（音声は出力されません。）
- オーディオのソースがAUXのときに音量を調整すると、AUX用の音量レベルとして記憶させることができます。記憶した音量レベルは、接続コードを抜くと初期設定値にもどります。
- ポータブルオーディオの電源は、ポータブルオーディオに付属されているバッテリー等を使用してください。お車に装着されているシガライタソケットやアクセサリソケットなどで充電しながら再生すると、雑音が出ることがあります。

マルチウィンドウ機能

AVN777HD・AVN757HDTVのみで使用になります。

マルチウィンドウについて

ナビゲーションの画面とオーディオ、TVなどの操作画面を左右に分割して同時に表示することができます。(DTVは音声のみになります。) また、オーディオ機能以外のルート情報や簡易電卓、時計を表示することができます。



●ナビゲーション画面+簡易電卓画面

マルチウィンドウ画面の表示

■ パネルスイッチから表示する

1 **MENU** を押します。

- 情報メニュー画面が表示されないときは、**INFO** にタッチします。

2 **マルチW** にタッチします。

- マルチメニュー画面が表示されます。



3 各項目にタッチすると次ページのマルチウィンドウ画面を表示します。

※ **ワンセグ** はAVN777HDのみ表示されます。



■ タッチスイッチから表示する

1 オーディオ操作画面で、**マルチW** にタッチします。

- 今、お使いになっているソースのマルチウィンドウ画面を表示します。



ワンポイント

- マルチウィンドウ画面を表示中は、地図向きの切り替えや、地図の移動（ワンタッチスクロール）は操作できません。
- 通常のTV、ワンセグ、またはDVDが選択されている場合、マルチメニュー画面で**オーディオ**にタッチしても、TV、ワンセグ、またはDVD画面が表示されます。オーディオ画面を表示する場合はソースを切り替えてください。(41 ページ参照)
- マルチウィンドウ機能使用中は、DVDのダイレクトタッチ機能を使用することができません。

表示画面	機能	ページ
	TV画面の表示 チャンネルの切り替えができます。	239
	DVD画面の表示 チャプターの切り替えができます。	239
	オーディオ画面の表示 FM、AM、CD、DVD、TV、ワンセグ、“メモリースティック”、CDCH、MDCH、MP3/WMA、MUSIC JUKE、VTR、AUX、iPodの画面を表示することができます。	240
	ルート情報画面の表示 目的地までのルート情報を表示することができます。	240
	電卓の表示 8ケタまでの四則演算を行うことができます。また、演算結果を記録したり、記録内容を表示することができます。	241
	ワンセグ画面の表示 ※ AVN777HDのみ チャンネルの切換ができます。	239

マルチウィンドウ機能

マルチウィンドウ画面の操作

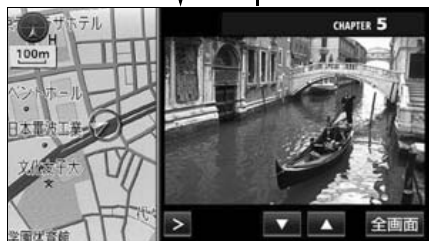
画面サイズの調整

ソースがTV、ワンセグ、DVD、またはVTRの場合、マルチウィンドウの画面サイズ（右画面）を切り替えることができます。

■ 画面の比率を切り替える

1 **<** にタッチします。

- 30 : 70 の割合の画面に切り替わります。
- **>** にタッチすると、50 : 50 の画面にもどります。
- 映像部分にタッチすると、たてのサイズを引き伸ばした画面になります。（次ページ参照）



■ 全画面・マルチウィンドウ画面に切り替える

- **全画面** にタッチすると、全画面に切り替わります。
- **マルチW** が表示されているときに **マルチW** にタッチすると、マルチウィンドウ画面にもどります。



マルチウィンドウ機能を解除するときは **MAP** を押してください。

■ 画面のたてサイズを切り替える

1 画面の映像部分にタッチします。

- たてのサイズを引き伸ばした画面に切り替わります。
- 再度、映像部分にタッチすると、もとのサイズにもどります。
- たてのサイズを引き伸ばした画面に切り替えた場合、操作スイッチなどは表示されなくなります。



TV・ワンセグ・DVD画面の操作

TV・ワンセグではチャンネルを、DVDではチャプターを切り替えることができます。TV操作の詳細については「**TVの使い方**」(173ページ)を、ワンセグ操作の詳細については「**ワンセグの使い方**」(179ページ)を、DVD操作の詳細については「**DVDプレーヤーの使い方**」(219ページ)を参照してください。



1 ▲、▼ にタッチします。

- TV・ワンセグ画面では、タッチすることにより1ステップずつチャンネルが切り替わります。DVD画面では、ディスクに記録されているチャプターを順に切り替えます。



- マルチウィンドウ機能を解除するときは **MAP** を押してください。
- TV・ワンセグ・DVD画面は、**全画面** にタッチすると通常のTVモード、ワンセグモード、DVDモードに切り替わります。再度マルチウィンドウ画面を表示するときは、画面にタッチ後 **マルチW** にタッチしてください。

マルチウィンドウ機能

ルート情報画面の操作

目的地までのルート、設定した地点やインターチェンジ、道路の種類などに区分し、道路名称や区間の距離を表示します。

1 ▲、または ▼ にタッチします。

- インターチェンジ・ジャンクション・目的地・通過道路・道路種別の変わり目でルート情報を分割して表示します。



- **全画面** にタッチすると、通常のルート情報（案内道路情報）を表示します。詳しくは「取扱説明書ナビゲーション編」-「ルート情報（案内道路情報）の表示」を参照してください。

オーディオ画面の操作

AM・FMでは放送局の切り替え、TV・ワンセグではチャンネルの切り替え、CD・DVD・“メモリースティック”・MUSIC JUKE・MP3/WMA・CDCH・MDCH・iPodモードでは曲、チャプター、リストを切り替えることができます。
各オーディオ操作やVTR・AUX操作の詳細については、各操作ページを参照してください。

ソースを切り替える

マルチウィンドウ画面を表示しながら、簡単にソースを切り替えることができます。

1 SOURCE MENU呼び出しスイッチにタッチし、各ソースにタッチします。

- ソースが切り替わり、マルチウィンドウ画面にもどります。



電卓画面の操作

電卓を使い、最大8ケタまでの四則演算を行うことができます。小数点は第1位まで表示します。



タッチスイッチ	機能
$\begin{matrix} + & - \\ \times & \div \end{matrix}$	四則演算（たす・ひく・かける・わる）
$=$	イコール
AC	オールクリアする
$\blacktriangleright$	入力した数値をひと桁元にもどす
円 km/l	数値に単位を付ける (再度タッチすると非表示になります。)

記録する

1 記録 にタッチします。



履歴を表示する

数値と単位、その日付を記録します。

1 履歴 にタッチします。



● 電卓履歴情報画面を表示します。

電卓履歴情報		
記録日	計算結果	
2007年 9月21日	11.9 km/l	▲
2007年 9月20日	1640円	
2007年 9月19日	350	
2007年 9月18日	12.6 km/l	
2007年 9月17日	15700円	▼
マルチW		



電卓履歴情報は最大20個記録することができます。記録数が20個を超える場合、最も古い情報から削除し、新しい情報を追加します。

知っておいていただきたいこと

こんなメッセージが表示されたときは

下記のようなメッセージが表示された場合、原因と処置を参考にもう一度確認してください。

メッセージ	原因	処置
CD 検索中です	CDチェンジャーにマガジンを設定したとき、CDチェンジャーがディスクの有無を検索しているため。	検索が終わるまで、そのまま、しばらくお待ちください。
CDのふたが開いています	CDチェンジャーの扉が開いているため。	CDチェンジャーの扉を閉めてください。
ディスクをお確かめください	ディスクが汚れている、または裏返しになっているため。	ディスクが汚れているときはクリーニングしてください。裏返しのときは正しく入れてください。
再生できるDISCが入っていません	CDプレーヤー、またはCDチェンジャー（MDチェンジャー）にディスクが入っていないため。	音楽ディスクを入れてください。
異常検知でCD停止中です※	なんらかの原因でCDプレーヤー、またはCDチェンジャーが動かないため。	イジェクト操作を行ってください。
CDマガジンが入っていません	CDチェンジャーにマガジンが入っていないため。	マガジンを入れてください。
MEMORY STICKエラーです	なんらかの原因で“メモリースティック”が読み込めないため。	MEMORY STICKをお確かめください。
MEMORY STICKがロックされています	“メモリースティック”の誤消去防止スイッチがLOCK状態になっているため。	“メモリースティック”の誤消去防止スイッチをLOCKから解除にしてください。
走行中は音声をお楽しみください	走行中にTVまたはDVDを見ようとしたため。	車を安全な場所に停車させてパーキングブレーキをかけてからお楽しみください。
このMEMORY STICKには対応していません	対応していないMEMORY STICKを挿入したため。	本機で利用できるMEMORY STICKを確認してください。(37 ページ参照)
MEMORY STICKが入っていません	マジックゲートMEMORY STICKが入っていないため。	マジックゲートMEMORY STICKを入れてください。

※ イジェクト操作をしても動作しないときは、販売店にご相談ください。

メッセージ	原因	処置
再生可能なファイルがありません	マジックゲートMEMORY STICK内に、再生可能な音楽データが記録されていないため。	再生可能な音楽データが記録されているマジックゲートMEMORY STICKを入れてください。
MEMORY STICK 認証中	MEMORY STICKの認証を処理しているため。	MEMORY STICKの認証にしばらく時間がかかります。しばらく待ち、メッセージが消えてからお使いください。
MEMORY STICKをお確かめ下さい	静電気により、MEMORY STICKが再生できなくなったため。	しばらくしてから再度、挿入し、再生してください。
このMEMORY STICKからHDDへ保存できません	対応していないMEMORY STICKからHDDへデータを保存しようとしたため。	本機で使えるMEMORY STICKを確認してください。(37 ページ参照)
録音中はMEMORY STICKモードへ移行できません	録音中にMEMORY STICKモードに切り替えようとしたため。	録音を中止してからMEMORY STICKモードに切り替えてください。(147、148、149ページ参照)
期間・回数に制限があるため、再生できません	再生制限付きのデータを制限を越えて再生しようとしたため。	再度、データを入手してから再生してください。
iPodとの通信に失敗しました	iPodからの応答がないため。	Dockコネクタを再接続してください。(118 ページ参照)
iPodのファームウェアバージョンをご確認ください	iPodのソフトウェアバージョンが対応していないため。	iPodを最新のソフトウェアにバージョンアップしてください。(123 ページ参照)
	iPodとの接続が検知できないため。	販売店にご相談ください、もしくはiPodをご確認ください。
再生できるデータがありません	iPodに再生可能な音楽データが記録されていないため。	iPod内のデータを確認してください。データが記録されている場合はiPodをリセットしてください。
音楽データがありません	MUSIC JUKEに何も録音されていないときに、MUSIC JUKEモードに切り替えようとしたため。	MUSIC JUKEに録音してからMUSIC JUKEモードに切り替えてください。(146ページ参照)
HDDの容量が一杯になったので、録音を停止します	録音中にHDDの容量が一杯になったため。	HDD内の音楽データを削除してから、再度録音してください。(167、171 ページ参照)
このCDは録音済みなので、録音をキャンセルします	すでに録音されている音楽CDアルバムを再度録音しようとしたため。	すでに録音されている音楽CDは録音することができません。録音する場合は、録音されているデータを削除してから、再度録音してください。(167、171 ページ参照)
タイムオーバーなので、録音を停止します	アナログ録音時、連続録音時間が300分に達したため。	再度、 AV を1秒以上押して録音を続けてください。
録音完了トラックがありませんので、CDを再生します	デジタル録音開始後、1曲も録音完了せず終了したため。	再度、録音する場合は、 AV を1秒以上押してください。

知っておいていただきたいこと

メッセージ	原因	処置
音飛びしましたので、録音をやり直します	再生曲を録音中に音飛びが発生したため。	しばらくお待ちください。録音をやり直します。
現在録音中の曲が録音完了するまで、しばらくお待ちください	録音開始後、現在再生している曲の録音が完了していないときに操作した場合、先頭から再び録音をやり直す必要があるため。	1曲録音が完了するまでの間、しばらくお待ちください。
受信したタイトルがありません	FM de TITLEで受信したタイトルがない、またはHDDに保存したCD情報がないため。	CD情報インジケータが表示されるまでお待ちください。
受信した新譜情報がありません	FM de TITLE plusで受信した新譜情報がないため、またはHDDに保存した新譜情報がないため。	新譜情報受信メッセージが表示されるまでお待ちください。
ジャケット写真を表示できませんでした	ジャケット写真を表示する有効期限が切れているため。	有効期限の切れたジャケット写真は表示することができません。
	受信した新譜情報に不備があるため。	受信した新譜情報に不備がある場合、ジャケット写真を表示できません。ご了承ください。
更新するデータベースがありません	受信したCDタイトルや新譜情報が1つも存在しないときに、 タイトル更新 や 更新 にタッチしたため。	FM多重チューナー設定が「CD情報」であることを確認してください。また、受信できるまでお待ちください。
異常検知のため書き込みを中止します	タイトル更新、または更新作業が何らかの要因で異常終了したため。	再度タイトル更新、または更新操作を行ってください。
録音禁止されているため、録音をキャンセルします	デジタル録音が禁止されているCDを録音しようとしたため。	AV を1秒以上押して録音してください。アナログ録音方式で録音します。
プレイリストが一杯なので、プレイリストを削除してから録音開始して下さい	MUSIC JUKE内のプレイリスト数が一杯になり、これ以上、自動でプレイリストを作成できないため。	プレイリストを削除してから、録音を開始してください。(167ページ参照)
トラックが一杯なので、トラックを削除してから録音開始して下さい	MUSIC JUKE内のトラック数が一杯になり、これ以上、音楽を録音できないため。	トラックを削除してから、録音を開始してください。(171ページ参照)
プレイリストが一杯です	MUSIC JUKE内のプレイリスト数が一杯になり、これ以上、新規でプレイリストを作成できないため。	プレイリストを削除してから、新規でプレイリストを作成してください。(158、167ページ参照)
トラックが一杯です	プレイリスト内のトラック数が一杯になり、これ以上、トラックを追加できないため。	トラックを削除してから、トラックを追加してください。(171ページ参照)

メッセージ	原因	処置
録音中は、編集モードへ移行できません	録音中に、編集作業を行おうとしたため。	録音を中止してから編集作業を行ってください。(147、148、149ページ参照)
異常検知で Music Juke 停止中です	何かしらの原因で異常を検知したため。	エンジンスイッチをOFF (LOCK) にしてください。
異常発生により、録音を停止します	何かしらの原因で異常を検知したため。	オーディオをOFFにしてください。
Music Juke 準備中 【注】準備中は電源を落とさないで下さい。	MUSIC JUKE モードに切り替えたとき、初期化を行っているため。	しばらく待ち、メッセージが消えてからお使いください。
録音準備中 【注】準備中は電源を落とさないで下さい。また、メディアを抜かないで下さい。	録音中、車のエンジンスイッチをOFF (LOCK) にし、再度車のエンジンスイッチをACCまたはONにしたため。	しばらく待ち、メッセージが消えてからお使いください。
高温のため、録音を停止します ※ 1	HDD内の温度が異常に高いため。	温度が下がるまで、しばらくそのままでお待ちください。
低温のため、録音を停止します ※ 1	HDD内の温度が異常に低い場合。	温度が上がるまで、しばらくそのままでお待ちください。
データ更新中 【注】更新中は電源を落とさないで下さい。また、メディアを抜かないで下さい。	データ更新中に電源を落としたり、メディアを抜くと、データが破損する恐れがあるため。	しばらく待ち、メッセージが消えてからお使いください。
データ保存中 【注】保存中は電源を落とさないで下さい。また、メディアを抜かないで下さい。	データ保存中に電源を落としたり、メディアを抜くと、データが破損する恐れがあるため。	しばらく待ち、メッセージが消えてからお使いください。
データ消去中 【注】消去中は電源を落とさないで下さい。また、メディアを抜かないで下さい。	データ消去中に電源を落としたり、メディアを抜くと、データが破損する恐れがあるため。	しばらく待ち、メッセージが消えてからお使いください。
画像編集のため、オーディオOFF します	MEMORY STICKモード、またはMUSIC JUKEモードのときに、HDDに画像データを保存しようとしたため。	オーディオソースを切り替える、またはオーディオをOFFにしてから画像データを保存してください。
画像データが読めません ディスクが正しいかご確認下さい	壁紙の記録されていないディスクが入っている、または何かしらの原因でディスクが読めないため。	画像データを確認してください。(72ページ参照)
画像ファイルを表示できません	画像の容量が大きすぎるため。	1.5MB以下の画像ファイルとしてください。(72ページ参照)
	壁紙の画像データのファイル形式が違っているため。	画像データを確認してください。(72ページ参照)

※ 1 この状態のときは、しばらくお待ちください。デッキ内部の温度が常温に復帰しますと、表示が消えて再生を再開します。長時間経過しても表示が消えないときは販売店にご相談ください。

知っておいていただきたいこと

メッセージ	原因	処置
画像ファイルの保存に失敗しました	何かしらの原因で、HDDに画像データが保存できなかったため。	画像データを確認してからHDDへ保存してください。(72 ページ参照)
画像ファイルの消去に失敗しました	何かしらの原因で、HDDから画像データが消去できなかったため。	再度消去してください。消去できない場合は、販売店に相談してください。
データを受信できませんでした	取得したデータに不備があったため。 接続先との通信が途絶えてから30秒以上経過したため。	しばらくしてから再度、赤外線通信を行ってください。
録音中は赤外線通信を行うことができません	録音中に赤外線通信を行おうとしたため。	録音を中止してから赤外線通信を行ってください。(147、148、149 ページ参照)
壁紙の登録に失敗しました	何かしらの原因で、画像データを壁紙に登録できなかったため。	画像データを確認してください。(72 ページ参照)
すでにデータベースが更新されているため、更新することができません	すでにバージョンアップが完了しているデータベースをもう一度バージョンアップしようとしたため。	すでにバージョンアップされているデータベースは、同じバージョンのデータでは更新できません。
データ更新失敗しました	何かしらの原因でデータベースの更新に失敗したため。	再度更新してください。更新できない場合は、販売店に相談してください。
高温のためHDD停止中です ※ 1	HDD内の温度が異常に高いため。	温度が下がるまで、しばらくそのままお待ちください。
低温のためHDD停止中です ※ 1	HDD内の温度が異常に低いため。	温度が上がるまで、しばらくそのままお待ちください。
ディスクが入っていません	再生可能なディスクがスロットに入っていないため。	再生可能なディスクを入れてください。
異常検知でDVD 停止中です ※ 2	何らかの原因でDVD プレーヤーが動かないため。	イジェクト操作を行ってください。
温度異常のためDVD 停止中です ※ 1	DVD プレーヤーの温度が異常に高いため。	温度が下がるまで、しばらくそのままお待ちください。
このDVD は演奏できません	対応していないDVD を入れているため。	対応しているDVD を入れてください。(34、216 ページ参照)
このDVD はリージョンが違うので再生できません	対応していないリージョンコードのDVDを入れているため。	対応しているリージョンコードのDVDを入れてください。(216 ページ参照)
受け付けられないコードです	DVD に対応していない言語コードを入力したため。	DVD に対応している言語コードを確認してください。

※ 1 この状態のときは、しばらくお待ちください。デッキ内部の温度が常温に復帰しますと、表示が消えて再生を再開します。長時間経過しても表示が消えないときは販売店にご相談ください。

※ 2 イジェクト操作をしても動作しないときは、販売店にご相談ください。

メッセージ	原因	処置
コード番号が正しくありません	暗証番号が正しく入力されなかったため。	正しい暗証番号を入力してください。
視聴制限がかかっており再生できません	視聴制限がかかっているため。	視聴制限の設定を変更して再生してください。
正常に動作しませんでした 正しく装着されていないか、故障 しています ご確認下さい	IC (B-CAS) カードが正しく差し込まれていない、もしくは故障しているため。	お買い上げの販売店にお問い合わせください。
ICカードをお確かめ下さい	IC (B-CAS) カードを本機に差し込んでいないため。	IC (B-CAS) カードを正しく差し込んでください。(187 ページ参照)
	IC (B-CAS) カード以外のカードを差し込んでいるため。	本機に指定のIC (B-CAS) カードを差し込んでください。(186 ページ参照)
	IC (B-CAS) カードが故障しているため。	IC (B-CAS) カードの動作確認をしてください。(212 ページ参照)
放送を受信できません	IC (B-CAS) カードのセキュリティエラーのため。	IC (B-CAS) カードの動作確認をしてください。(212 ページ参照)
	ワンセグ放送の受信エリア外にいるため。	ワンセグ放送を受信できるエリアに移動してください。

知っておいていただきたいこと

故障とお考えになる前に

ちょっとした操作のちがいで故障と間違えることがありますので、以下の表にもとづき、まず、確認してください。

処置をしても直らないときは、販売店で点検をお受けください。

症 状	考えられること	処置
低温時に電源をONにした場合、しばらく画面が暗い	液晶の特性によるものです。	故障ではありませんので、しばらくそのままお待ちください。
電源をONにした後、しばらく画面にムラがある	液晶のバックライトの特性によるものです。	故障ではありませんので、しばらくそのままお待ちください。
音が出ない	音量が0になっていませんか？	音量調整スイッチを押して確認してください。
片側（左右もしくは前後）のスピーカーだけ音が出る	スピーカーコードが正しく接続されていますか？	スピーカーコードの接続を確認してください。
	音量バランスは適切ですか？	左右（前後）音量調整をして確認してください。
音質調整をしても音質が変化しない	お聞きの放送、ディスクが調整した音質に対応していますか？	放送、ディスクを変更して確認してください。
CD・DVDが入らない	電源が入っていますか？	車のエンジンスイッチを「ACC」または「ON」の位置にしてください。
	すでに差込口に1枚入っていますか？	すでに入っているCD・DVDをイジェクトしてから、お好みのCD・DVDを入れてください。
CD・DVDの再生ができない	本機が結露していませんか？	しばらく待ってから使用してください。（34 ページ参照）
	CD・DVDに大きなキズやソリがありませんか？	他のCD・DVDを入れてください。
	CD・DVDがひどく汚れていませんか？	クリーニングしてください。（35 ページ参照）
	CD・DVDが裏返しになっていませんか？	CD・DVDを正しい向きで差し込んでください。
	本機に対応していないCD・DVDが差し込まれていませんか？	対応しているCD・DVDを差し込んでください。（34、216 ページ参照）
	自動再生されないDVDが差し込まれていませんか？	DVDディスクに収録されているメニューを操作してください。（221 ページ参照）
DVD再生時、台詞が出力されない	お車のスピーカースystemに適したスピーカーの設定がされていますか？	スピーカーサイズの設定を確認してください。（62 ページ参照）

症 状	考えられること	処置
DVD再生時、リヤスピーカーから 台詞が出力されない	5.1ch対応のDVDソフトを再生 していませんか？ 5.1ch対応のDVDソフトの主音 声（台詞）はフロントスピーカー 又はセンタースピーカー（セン タースピーカー取付時）から出力 されます。	故障ではありませんので、そのま まご使用ください。
DVD再生時、字幕/音声の切り替 えができない	ディスクメニューからの切り替え 操作が必要なDVDではありません か？	字幕 、 音声 での切り替えで はなく、ディスクメニューからの 切り替えが必要な場合があります。 ディスクメニュー操作から切り替 えてください。（221 ページ参照）
MEMORY STICKの再生ができ ない	再生可能な形式で保存されていま すか？	ATRACK3形式で保存された音楽の み再生可能です。ATRACK3形式で 保存してください。
	本機に対応していないMEMORY STICKをご使用になっていませんか？	対応しているMEMORY STICK を差し込んでください。（37 ペー ジ参照）
画面に MD CHANGER が 表示されない	MDチェンジャーが正しく接続さ れていますか？	MDチェンジャーとの接続を確認 してください。
画面に CD CHANGER 、 CD CHANGER2 が表示さ れない	CDチェンジャーが正しく接続さ れていますか？	CDチェンジャーとの接続を確認 してください。
FM de TITLEが受信できない	お車がFM de TITLEを受信できな い地域にありませんか？	受信できる地域（放送局）をご確 認ください（257 ページ参照）
CDを再生しても自動で録音され ない	デジタル録音モードが 「SELECT」になっていません か？	デジタル録音モードの設定を確認 してください。（144 ページ参照） 「SELECT」に設定されている場 合は、 AV を1秒以上押し、録 音したいトラックを選択すると録 音を開始されます。
	デジタル録音出来ないCDを再生 していませんか？（143 ページ参 照）	再生中に AV を1秒以上押して アナログ録音をしてください。
CDを録音できない	録音できないCDを再生していま せんか？	MP3/WMAはMUSIC JUKEへ の録音が出来ません。
音声は出るが、映像が出ない	画面消しボタンを押して画面を消 していませんか？	MAP を押してください。（87 ページ参照）
音声は出るが、TV映像が出ない （停車中）	パーキングブレーキが解除されて いませんか？	パーキングブレーキを引いてくだ さい。

知っておいていただきたいこと

症 状	考えられること	処置
映像も音も出ない	電源が入っていますか？	車のエンジンスイッチを「ACC」または「ON」の位置にしてください。
	接続コードが正しく接続されていますか？	各接続コードの接続を確認してください。
TV の映像または音がでない	オーディオソースがVTRになっていませんか？	TV にタッチして放送局を選択してください。
ディスプレイに光る点がある	液晶パネルは99.99%以上の有効画素がありますが、0.01%以下の画素欠けや常時点灯するものが生じることがあります。	故障ではありませんので、そのままご使用ください。
壁紙が表示されない	取り込む画像のファイル形式は適切ですか？	壁紙に使用できるファイル形式を確認してください。(72 ページ参照)
「データ確認中です」というメッセージが消えない	ディスクへの書き込み方式は適切ですか？	壁紙に使用できるファイル形式を確認してください。(72 ページ参照)
オーディオ画面が乱れる、ノイズが入る	電氣的なノイズが発生する電装品を本機の近くで使用していませんか？ 高電圧を発生させて作動するもの(例) マイナスイオン発生器 高電波を発生するもの(例) 携帯電話、無線機	本機からできるだけ遠ざけてご使用ください。遠ざけても影響が出る場合は、ご使用をお控えください。
ポータブルオーディオの再生音がスピーカーから出力されない	ポータブルオーディオの電源が入っていますか？	ポータブルオーディオの電源を入れてください。
	ポータブルオーディオが再生されていますか？	ポータブルオーディオを再生してください。
地上デジタルTV放送（ワンセグ放送）の映像、音が出ない	B-CASカードが正しく差し込まれていますか？	B-CASカードを正しく差し込んでください。(187 ページ参照)
	オーディオソースがTV、またはVTR入力になっていませんか？	オーディオソースをDTV、ワンセグに切り替え、番組を選択してください。
地上デジタルTV放送（ワンセグ放送）の映像が止まって音が出ない	地上デジタルTV放送（ワンセグ放送）の受信状態は良好ですか？	サービスエリア内でも環境により受信できない場合がありますので、受信できる場所に移動してください。
	B-CASカードが正しく差し込まれていますか？	B-CASカードを正しく差し込んでください。(187 ページ参照)
地上デジタルTV放送（ワンセグ放送）が受信できない	お車が地上デジタルTV放送（ワンセグ放送）を受信できない地域にありますか？	地上デジタルTV放送（ワンセグ放送）を受信できる地域に移動してください。

お手入れについて

アンテナのお手入れについて

- 掃除をするときは、タオルや柔らかい布などで軽く押えるようにして拭いてください。爪などでこするとアンテナパターン線がはがれる原因となります。
- フィルム TV アンテナ及びケーブルをアルコール、ベンジン、シンナー、ガソリン等揮発性のものでふかないでください。表面処理を傷める原因となります。
- アンテナ部からコードを取り外すことはできません。無理に取り外すと動作できなくなり、再使用もできません。
- コードのコネクタ部分に力をかけないでください。
- 一部の車種に採用されている断熱ガラス、熱遮断フィルムには電波を反射させる性質があり、受信感度が極端に低下する場合があります。またお車のフロントガラスにミラータイプ等のフィルムを貼っている場合、受信感度が落ちることがあります。
- 受信状態が良くなる角度に調整してください。
- トラunkドアやバックドアを開けたときに、エレメントが車両（ボディ）に当たらないような角度にしてください。
- カーウィンドフィルムの上からフィルムアンテナを貼った場合、フィルムアンテナをはがす際にカーウィンドフィルムを傷めることがありますのでご注意ください。

用語説明

スーパーオーディオCD (SACD)

原音のアナログ波形に極めて近い形で音をデジタル記録するDSD（Direct Stream Digital）方式を採用した高音質オーディオディスクの規格です。スーパーオーディオCDには以下の種類があります。

●シングルレイヤーディスク

HD層※が1層のみのディスク

●デュアルレイヤーディスク

HD層※が2層のみのディスク

●ハイブリッドレイヤーディスク

HD層※とCD層※が合わさった2層のディスク

※HD層：スーパーオーディオCDの高密度信号層

CD層：既存のCDプレーヤーで読み取り可能な層

CD-EXTRA

音楽用の音楽データトラックとパソコン用のPCデータトラックを1枚のメディアの中にマルチセッションで書き込んだものです。この場合、第1セッションには音楽データトラックを記録し、第2セッション以降にPCデータトラックを記録するため、音楽CDプレーヤーは第2セッション以降のPCデータトラックを再生することがなくなります。

Mixed Mode CD

音楽用の音楽データトラックとパソコン用のPCデータトラックを1枚のメディアの中にシングルセッションで書き込んだものです。この場合、第1トラックにはPCデータトラックを記録し、第2トラック以降に音楽データトラックを記録するため、音楽CDプレーヤーは第1トラックのPCデータを再生してしまい、大きなノイズが出力されてしまいます。これは音楽CDプレーヤーがマルチセッションに対応しているため、マルチセッションのCDを再生すると第1セッションしか認識せず、これが再生されてしまうためです。

MP3

MP3はMPEG Audio Layer Ⅲの略で、MPEG Audio Layer 3は音声圧縮技術に関する標準フォーマットです。MP3は人間の聴きとれない音声、不可聴帯域を圧縮するので、元のファイルを約1／10のサイズにすることができます。

ID3 タグ	MP3 ファイルには、ID3 タグと呼ばれる付属文字情報を入力する領域が確保されていて、曲のタイトル、アーティスト名などを保存できます。ID3 タグに対応したプレイヤーで ID3 タグ情報の表示・編集が可能です。
エンコーダ	WAVE ファイルから MP3 ファイルへ変換（圧縮）するためのソフトウェアのことです。
ATRAC3 (アトラックスリー)	「Adaptive Transform Acoustic Coding3」の略で、高音質、高圧縮を両立させた圧縮技術です。元のファイルを約 1/10 のサイズに圧縮することができるので、1 枚の CD に複数の音楽を録音することができます。
“メモリースティック”	小型、軽量の IC 記録メディアです。“メモリースティック”対応機器で画像や音楽などのデータを記録することができ、1 枚の“メモリースティック”に異なる種類のデータを混在して記録することができます。
“マジックゲートメモリースティック”	著作権保護技術“Magic Gate（マジックゲート）”を搭載した“メモリースティック”の名称で、音楽など、著作権保護技術が必要なデータの記録・再生を行うための IC 記録メディアです。対応機器とメディアの間で、お互いが、著作権保護に対応しているかどうかの判断を行い、対応していると認証された機器のみで再生することができます。
SCMS (シリアルコピー マネジメントシステム)	デジタル録音は、音質の劣化がとても少ないという特徴があり、著作権保護の観点から、デジタル信号でコピーした音源をさらにデジタル信号で録音（コピー）することはデジタル録音機器によって規制されています。これが SCMS（シリアルコピーマネジメントシステム）です。

用語説明

Gracenote 音楽認識サービス

音楽認識テクノロジーおよび関連データは、Gracenote[®]により提供されます。Gracenoteは、音楽認識テクノロジーおよび関連コンテンツ配信の業界標準です。

詳細については、次の Web サイトをご覧ください: www.gracenote.com

コピーコントロールCD レーベルゲートCD

パソコンなどで音楽データを読み取り、データ化、保存ができないように処理してあるCDのことです。

コピーコントロールCD、レーベルゲートCDには下記のマークが付与されています。

ご使用になる前に、必ずパッケージなどに同梱されている説明書をお読みください。



セッション

CD-R、CD-RWでは、書き込みをする度にデータの前後にリードイン、リードアウトという領域が付加されます。このリードイン、データ、リードアウトの固まりを“セッション”と言います。1枚のCD-R/RWに1つのセッションが書き込まれているものを「シングルセッション」、1枚のCD-R/RWに追記によって複数のセッションが書き込まれているものを「マルチセッション」といいます。

ワンセグ放送

ワンセグ放送とは、1セグメントを使用した携帯端末向けの放送のことです。1セグメントのみ使用するため解像度は低いですが、視聴可能な範囲が広いのが特長です。

AAC

AAC（アドバンスド・オーディオ・コーディング）とは音声圧縮方式のひとつです。デジタル放送における5.1chサラウンドはAACを採用しています。CD並みの音質データを約1/12まで圧縮できるのが特長です。

- データ放送** 通常の番組とは他に、さまざまな情報を提供する放送のことです。たとえば、天気予報やニュース、道路の混雑状況を見たり、クイズに参加するといったことができます。
- ハイビジョン** 高精細度テレビジョン（HDTV：High Definition TV）のことです。地上デジタル放送ではハイビジョン映像と標準映像の2種類の映像を配信することができます。標準映像の縦横比が4：3なのに対して、ハイビジョン映像は16：9と、横長になっています。走査線の数も標準映像が525本なのに対して、ハイビジョン映像は倍以上の1125本となっており、細部まできれいに表現することができます。これにより、画面と融合しているかのような臨場感溢れる映像を楽しむことができます。
本機はハイビジョン放送の受信は可能ですが、表示は標準映像となります。
- ブックマーク機能** 好きなデータ放送を登録する機能です。
登録したデータ放送は、有効期限内であればいつでも好きなときに見ることができます。
- マルチビュー放送** 1つの番組を複数の映像に分けて放送することです。例えば野球の放送を、ピッチャーの映像、バッターの映像、バックスクリーンからの映像、というように3つのアングルから選んで楽しむことができます。

Gracenote メディアデータベースのご利用について

Gracenote® エンド ユーザー使用許諾契約書

本アプリケーション製品または本デバイス製品には、カリフォルニア州エメリービル市の Gracenote, Inc. (以下「Gracenote」) のソフトウェアが含まれています。本アプリケーション製品または本デバイス製品は、Gracenote 社のソフトウェア(以下「Gracenote ソフトウェア」)を使用することにより、ディスクやファイルを識別し、さらに名前、アーティスト、トラック、タイトル情報(以下「Gracenote データ」)などの音楽関連情報をオンラインサーバーから、或いは製品に実装されたデータベース(以下、総称して「Gracenote サーバー」)から取得し、さらにその他の機能を実行しています。お客様は、本アプリケーション製品または本デバイス製品の本来、意図されたエンドユーザー向けの機能を使用することによってのみ、Gracenote データを使用することができます。

お客様は、Gracenote データ、Gracenote ソフトウェア、および Gracenote サーバーをお客様個人の非営利目的のみに使用することに同意するものとします。お客様は、いかなる第3者に対しても、Gracenote ソフトウェアや Gracenote データを、譲渡、コピー、転送、または送信しないことに同意するものとします。**お客様は、ここで明示的に許可されていること以外に、Gracenote データ、Gracenote ソフトウェア、または Gracenote サーバーを使用または活用しないことに同意するものとします。**

お客様は、お客様がこれらの制限に違反した場合、Gracenote データ、Gracenote ソフトウェア、および Gracenote サーバーを使用するための非独占的な使用許諾契約が解除されることに同意するものとします。また、お客様の使用許諾契約が解除された場合、お客様は Gracenote データ、Gracenote ソフトウェア、および Gracenote サーバーのあらゆる全ての使用を中止することに同意するものとします。Gracenote は、Gracenote データ、Gracenote ソフトウェア、および Gracenote サーバーの全ての所有権を含む、全ての権利を保有します。いかなる場合においても、Gracenote は、お客様に対して、お客様が提供する任意の情報に関して、いかなる支払い義務も負うことはないものとします。お客様は、Gracenote, Inc. が直接的にお客様に対して、本契約上の権利を Gracenote として行使できることに同意するものとします。

Gracenote のサービスは、統計処理を行う目的で、クエリを調査するために固有の識別子を使用しています。無作為に割り当てられた数字による識別子を使用することにより、Gracenote サービスを利用してのお客様を認識、特定しないで、クエリを数えられるようにしています。詳細については、Web ページ上の、Gracenote のサービスに関する Gracenote プライバシーポリシーを参照してください。

Gracenote ソフトウェアと Gracenote データの個々の情報は、お客様に対して「現状有姿」のまま提供され、使用許諾が行なわれるものとします。Gracenote は、Gracenote サーバーにおける全ての Gracenote データの正確性に関して、明示的または黙示的にかかわらず、一切の表明や保証を致しません。Gracenote は、妥当な理由があると判断した場合、Gracenote サーバーからデータを削除したり、データのカテゴリを変更したりする権利を保有するものとします。Gracenote ソフトウェアまたは Gracenote サーバーがエラーのない状態であることや、或いは Gracenote ソフトウェアまたは Gracenote サーバーの機能が中断されないことの保証は致しません。Gracenote は、Gracenote が将来提供する可能性のある、新しく拡張、追加されるデータタイプまたはカテゴリを、お客様に提供する義務を負わないものとします。また、Gracenote は、任意の時点でそのサービスを中止できるものとします。

Gracenote は、市販可能性、特定目的に対する適合性、権利、および非侵害性について、黙示的な保証を含み、これに限らず、明示的または黙示的でないいかなる保証もしないものとします。Gracenote は、お客様による Gracenote ソフトウェアまたは任意の Gracenote サーバーの使用により得られる結果について保証をしないものとします。いかなる場合においても、Gracenote は結果的損害または偶発的損害、或いは利益の損失または収入の損失に対して、一切の責任を負わないものとします。

© Gracenote 2007

FM de TITLE サービス放送局について

FM de TITLE が受信できる放送局

放送局名	愛称	放送局名	愛称
FM北海道	air-G	FM滋賀	E-Radio
FM青森	AFB	fm osaka	EASY851
FM岩手	FMI	Kiss-FM KOBE	Kiss-FM Kobe
FM秋田	Co-Much FM	FM山陰	V-air
FM山形	BOY-FM	FM岡山	—
FM仙台	Date-FM	広島FM放送	—
ふくしまFM	—	FM山口	FMY
FM栃木	レディオ・ベリー	FM香川	—
FMぐんま	—	FM徳島	Passion Wave
TOKYO FM	TOKYO-FM・TFM	FM高知	Hi-Six
K-MIX	K-MIX	FM愛媛	—
FM AICHI	FMA	FM福岡	BEAT STATION
FM三重	—	FM佐賀	—
岐阜FM	レディオ エイティ	FM長崎	SMILE-FM
FM新潟	—	FM中九州	FMK
FM長野	—	FM大分	Air radio FM88
FMとやま	—	FM宮崎	JOY-FM
FM石川	HelloFive	FM鹿児島	μFM
FM福井	—	FM沖縄	—

索引

五十音順

ア

アンテナインジケータ	179,196
アンテナの設定	209
イベントリレー	209
色ボタン	200
エリアスイッチ	96,176,192
音質の調整	47
音質補正の設定（ハーモナイザー）	57
音声多重放送	177,182,193
音量バランス	56

カ

カーソル	200
画質調整	88
画像データを書き換える	68,70,79,81
画像データを保存する	75
画面位置調整	214
画面の調整	86
画面モード切り替え	92
居住地域の設定	207
緊急警報放送（EWS）	195
個人情報リセット	214

サ

主音量の調整	45
赤外線通信	40,70,81

タ

データベースについて	126
データ放送	199
トラックの編集	168

ハ

背景画（壁紙）	67
昼画表示	87
ブックマーク機能	201

プレイモード	125
プレイリストの編集	158
放送局からのお知らせ	195
ポータブルオーディオ機器の操作	234

マ

マルチアングルマーク	229
マルチチャンネルビュー	175
マルチビュー放送	184
名称入力	161
メール	211
“メモリースティック” プレーヤーの 使い方	109
文字スーパー	207

ヤ

夜画表示	87
------------	----

ラ

ラジオの使い方	94
録音方式の設定	144

ワ

ワンセグ放送	179,189
ワンセグ自動切換	210

アルファベット／数字

A

ALBUM SHUFFLE.....	122
AREA.P	96,176,192
AUX	234

B

B-CAS カード	186
B-CAS カードの動作確認	212

C

CD プレーヤーの使い方	97
CD チェンジャーの使い方	113

D

DISC RAND	114,117
DISC RPT	114,116
DISC SCAN	114,116
DTV の使い方	188
DVD ビデオの特長	215
DVD プレーヤーの使い方	219

E

EPG (電子番組表)	183,197
EQ (イコライザ) の調整	52

H

HOME	102
------------	-----

I

iPod プレーヤーの使い方.....	118
---------------------	-----

M

MD チェンジャーの使い方.....	115
MP3/WMA について	104
MP3/WMA プレーヤーの使い方	100
MUSIC JUKE の使い方	150
MUSIC JUKE への録音	142

P

POS	55
-----------	----

R

RAND	98,103,110,114, 117,156
RPT	98,102,110,114, 116,122155

S

SCAN.....	98,102,110,114, 116,155
SFC (音場) の設定	51

T

TRACK SHUFFLE	122
TV 設定画面	176
TV を見る	173

V

VTR の使い方	233
----------------	-----

数字

2次元バーコード.....	99,137,157
10 キー (テンキー)	200

MEMO

富士通テン株式会社

〒652-8510 神戸市兵庫区御所通1丁目2番28号

電話 神戸 (078) 671-5081



この説明書の印刷には、植物性
大豆油インキを使用しています。

この説明書は、再生紙を使用しています。

©富士通テン株式会社 2007



090002-3076A700
0708C (N)